

令和 2 年度
鳥取県産業廃棄物実態調査報告書
(令和元年度実績)

令和 3 年 3 月

鳥 取 県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査に関する基本的事項	1
1. 調査対象期間	1
2. 調査対象廃棄物	1
3. 調査対象業種	2
4. 調査対象区域	4
5. 発生・排出及び処理・処分状況	5
第 3 節 調査の方法	7
1. 調査方法の概要	7
2. 標本調査について	8
第 4 節 調査結果の利用上の留意事項	11
1. 産業廃棄物の種類の区分について	11
2. 委託中間処理後の残さ量について	11
3. 建設業の地域別発生量について	11
4. 単位と数値に関する処理	11
第 5 節 標本抽出・回収結果	12
第 2 章 調査結果	13
第 1 節 第 1 次産業を除く調査結果の概要	13
第 2 節 発生・排出状況（第 1 次産業を除く）	14
1. 種類別の発生・排出状況	14
2. 業種別の発生・排出状況	15
3. 地域別の発生・排出状況	16
第 3 節 処理・処分状況（第 1 次産業を除く）	17
1. 処理・処分状況の概要	17
2. 自己中間処理状況（物質変換を考慮しない）	19
3. 委託処理状況	20
4. 資源化、再生利用状況	21
5. 最終処分状況	24
第 4 節 第 1 次産業を含む調査結果	25
1. 種類別の発生・排出状況	25
2. 業種別の発生・排出状況	26
第 5 節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況	27
1. 農業	27

2. 鉱業	28
3. 建設業	29
4. 製造業	31
5. 電気・水道業	34
6. 情報通信業	36
7. 卸・小売業	38
8. 医療・福祉	40
9. サービス業	42
10. その他の業種	44
第3章 産業廃棄物の推移	46
第1節 前回調査との比較（第1次産業を除く）	46
1. 種類別の発生・排出状況の比較	46
2. 業種別の発生・排出状況の比較	48
3. 地域別の発生・排出状況の比較	50
4. 処理・処分状況の比較	52
第2節 排出及び処理・処分状況の将来予測（第1次産業を除く）	53
1. 将来予測の方法	53
2. 排出量の将来予測	55
3. 処理・処分状況の将来予測	57
第4章 その他の調査結果	58
第1節 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）	58
1. 産業廃棄物の搬出状況	58
2. 最終処分量の県外移動状況	59
第2節 特別管理産業廃棄物	60
1. 種類別発生・排出状況	60
2. 業種別発生・排出状況	61
3. 処理・処分状況	62
巻末資料	64

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の目的

本調査は、令和元年度の鳥取県内における産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を把握するとともに、鳥取県における産業廃棄物適正処理対策等の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

第 2 節 調査に関する基本的事項

1. 調査対象期間

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの 1 年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に規定する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）とし、表 1-2-1 に示す分類に区分した。なお、これら産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて細区分し、分類が困難な廃棄物（感染性産業廃棄物、建設混合廃棄物、シュレッターダスト等）については、「その他産業廃棄物」として捉えた。

表 1-2-1 調査対象廃棄物（その 1）

産業廃棄物の分類
（ ）内は、細区分。
① 燃え殻
② 汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）
③ 廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類）
④ 廃酸
⑤ 廃アルカリ
⑥ 廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）
⑦ 紙くず
⑧ 木くず
⑨ 繊維くず
⑩ 動植物性残さ
⑪ 動物系固形不要物
⑫ ゴムくず
⑬ 金属くず
⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず [注：本報告書では「ガラスくず等」と略した]
⑮ 鉱さい
⑯ がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）
⑰ 動物のふん尿
⑱ 動物の死体
⑲ ばいじん
⑳ 産業廃棄物を処分するために処理したもの

※上記の種類に分類できない廃棄物等は「その他産業廃棄物」とした。

表 1-2-1 調査対象廃棄物（その 2）

特別管理産業廃棄物の分類
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）
②廃酸（pHが2.0以下の廃酸）
③廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）
④感染性産業廃棄物
⑤廃石綿等
⑥特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

また、調査に当たって、有償物・副産物、発生時の廃棄物の種類等については、下記に示す取り扱いをした。

- (1) 法令上は廃棄物とされていないもの、いわゆる有償物（事業場内等で生じたものであって、中間処理されることなく、他者に有償で売却したもの及び他者に有償で売却できるものを自己利用したもの）については、今後の社会情勢等の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、調査対象とした。
- (2) 汚泥については、事業所内で脱水処理している場合には、脱水処理後の汚泥を発生時の産業廃棄物（汚泥）として捉えた。
- (3) 紙くず、木くず（木製パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包の木材を除く）、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物は、廃棄物処理法で産業廃棄物となる業種（動物系固形不要物は、と畜場及び食鳥処理場に限り）が指定されており、指定された業種以外で生じた上記廃棄物については、事業系一般廃棄物となるため、原則として調査対象から除外した。
- (4) 下水道または公共用水域へ直接放流することを目的として事業場内で、酸性またはアルカリ性を呈する廃水を中和処理（一般の廃水処理）している場合は、中和処理後に生じた沈殿物（汚泥）を発生時の産業廃棄物として捉え、中和処理前の酸性またはアルカリ性廃水は、調査対象から除外した。
- (5) 事業場内で産業廃棄物を焼却処理した後に生じる燃え殻、ばいじんについては、焼却処理前の産業廃棄物の種類（発生時の種類）で捉えた。
- (6) 含油廃水であって、事業所内で油水分離によって分離している場合は、油水分離後に生じた浮遊物（廃油）と沈殿物（汚泥）とに分けて、それぞれ廃油と汚泥を調査対象として捉えた。

3. 調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（総務省）」（平成 25 年 10 月改定）の業種区分を基本とし、表 1-2-2 に示す業種を調査対象とした。

また、調査対象業種の名称については、本報告書では略称で統一し表記した。

なお、統計表については、巻末の統計資料に示すとおりである。

表 1 - 2 - 2 調査対象業種

業種名	略称
<農業、林業>	農 業
<漁業>	漁 業
<鉱業、採石業、砂利採取業>	鉱 業
<建設業>	建 設 業
<製造業>	製 造 業
食料品製造業	食 料 品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲 料 ・ 飼 料
繊維工業	繊 維
木材・木製品製造業(家具を除く)	木 材
家具・装備品製造業	家 具
パルプ・紙・紙加工品製造業	パ ル プ ・ 紙
印刷・同関連業	印 刷
化学工業	化 学
石油製品・石炭製品製造業	石 油 ・ 石 炭
プラスチック製品製造業	プ ラ ス チ ッ ク
ゴム製品製造業	ゴ ム
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮 革
窯業・土石製品製造業	窯 業 ・ 土 石
鉄鋼業	鉄 鋼
非鉄金属製造業	非 鉄 金 属
金属製品製造業	金 属
はん用機械器具製造業	は ん 用 機 器
生産用機械器具製造業	生 産 用 機 器
業務用機械器具製造業	業 務 用 機 器
電子部品・デバイス・電子回路製造業	電 子 部 品
電気機械器具製造業	電 気 機 器
情報通信機械器具製造業	情 報 通 信 機 器
輸送用機械器具製造業	輸 送 用 機 器
その他の製造業	そ の 他
<電気・ガス・熱供給・水道業>	電 気 ・ 水 道 業
電気業	電 気 業
ガス業	ガ ス 業
熱供給業	熱 供 給 業
上水道業	上 水 道 業
下水道業	下 水 道 業
<情報通信業>	情 報 通 信 業
<運輸業、郵便業>	運 輸 業
<卸売業、小売業>	卸 ・ 小 売 業
<金融業、保険業>	金 融 ・ 保 険 業
<不動産業、物品賃貸業>	物 品 賃 貸 業
<学術研究、専門・技術サービス業>	学 術 研 究 ・ 専 門 業
<宿泊業、飲食サービス業>	宿 泊 業 ・ 飲 食 業
<生活関連サービス業、娯楽業>	生 活 関 連 業
<教育、学習支援業>	教 育 ・ 学 習 業
<医療、福祉>	医 療 ・ 福 祉
<複合サービス事業>	複 合 サ ー ビ ス 業
<サービス業(他に分類されないもの)>	サ ー ビ ス 業
<公務>	公 務

※本報告書においては、運輸業、金融・保険業、物品賃貸業、学術研究・専門業、宿泊業・飲食業、生活関連業、教育・学習業、複合サービス業、公務は「その他の業種」としている。

4. 調査対象区域

調査対象区域は、鳥取県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表1-2-3に示す3地域に区分した。

表1-2-3 調査対象地域区分表

地域名	市・郡	市町村名
東部地域	鳥取市	鳥取市
	岩美郡	岩美町
	八頭郡	若桜町、智頭町、八頭町
中部地域	倉吉市	倉吉市
	東伯郡	三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町
西部地域	米子市	米子市
	境港市	境港市
	西伯郡	日吉津村、大山町、南部町、伯耆町
	日野郡	日南町、日野町、江府町

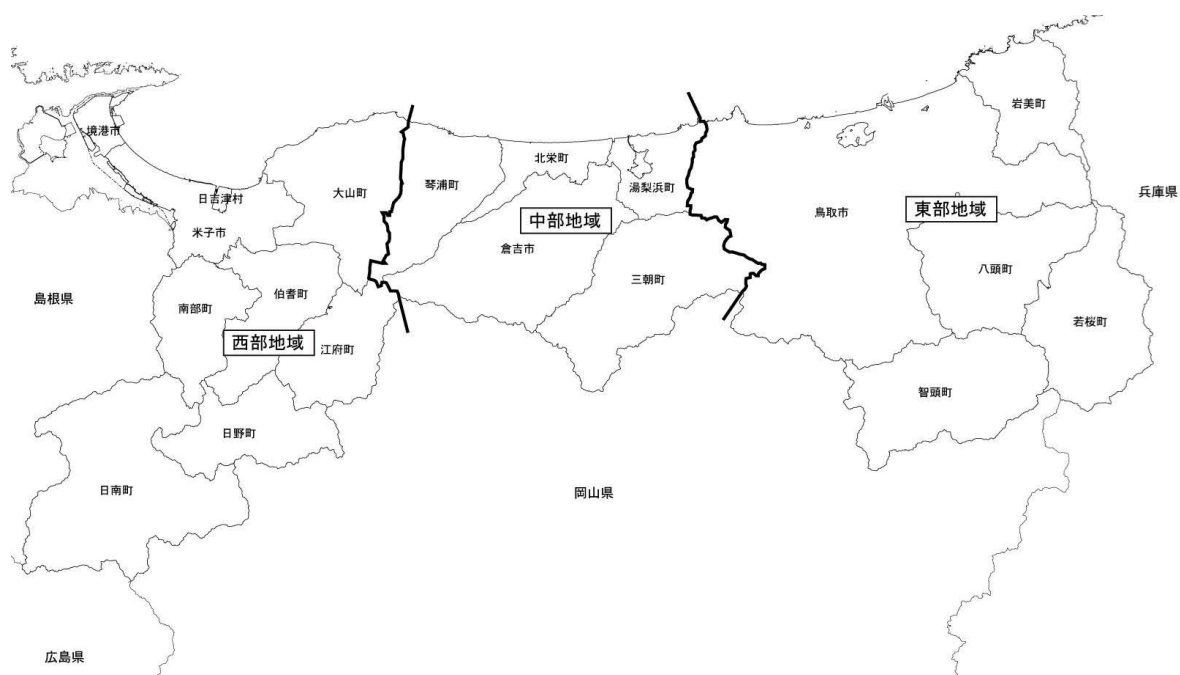


図1-2-1 調査対象地域区分

5. 発生・排出及び処理・処分状況

調査の集計・推計結果は、図1-2-2に示す発生・排出及び処理・処分状況の流れ図にとりまとめた。

なお、この流れ図に用いた各項目の定義については、表1-2-4に示すとおりである。

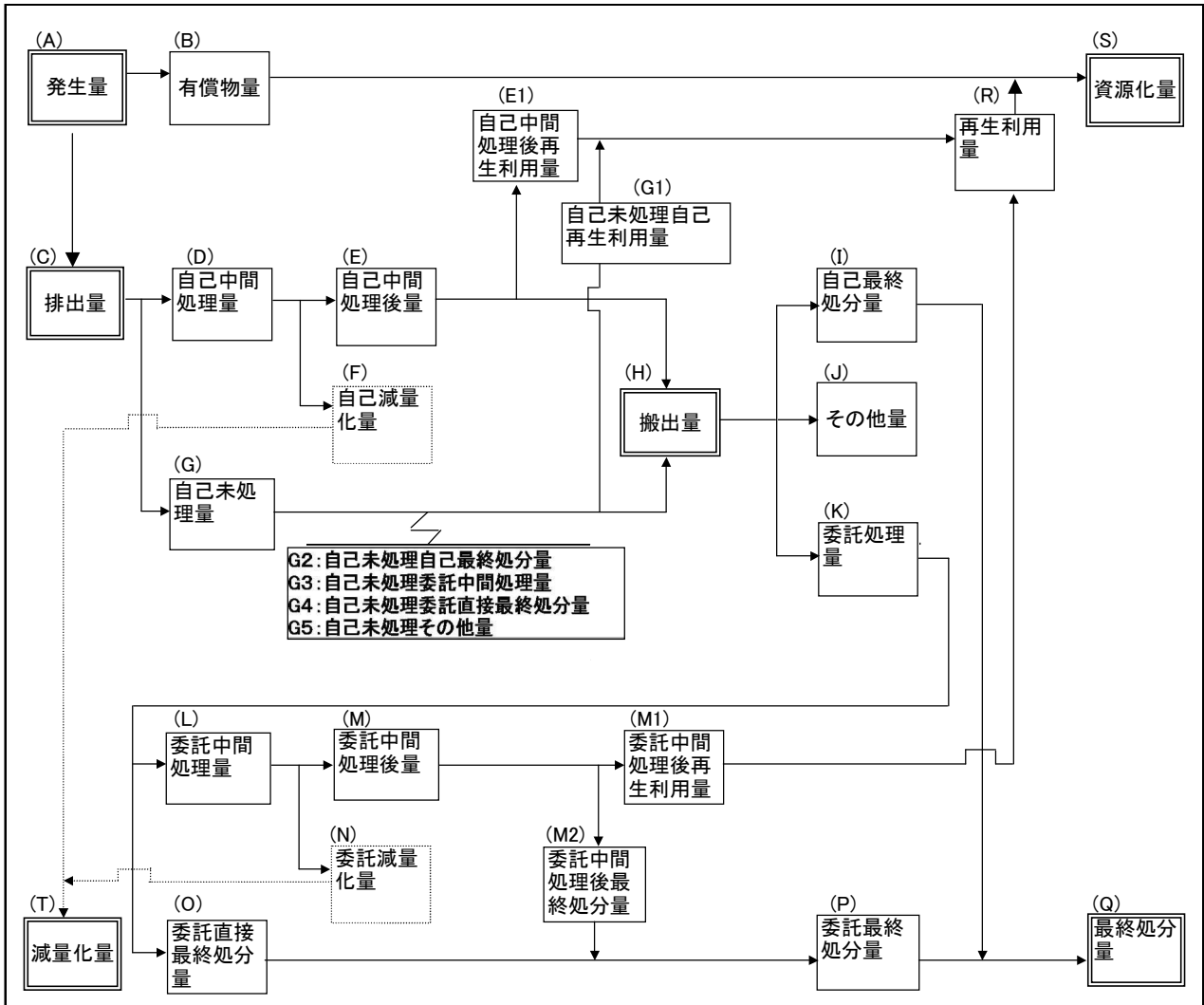


図1-2-2 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

表 1 - 2 - 4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償で売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	排出量のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分した量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理した量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	その他量のうち、自己未処理のその他量
(E) 自己中間処理後量	自己で中間処理した後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後量のうち、自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	自己中間処理量から自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	自己最終処分量、その他量及び委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	事業場内等に保管されている量等
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L) 委託中間処理量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(M) 委託中間処理後量	委託中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	委託中間処理量から委託中間処理後量を差し引いた量
(O) 委託直接最終処分量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者または処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	有償物量と再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者または処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1. 調査方法の概要

本調査は、多量排出事業者処理計画実施状況報告（以下、「多量報告」と言う。）、産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告書（県独自の様式。以下「アンケート」と言う。）及び県保有の既存資料を基に行う調査（資料調査）を基本としており、多量報告とアンケートによって回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容（集計値）と産業廃棄物の発生量に関連した指標（活動量指標：従業者数、製造品出荷額等）を基に、県内における産業廃棄物の発生量等の推計を行うものである。

なお、調査にあたっては、発生事業場（業種）の特性等を勘案し、表1-3-1に示す調査方法を基本とした。

表1-3-1 調査方法の概要

業種	調査方法			備 考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業			○	動物のふん尿、動物の死体、農業用廃プラスチック類を調査対象廃棄物とし、既存資料を用いて調査する。
鉱業		○		
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿等を基に全数抽出し、すべての施設より回答を得ることを原則とする。 このため、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いる。
情報通信業		○		
運輸業		○		
卸・小売業		○		
宿泊業・飲食業		○		
生活関連業		○		
教育・学習業		○		
医療・福祉		○		
複合サービス業		○		
サービス業		○		
公務		○		

注1) 全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するため、特定の業種あるいは事業所等を調査対象として全数を抽出・回収し、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注2) 標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からのアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。本調査では、令和2年度に報告されたマニフェスト交付等状況報告書（県独自の様式）のデータを標本とし、不足する情報については、多量報告や平成28年度鳥取県産業廃棄物実態調査報告書（平成27年度実績）のデータで補完した。

注3) 資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

2. 標本調査について

(1) アンケート調査項目

調査票の項目や形式は、巻末の参考資料に示すとおりである。

(2) 発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

ア 発生原単位の算出

発生原単位は、アンケート調査によって得られた標本の業種別、産業廃棄物の種類別の集計産業廃棄物発生量と、業種別の集計活動量指標から、図1-3-1に示すA式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量（発生原単位）を算出した。

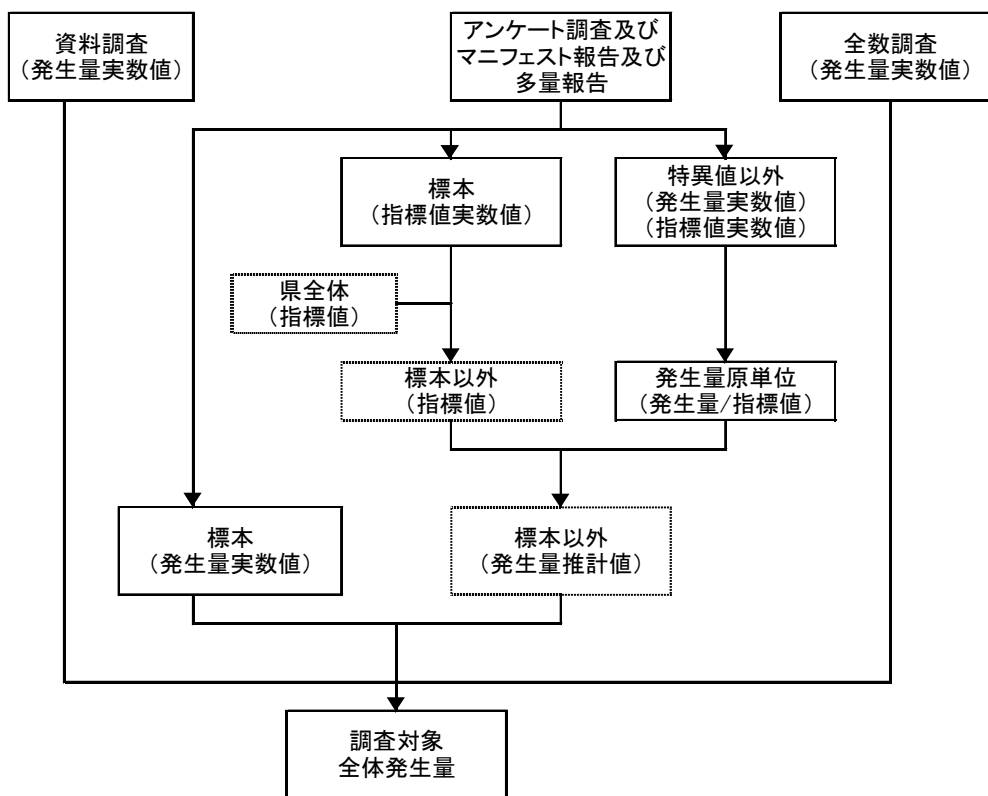
イ 調査対象全体の発生量の推計方法

アで算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図1-3-1に示すB式によって調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

①発生原単位の算出		
A式	$\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の発生原単位
		W : 標本に基づく集計産業廃棄物発生量
		O : 標本に基づく集計活動量指標
②調査対象全体の発生量の推定方法		
B式	$W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物発生量
		O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図1-3-1 発生原単位と発生量の推定計算の概念図

産業廃棄物の発生量推計の概要を図1-3-2に示す。



注)特異値とは、多量排出事業者や同業他社と比較し排出状況が大きく異なる等特殊な標本のことを示す。

図 1-3-2 廃棄物量推計の概念図

ウ 活動量指標

母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、表 1-3-2 のとおりである。

表 1-3-2 業種別の活動量指標

業種	活動量指標	出典
林業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
漁業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
鉱業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省総合政策局）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査（経済産業省）
情報通信業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
運輸業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
卸・小売業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
宿泊業・飲食業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
生活関連業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
教育・学習業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
医療、福祉 （病院）	従業者数 （病床数）	経済センサス 基礎調査（総務省統計局） （医療施設調査病院報告書：厚生労働省統計情報部）
複合サービス事業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
サービス業	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）
公務	従業者数	経済センサス 基礎調査（総務省統計局）

(3) 有償物量の推計方法

今回の調査では、実績値として多量報告を、アンケート調査票としてマニフェスト交付等状況報告書を利用した。このため、有償物量については報告対象でなく、回答を得ることができないことから、平成 28 年度に実施した実態調査結果を用いて、令和元年度の有償物量を推計した。

(4) 処理状況の処理方法

各処理量は、アンケート調査によって得られた標本の業種別種別別の処理比率を(2)イで求めた業種別種別別の発生量に乗じて求めた。

なお、委託中間処理後の残さ量については、第 4 節 2 で示すように、種別別委託中間処理方法別の残さ率に乗じて求めた。

第4節 調査結果の利用上の留意事項

本調査結果を利用する際の留意事項については、以下のとおりである。

1. 産業廃棄物の種類の区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で設定し、表記している。

発生時の種類	1段階	発生・排出時点の種類（未処理）
処理後の種類	2段階 （自己処理 後）	排出事業場で中間処理され、変化した処理後の種類 例1；汚泥、廃油、廃プラスチック、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず→（焼却処理）→[燃え殻]、[ばいじん] 例2；廃酸、廃アルカリ→（中和処理）→[汚泥] 注）1段階時点の種類と事業場の中間処理方法を用いて推定した。
	3段階 （委託処理 後）	委託中間処理により、変化した処理後の種類（同上） 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

なお、解析等の都合上、中間処理後も廃棄物の種類を変化させずに集計した場合（例：発生時の種類のまま；木くず→（焼却）→木くず）は、図表中に「種類別：無変換」と表記した。

2. 委託中間処理後の残さ量について

委託中間処理後の残さ量は、実態調査結果を用いることを原則とした。なお、残さ量の回答が無いものについては、産業廃棄物の種類ごとに、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針 改訂版」（平成22年4月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課）に準じた委託中間処理方法による残さ率から算出した。

3. 建設業の地域別発生量について

建設業における地域別の産業廃棄物の発生量については、アンケートで得られた工事現場ごとの発生量の割合を基に、県全体の推計値を按分することにより算出した。

4. 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「t/年」、「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「トン」、「千トン」で記述している。

（2）報告書における数値の処理

本文に記載されている千トン表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の数値の計とが一致しないものがある。

なお、本文の図表及び巻末統計表の空欄は該当値がないものであり、「0」表示は、単位未満である。

第5節 標本抽出・回収結果

アンケート調査で回収のあった件数と、令和2年度に報告徴収された多量排出事業者の実績報告件数と、マニフェスト交付等状況報告書（県独自の様式：アンケート調査票）の提出状況は、表1-5-1に示すとおりである。

実績報告と、マニフェスト交付状況報告書のうち活動量指標等の記載のない調査票を除いた有効回答件数（標本）は、1,020件となっている。参考までに県内における調査対象事業所数27,885件（平成26年経済センサス基礎調査）に対する回収率でみると3.7%となっている。

表1-5-1 標本抽出・回収結果

業種	区分	総事業所数 (件)	有効回答件数 (件)	多量排出		有効回答率 (%)	集計排出量 (t/年)	推計排出量 (t/年)	捕捉率 (%)
				事業者 (件)	事業者以外 (件)				
合計		27,885	1,020	127	893	3.7%	948,439	1,109,132	85.5%
農業		309	0	0	0	—	568,663	568,664	100.0%
漁業		48	0	0	0	—	—	—	—
鉱業		5	2	2	0	40.0%	5,400	5,515	97.9%
建設業		2,444	220	72	148	9.0%	187,893	294,566	63.8%
製造業		1,720	143	20	123	8.3%	145,562	177,924	81.8%
電気・水道業		55	44	14	30	80.0%	17,648	17,648	100.0%
情報通信業		221	13	1	12	5.9%	1,759	1,876	93.7%
運輸業		525	40	1	39	7.6%	7,079	9,237	76.6%
卸・小売業		7,174	165	0	165	2.3%	5,370	14,537	36.9%
金融・保険業		559	30	0	30	5.4%	36	129	28.0%
物品賃貸業		1,332	14	0	14	1.1%	121	501	24.1%
学術研究・専門業		1,022	39	0	39	3.8%	158	783	20.2%
宿泊業・飲食業		3,466	44	0	44	1.3%	341	880	38.7%
生活関連業		2,642	56	0	56	2.1%	1,793	2,598	69.0%
教育・学習業		1,187	26	0	26	2.2%	130	1,089	11.9%
医療・福祉		2,312	85	16	69	3.7%	3,944	9,068	43.5%
複合サービス業		355	11	0	11	3.1%	269	289	93.0%
サービス業		2,112	66	1	65	3.1%	2,031	2,551	79.6%
公務		397	22	0	22	5.5%	244	1,277	19.1%

第2章 調査結果

令和元年度の鳥取県内における産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況は、以下のとおりである。

第1節 第1次産業を除く調査結果の概要

令和元年度の1年間に鳥取県内で発生した産業廃棄物の発生量（第1次産業を除く）は552千トンであり、有償物量の11千トン（発生量の2.0%）を除いた産業廃棄物の排出量は540千トン（同98.0%）となっている。

排出量のうち、脱水や焼却など中間処理された量は529千トン（排出量の98.0%）、中間処理を経ず直接再生利用された量は5千トン（同0.9%）、直接最終処分された量は6千トン（同1.1%）等となっている。一方、中間処理による減量化量は100千トン（同18.6%）で、再生利用量は413千トン（同76.5%）、最終処分量は27千トン（同4.9%）となっている。

なお、事業場内での保管等のその他量は、未処理及び中間処理後を合わせて29トンとなっている。

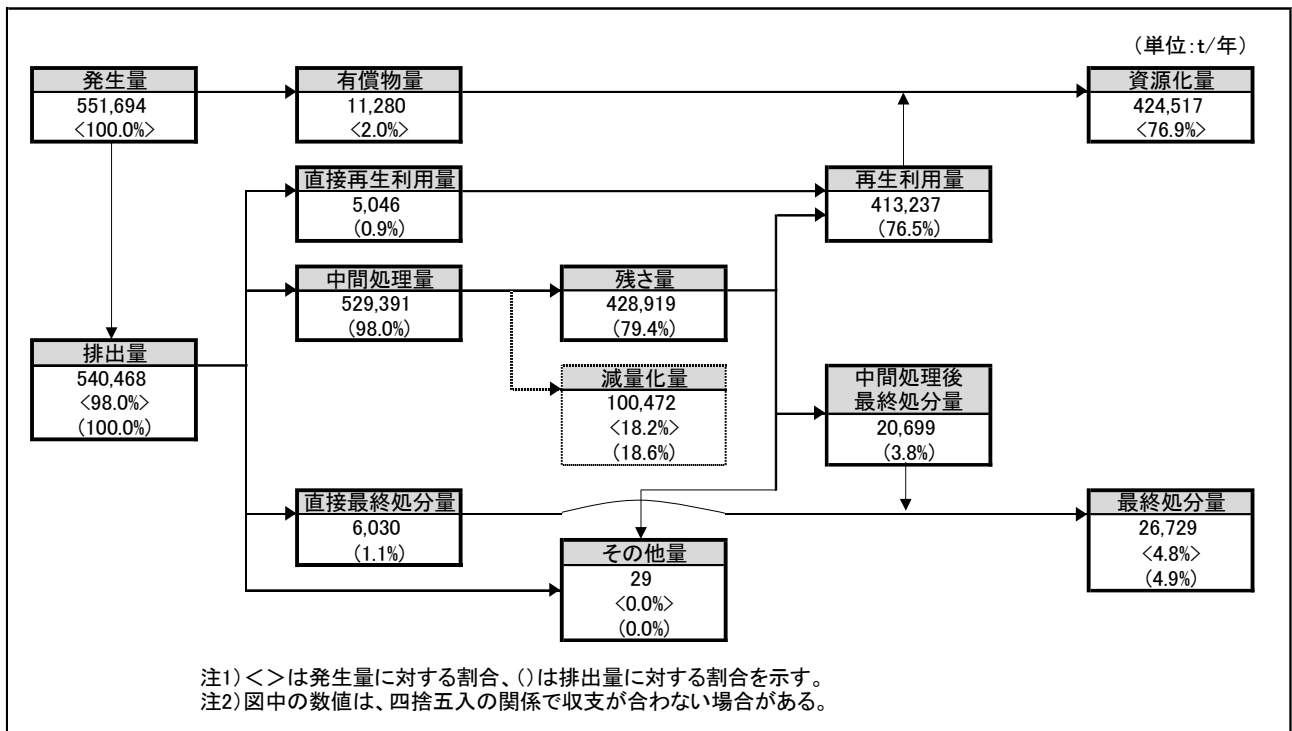


図2-1-1 発生・排出及び処理・処分の状況（第1次産業を除く）

第2節 発生・排出状況（第1次産業を除く）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図2-2-1～3に示すとおりである。

発生量（552千トン）を種類別にみると、がれき類が241千トン（発生量の43.7%）で最も多く、次いで、汚泥が100千トン（同18.1%）、木くずが54千トン（同9.9%）、廃プラスチック類が31千トン（同5.7%）、ばいじんが26千トン（同4.8%）、ガラスくず等が22千トン（同3.9%）等となっており、これら6種類で発生量の86.1%を占めている。

排出量（540千トン）を種類別にみると、がれき類が241千トン（排出量の44.6%）で最も多く、次いで、汚泥が100千トン（同18.5%）、木くずが53千トン（同9.7%）、廃プラスチック類が31千トン（同5.7%）、ばいじんが26千トン（同4.9%）、ガラスくず等が22千トン（同4.0%）等となっており、この6種類で排出量の87.4%を占めている。

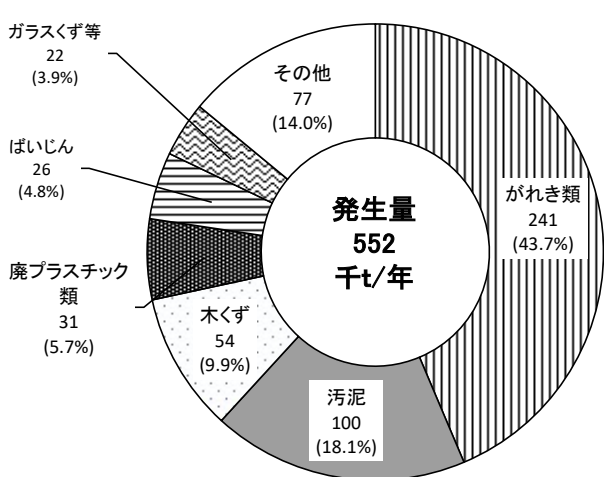


図2-2-1 種類別の発生量

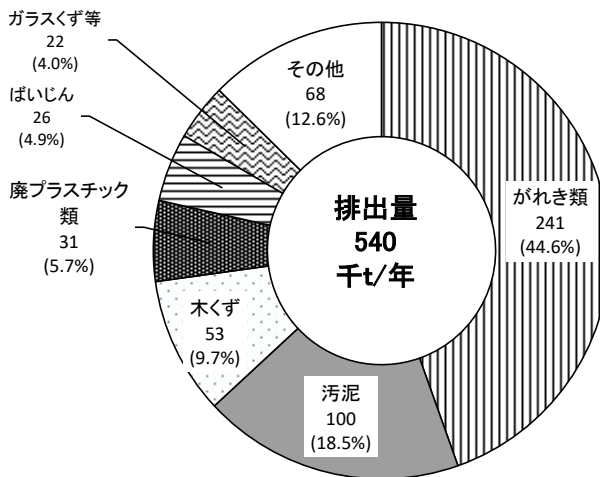
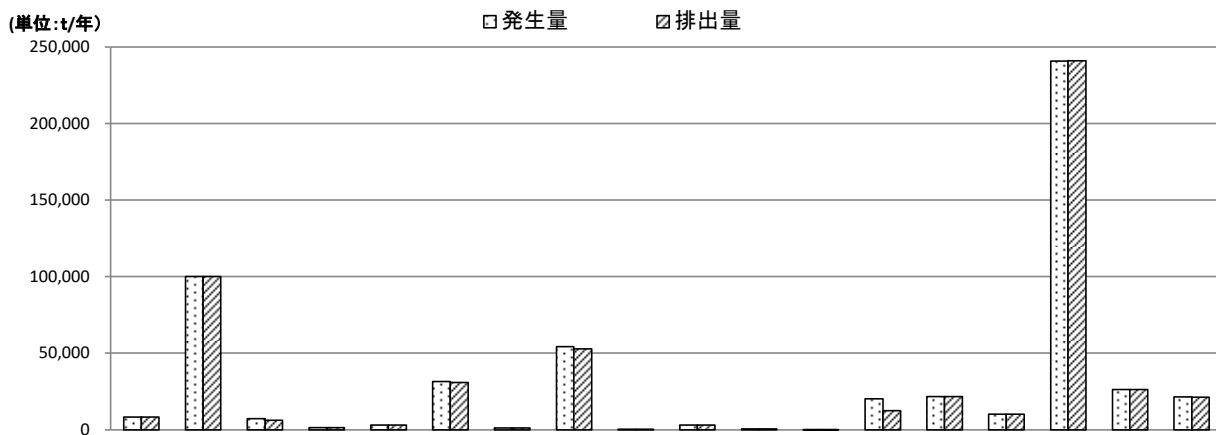


図2-2-2 種類別の排出量



種類: 変換 (t/年)	合計	(単位: t/年)																	
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	551,694	8,469	100,047	7,222	1,349	3,124	31,444	1,167	54,345	223	3,215	540	41	20,241	21,689	10,160	240,819	26,237	21,359
	(100%)	(2%)	(18%)	(1%)	(0%)	(1%)	(6%)	(0%)	(10%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(4%)	(4%)	(2%)	(44%)	(5%)	(4%)
排出量	540,468	8,469	100,047	6,119	1,349	3,124	30,876	1,167	52,687	223	2,937	540	41	12,573	21,689	10,160	240,873	26,237	21,353
	(100%)	(2%)	(19%)	(1%)	(0%)	(1%)	(6%)	(0%)	(10%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(2%)	(4%)	(2%)	(45%)	(5%)	(4%)

図2-2-3 種類別の発生量、排出量

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-2-4～6に示すとおりである。

発生量（552千トン）を業種別にみると建設業が295千トン（発生量の53.5%）で最も多く、次いで、製造業が188千トン（同34.1%）、電気・水道業が18千トン（同3.2%）等となっており、この3業種で発生量の90.8%を占めている。

排出量（540千トン）を業種別にみると、建設業が295千トン（排出量の54.5%）で最も多く、次いで、製造業が178千トン（同32.9%）、電気・水道業が18千トン（同3.3%）等となっており、この3業種で排出量の90.7%を占めている。

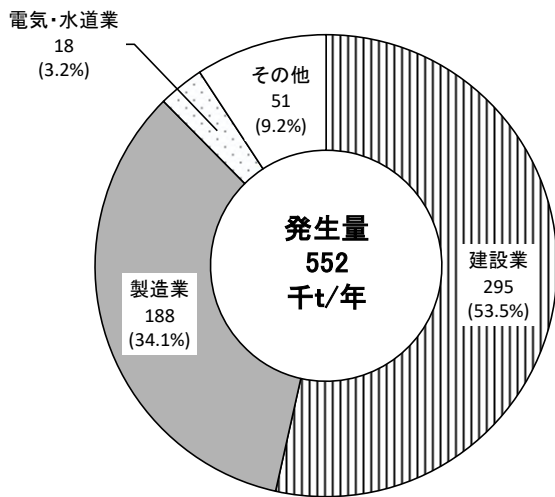


図2-2-4 業種別の発生量

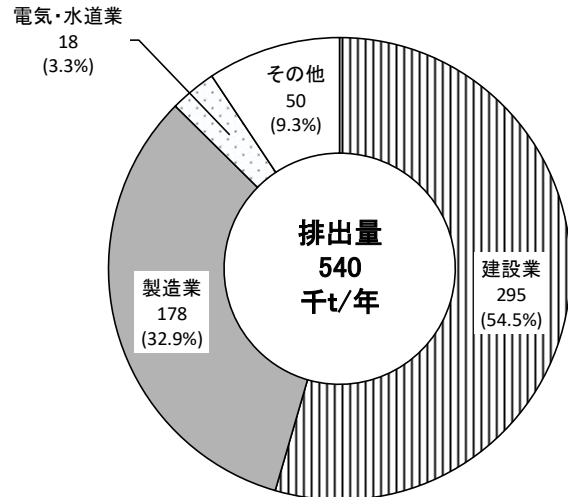
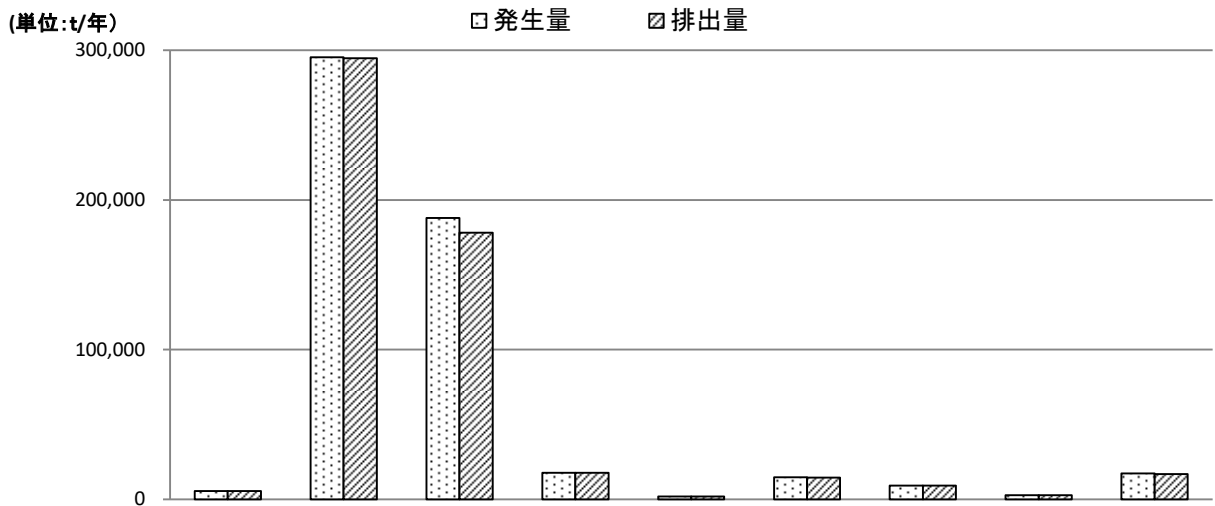


図2-2-5 業種別の排出量



業種 (t/年)	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
発生量	551,694	5,515	295,211	187,972	17,703	1,876	14,654	9,068	2,590	17,104
	(100%)	(1%)	(54%)	(34%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(3%)
排出量	540,468	5,515	294,566	177,924	17,648	1,876	14,537	9,068	2,551	16,783
	(100%)	(1%)	(55%)	(33%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(3%)

図2-2-6 業種別の発生量、排出量

3. 地域別の発生・排出状況

地域別の発生・排出状況は、図2-2-7～9に示すとおりである。

発生量（552千トン）を地域別にみると、西部地域が308千トン（発生量の55.9%）で最も多く、次いで東部地域が167千トン（同30.2%）、中部地域が77千トン（同13.9%）となっている。

排出量（540千トン）を地域別にみると、西部地域が303千トン（排出量の56.1%）で最も多く、次いで、東部地域が162千トン（同30.0%）、中部地域が75千トン（同13.8%）となっている。

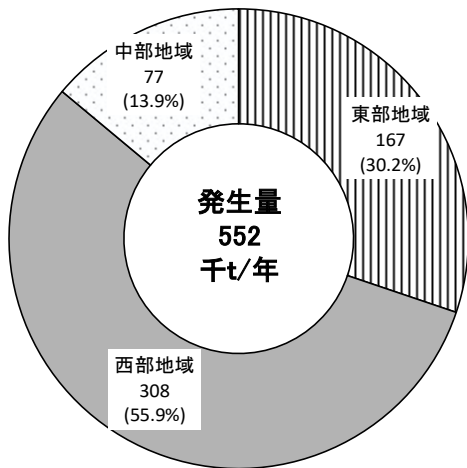


図2-2-7 地域別の発生量

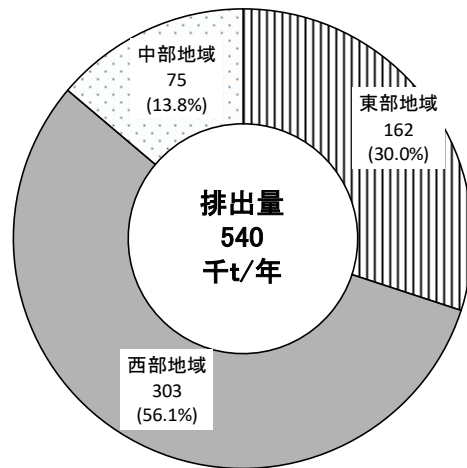
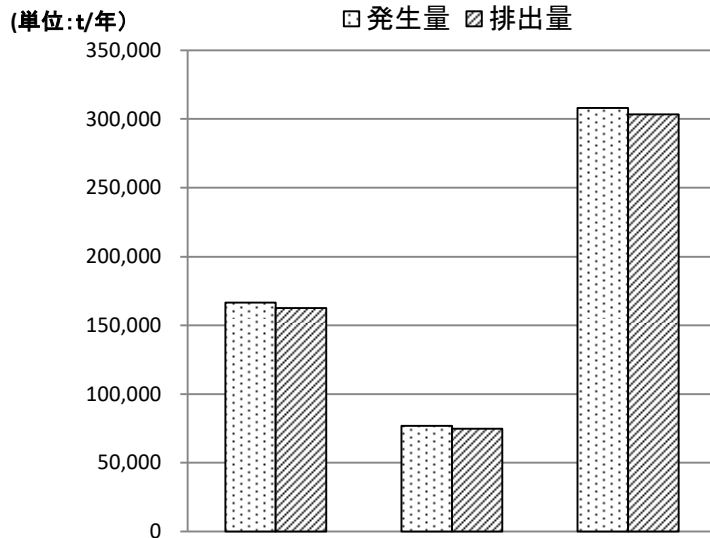


図2-2-8 地域別の排出量



地域 (t/年)	合計	東部地域	中部地域	西部地域
発生量	551,694	166,572	76,922	308,200
	(100%)	(30%)	(14%)	(56%)
排出量	540,468	162,392	74,688	303,387
	(100%)	(30%)	(14%)	(56%)

図2-2-9 地域別の発生量、排出量

第3節 処理・処分状況（第1次産業を除く）

1. 処理・処分状況の概要

産業廃棄物の発生・排出から処理・処分の流れは、図2-3-1に示すとおりである。令和元年度の処理・処分状況をみると、排出量540千トンのうち、再生利用量は413千トン（排出量の76.5%）、中間処理による減量化量は100千トン（同18.6%）、最終処分量は27千トン（同4.9%）、保管等のその他量は29トンとなっている。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を種類別、業種別にみると、図2-3-2、3に示すとおりである。

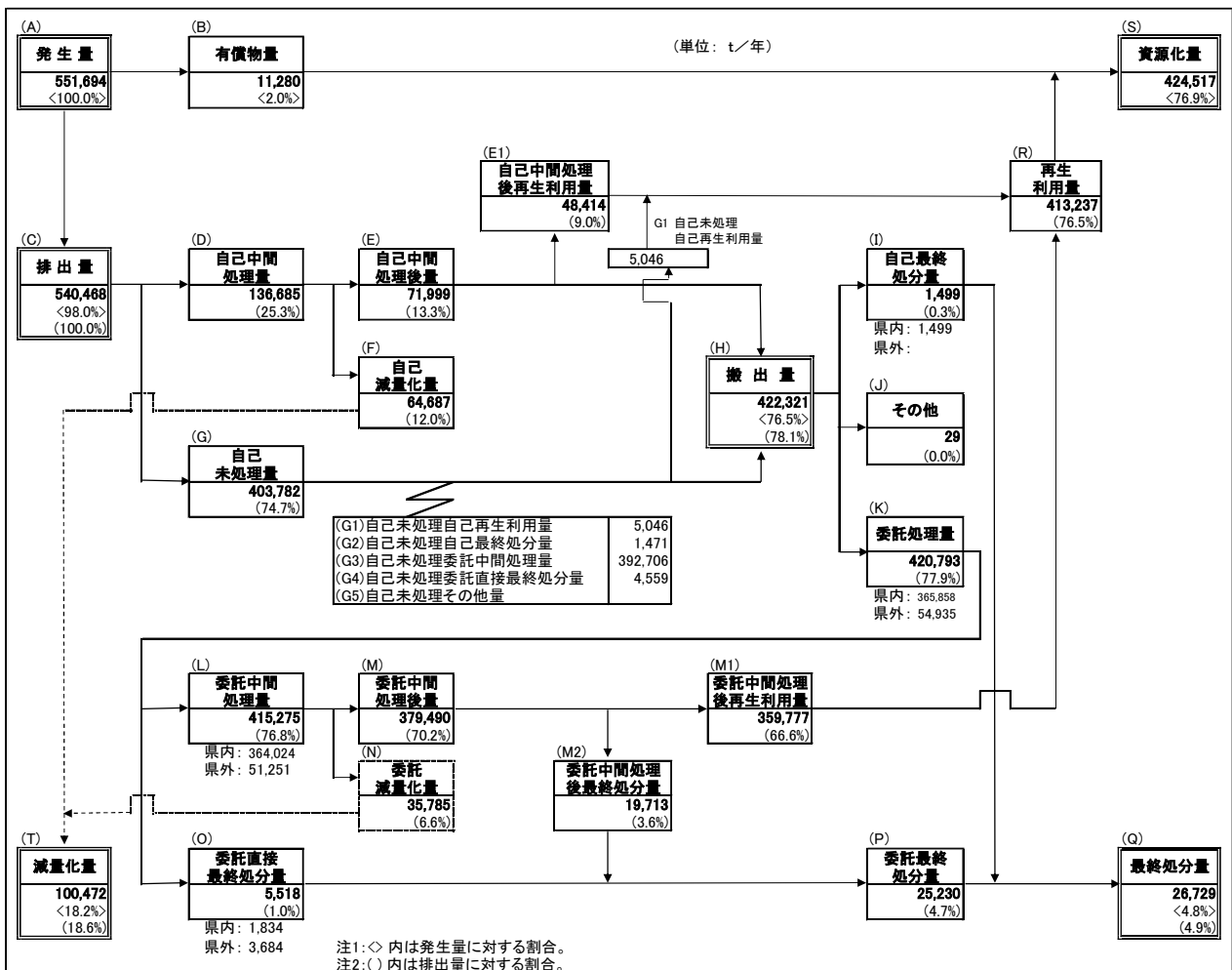
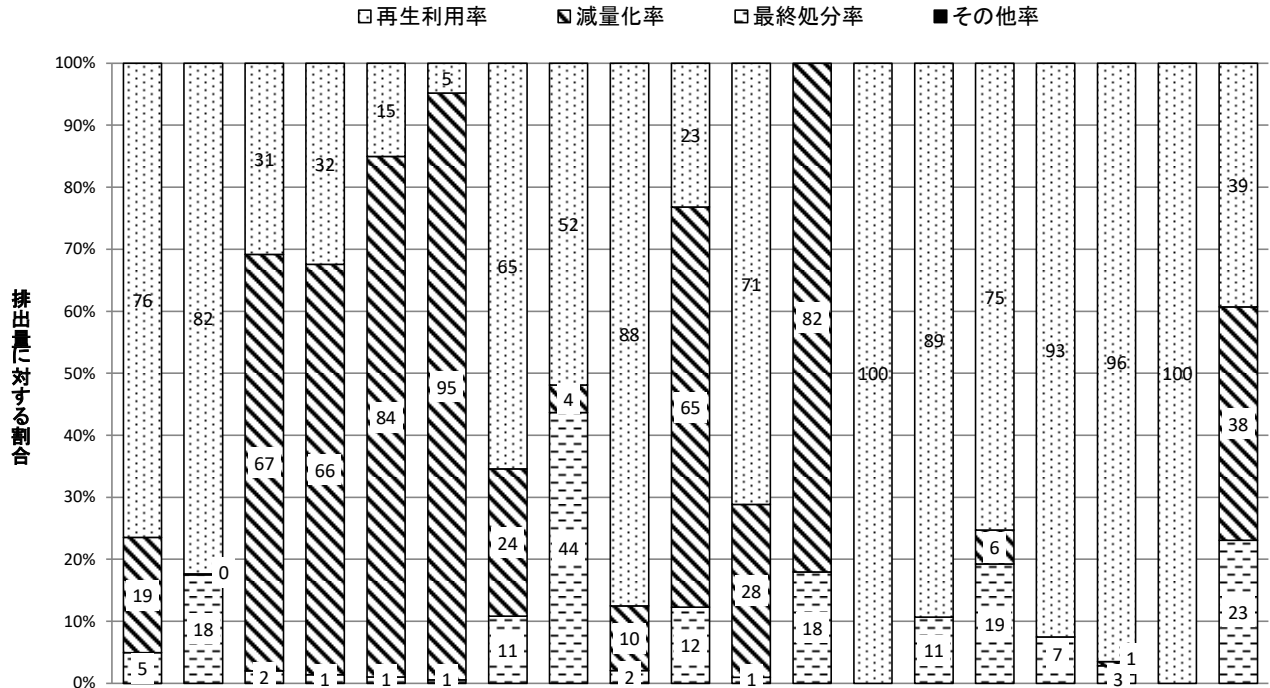


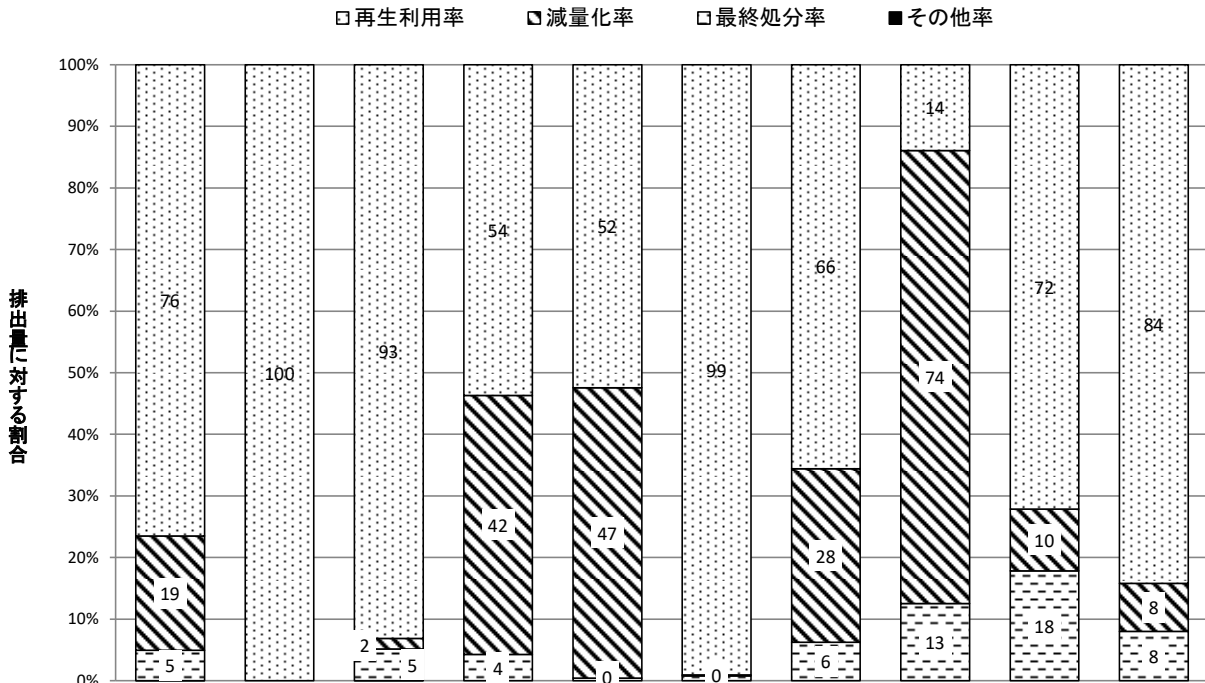
図2-3-1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図



種類:無変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
排出量	540,468	8,469	100,047	6,119	1,349	3,124	30,876	1,167	52,687	223	2,937	540	41	12,573	21,689	10,160	240,873	26,237	21,353	
再生利用量	413,237	6,975	30,889	1,984	203	150	20,199	606	46,107	52	2,090	443	41	11,229	16,325	9,401	232,355	26,237	8,395	
減量化量	100,472	10	67,172	4,051	1,132	2,957	7,330	52	5,498	144	819	443			1,196			1,637		8,031
最終処分量	26,729	1,484	1,986	84	14	17	3,347	510	1,053	27	29	97		1,344	4,169	759	6,881			4,926
その他量	29								29											

注1) 図表中の廃棄物の種類は、排出量に対する処理の割合を示すために、中間処理により種類が変わった場合であっても、発生時の種類で捉えている。【種類別:無変換】

図 2-3-2 種類別の排出量に対する処理・処分量の割合



業種 (t/年)	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
排出量	540,468	5,515	294,566	177,924	17,648	1,876	14,537	9,068	2,551	16,783
再生利用量	413,237	5,515	274,282	95,567	9,250	1,858	9,537	1,264	1,839	14,125
減量化量	100,472		5,092	74,736	8,320	4	4,090	6,666	256	1,309
最終処分量	26,729		15,162	7,621	79	15	910	1,138	455	1,349
その他量	29		29							

図 2-3-3 業種別の排出量に対する処理・処分量の割合

2. 自己中間処理状況（物質変換を考慮しない）

排出事業者自らが中間処理を行った自己中間処理量は、137千トンであり、排出量の25.3%を占めている。

自己中間処理量を種類別にみると、図2-3-4に示すとおり、汚泥が80千トン（自己中間処理量の58.3%）で最も多く、次いで、がれき類が36千トン（同26.6%）、木くずが7千トン（同5.4%）、ガラスくず等が6千トン（同4.4%）等となっている。

また、排出量に対する自己中間処理量の割合（自己中間処理率）及び自己中間処理量に対する自己減量化量の割合（自己減量化率）についてみると、図2-3-5に示すとおりである。

自己中間処理率が高い種類は、動物系固形不要物（100.0%）、汚泥（79.7%）等となっており、自己減量化率が高い種類では、その他産業廃棄物（92.9%）、動物系固形不要物（82.0%）、繊維くず（70.3%）等となっている。

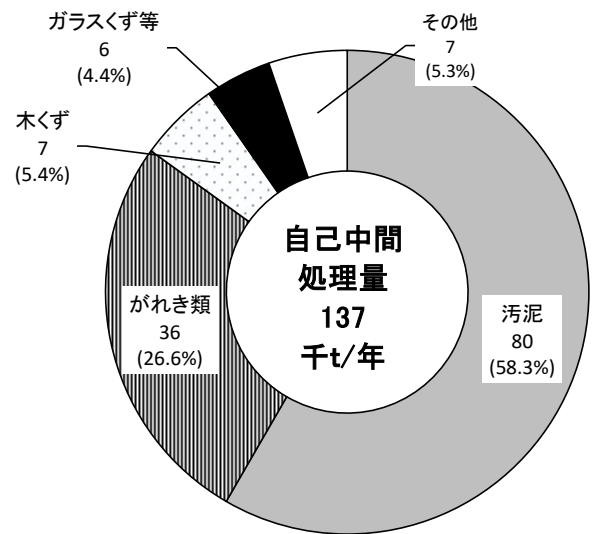


図2-3-4 種類別の自己中間処理量

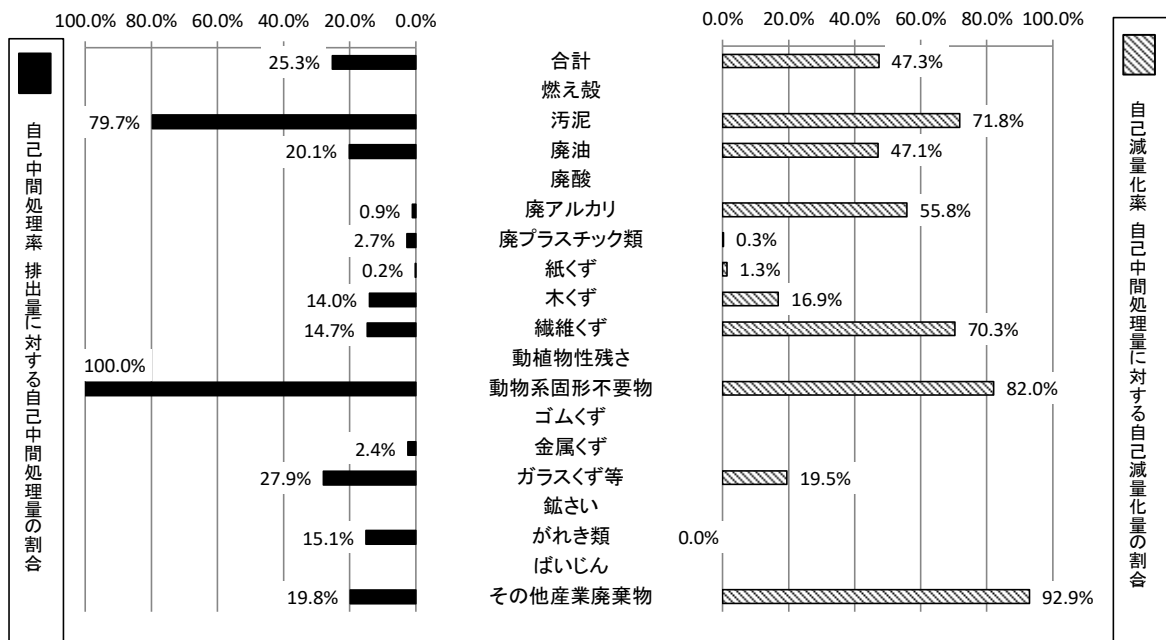


図2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己減量化量の割合

3. 委託処理状況

処理業者等によって処理(中間処理、最終処分を含む)された委託処理量は、421千トンであり、排出量の77.9%を占めている。

委託処理量を種類別にみると、図2-3-6、7に示すとおり、がれき類が208千トン(委託処理量の49.4%)で最も多く、次いで木くずが46千トン(同11.0%)、汚泥が31千トン(同7.3%)、廃プラスチック類が31千トン(同7.3%)、ばいじんが26千トン(同6.2%)、ガラスくず等が20千トン(同4.7%)等となっている。

また、委託処理量を処理方法別にみると、中間処理量は415千トン(同98.7%)、直接最終処分量は6千トン(同1.3%)となっている。

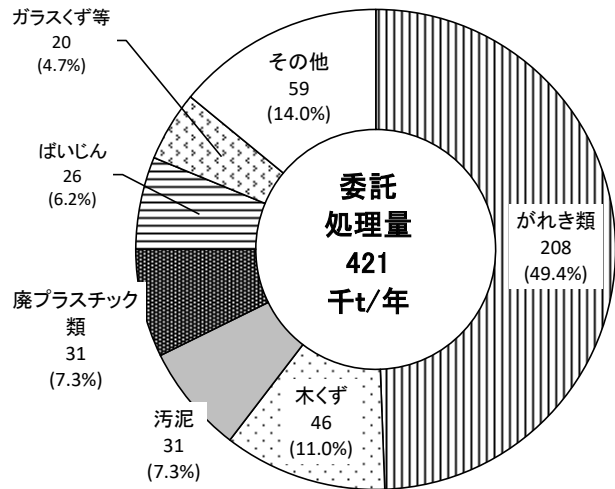
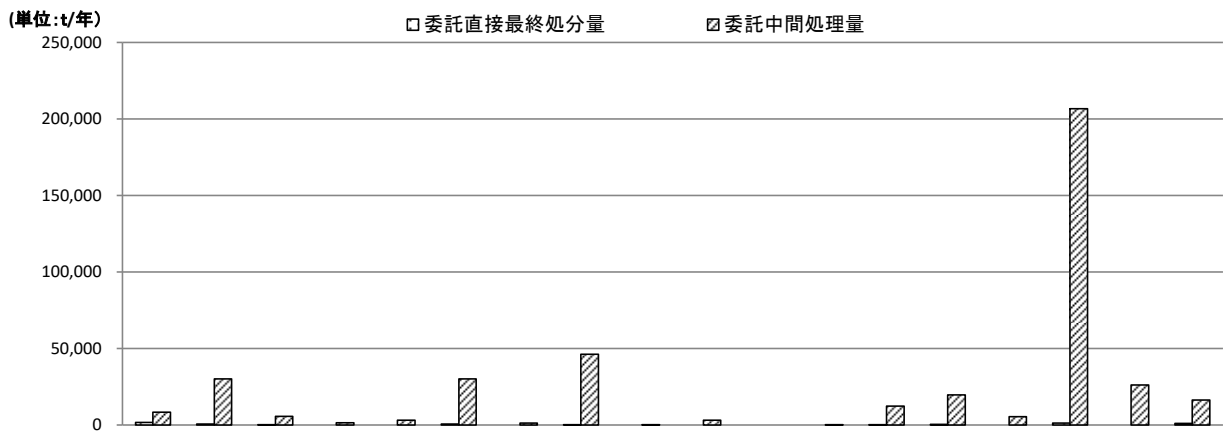


図2-3-6 種類別の委託処理量



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	紙さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
委託処理量	420,793	9,822	30,784	5,539	1,349	3,108	30,686	1,166	46,256	191	2,937		41	12,285	19,842	5,308	207,924	26,237	17,317
	(100%)	(2%)	(7%)	(1%)	(0%)	(1%)	(7%)	(0%)	(11%)	(0%)	(1%)		(0%)	(3%)	(5%)	(1%)	(49%)	(6%)	(4%)
委託直接最終処分量	5,518	1,630	525	8			544		6					148	356		1,209		1,091
	(100%)	(30%)	(10%)	(0%)			(10%)		(0%)					(3%)	(6%)		(22%)		(20%)
委託中間処理量	415,275	8,192	30,258	5,531	1,349	3,108	30,142	1,166	46,250	191	2,937		41	12,138	19,487	5,308	206,715	26,237	16,226
	(100%)	(2%)	(7%)	(1%)	(0%)	(1%)	(7%)	(0%)	(11%)	(0%)	(1%)		(0%)	(3%)	(5%)	(1%)	(50%)	(6%)	(4%)

図2-3-7 種類別委託処理量の内訳

4. 資源化、再生利用状況

(1) 資源化状況

資源化量は、425千トンであり、発生量の76.9%を占めている。

資源化量を種類別にみると、図2-3-8、9に示すとおり、がれき類が232千トン(資源化量の54.7%)で最も多く、次いで、木くずが47千トン(同11.2%)、汚泥が29千トン(同6.9%)、ばいじんが26千トン(同6.2%)、廃プラスチック類が21千トン(同4.9%)、金属くず等が19千トン(同4.4%)等となっている。

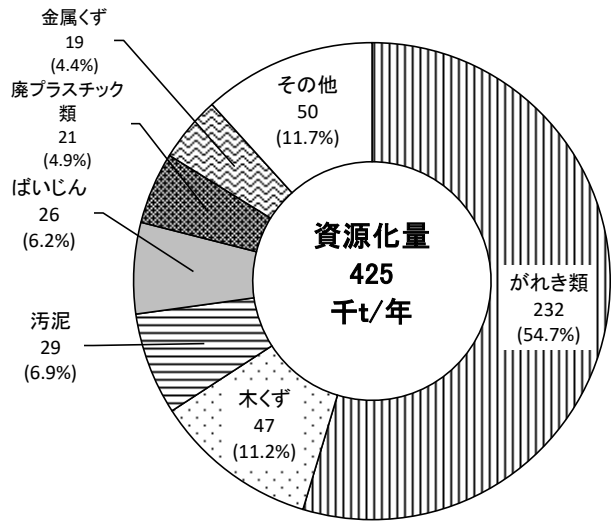
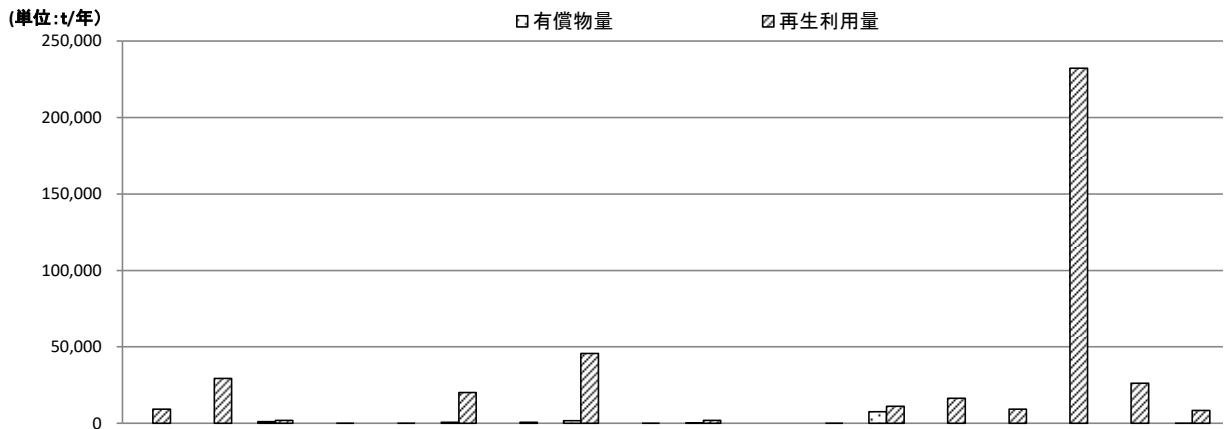


図2-3-8 種類別の資源化量



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
資源化量	424,517	9,366	29,391	3,080	22	124	20,694	606	47,450	46	2,367		41	18,870	16,296	9,401	232,139	26,237	8,385
	(100%)	(2%)	(7%)	(1%)	(0%)	(0%)	(5%)	(0%)	(11%)	(0%)	(1%)		(0%)	(4%)	(4%)	(2%)	(55%)	(6%)	(2%)
有償物量	11,280			1,103			568		1,658		278			7,668					7
	(100%)			(10%)			(5%)		(15%)		(2%)			(68%)					(0%)
再生利用量	413,237	9,366	29,391	1,977	22	124	20,127	606	45,792	46	2,090		41	11,203	16,296	9,401	232,139	26,237	8,378
	(100%)	(2%)	(7%)	(0%)	(0%)	(0%)	(5%)	(0%)	(11%)	(0%)	(1%)		(0%)	(3%)	(4%)	(2%)	(56%)	(6%)	(2%)

図2-3-9 種類別資源化量の内訳

(2) 再生利用状況

資源化量のうち有償物量を除く再生利用量は413千トンであり、排出量の76.5%を占めている。

再生利用量を種類別にみると、図2-3-10に示すとおり、がれき類が232千トン(再生利用量の56.2%)で最も多く、次いで、木くずが46千トン(同11.1%)、汚泥が29千トン(同7.1%)、ばいじんが26千トン(同6.3%)、廃プラスチック類が20千トン(同4.9%)、ガラスくず等が16千トン(同3.9%)等となっている。

なお、用途別にみた再生利用状況は、図2-3-11、表2-3-1に示すとおりであり、土木・建設資材・再生資材が279千トン(同67.6%)で最も多く、次いで、セメント原材料が46千トン(同11.2%)、燃料が33千トン(同8.1%)等となっている。

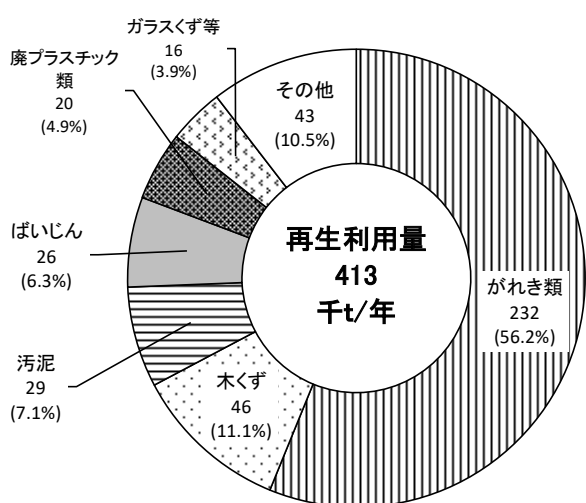


図2-3-10 種類別の再生利用量

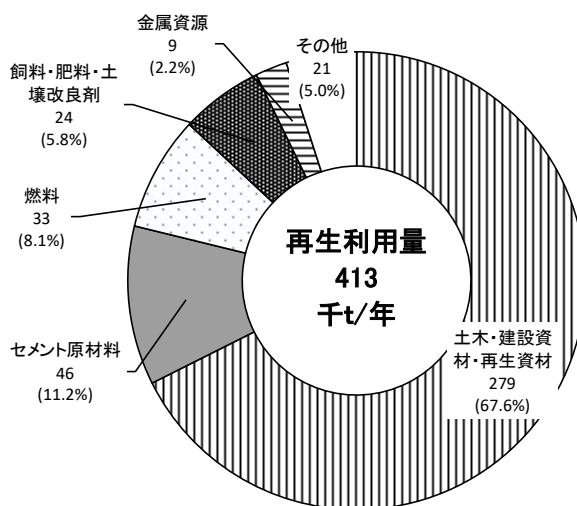


図2-3-11 用途別の再生利用量

表 2-3-1 用途別にみた再生利用状況

(単位:t/年)

種類	用途 合計	金属資源	燃料	土木・建設資材・再生資材	セメント原材料	飼料・肥料・土壌改良剤	パルプ・紙原料	ガラス原材料	プラスチック原料	再生油・再生溶剤	再生タイヤ	高炉還元(製鉄用)コークス代替材	その他
合計	413,237 (100.0%)	9,281 (2.2%)	33,478 (8.1%)	279,355 (67.6%)	46,487 (11.2%)	24,116 (5.8%)	2,693 (0.7%)	2,019 (0.5%)	2,738 (0.7%)	1,159 (0.3%)	93 (0.0%)	4 (0.0%)	11,814 (2.9%)
燃え殻	9,366	5	426	1,615	7,212		38	2	20	47			1
汚泥	29,391	5	3,704	5,850	2,043	11,159						0	6,630
有機性汚泥	13,489	5	3,667		358	9,332							127
無機性汚泥	15,902		37	5,850	1,685	1,826						0	6,503
廃油	1,977		828		2	118	0			997			31
一般廃油	1,230		828		2	98	0			270			31
廃溶剤	727									727			
固形油													
油でい	21					21							
油付着物													
廃酸	22				1					21			
廃アルカリ	124		5		1	33				86			
廃プラスチック類	20,127	26	10,591	156	5,838		156	6	2,696		93	4	559
廃プラスチック	19,268	26	9,825	156	5,838		156	6	2,696			4	559
廃タイヤ	859		766								93		
紙くず	606		196				351						59
木くず	45,792	0	14,943	16,677		10,788	2,102		0				1,282
繊維くず	46		39										7
動物性残さ	2,090		914	19		1,156							
動物系固形不要物													
ゴムくず	41		41										
金属くず	11,203	9,167	145	262	1,629								
ガラスくず等	16,296	13	131	12,134	886	484		2,005	0				645
鋳さい	9,401			9,401									
がれき類	232,139		1,059	226,102	2,502								2,476
コンクリート片	127,615			123,469	2,502								1,644
廃アスファルト	96,766			95,948									818
その他	7,758		1,059	6,685									14
ばいじん	26,237				26,237								
動物のふん尿													
動物の死体													
その他産業廃棄物	8,378	64	457	7,139	135	378	45	6	21	9	0	0	125
感染性廃棄物	3	3		0									
混合物等	8,375	62	457	7,138	135	378	45	6	21	9	0	0	125

5. 最終処分状況

最終処分量は、27千トンであり、排出量の4.9%を占めている。

最終処分量を種類別にみると、図2-3-12、13に示すとおり、がれき類が7千トン(最終処分量の25.7%)で最も多く、次いで、ガラスくず等が4千トン(同15.3%)、その他産業廃棄物が4千トン(同14.9%)、燃え殻が4千トン(同14.9%)、廃プラスチック類が3千トン(同11.3%)、汚泥が1千トン(同5.0%)等となっている。

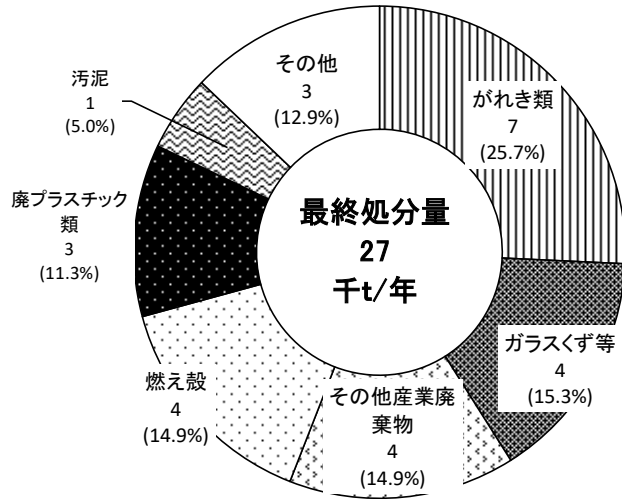
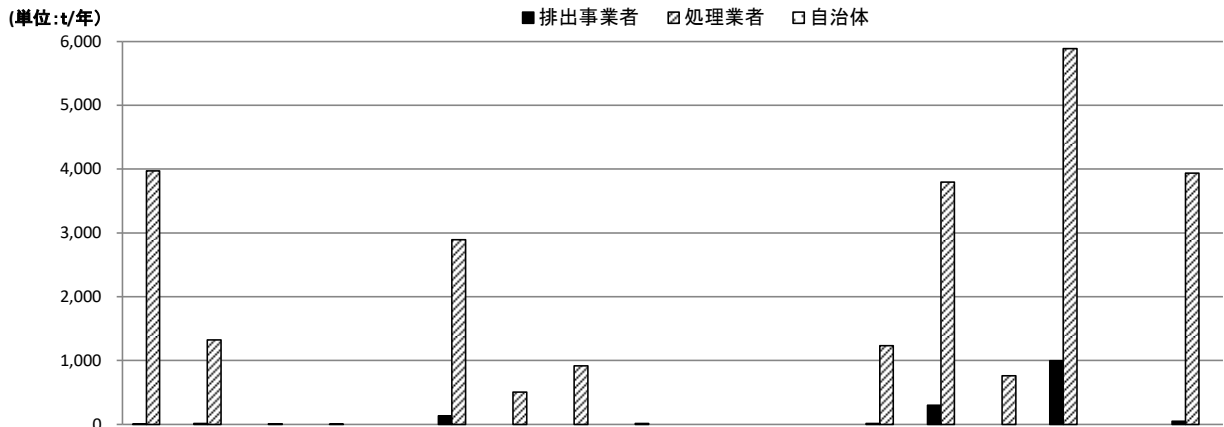


図2-3-12 最終処分量

また、処分主体別にみると、排出事業者による自己最終処分量が1千トン(同5.6%)、処理業者による最終処分量が25千トン(同94.4%)となっている。



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	紙さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
最終処分量	26,729	3,973	1,337	8	0		3,023	504	916	15				1,245	4,088	759	6,881		3,979
	(100%)	(15%)	(5%)	(0%)	(0%)		(11%)	(2%)	(3%)	(0%)				(5%)	(15%)	(3%)	(26%)		(15%)
排出事業者	1,499	0	16				131							12	296		997		47
	(100%)	(0%)	(1%)				(9%)							(1%)	(20%)		(67%)		(3%)
自治体																			
処理業者	25,230	3,973	1,322	8	0		2,892	504	916	15				1,233	3,792	759	5,885		3,933
	(100%)	(16%)	(5%)	(0%)	(0%)		(11%)	(2%)	(4%)	(0%)				(5%)	(15%)	(3%)	(23%)		(16%)

図2-3-13 処分主体別の最終処分量

第4節 第1次産業を含む調査結果

1. 種類別の発生・排出状況

第1次産業を含む種類別の発生・排出状況は、図2-4-1～3に示すとおりである。

発生量(1,239千トン)を種類別にみると、動物のふん尿が686千トン(発生量の55.4%)で最も多く、次いでがれき類が241千トン(同19.4%)、汚泥が100千トン(同8.1%)、木くずが54千トン(同4.4%)、廃プラスチック類が33千トン(同2.6%)、ばいじんが26千トン(同2.1%)となっており、これら6種類で発生量の92.0%を占めている。

排出量(1,109千トン)を種類別にみると、動物のふん尿が568千トン(排出量の51.2%)で最も多く、次いでがれき類が241千トン(同21.7%)、汚泥が100千トン(同9.0%)、木くずが53千トン(同4.8%)、廃プラスチック類が32千トン(同2.9%)、ばいじんが26千トン(同2.4%)となっており、これら6種類で排出量の92.0%を占めている。

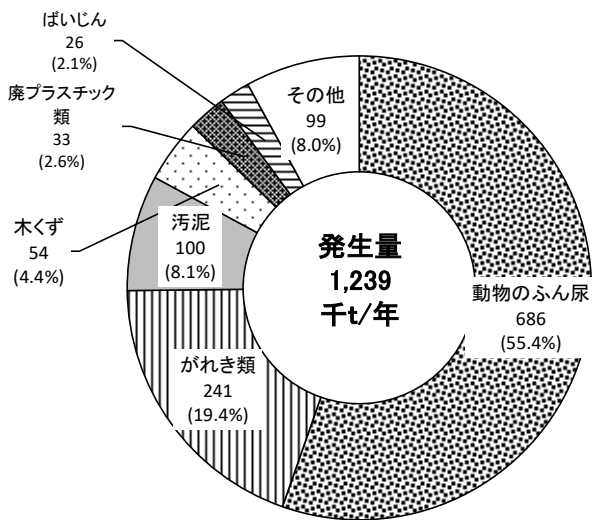


図2-4-1 種類別の発生量

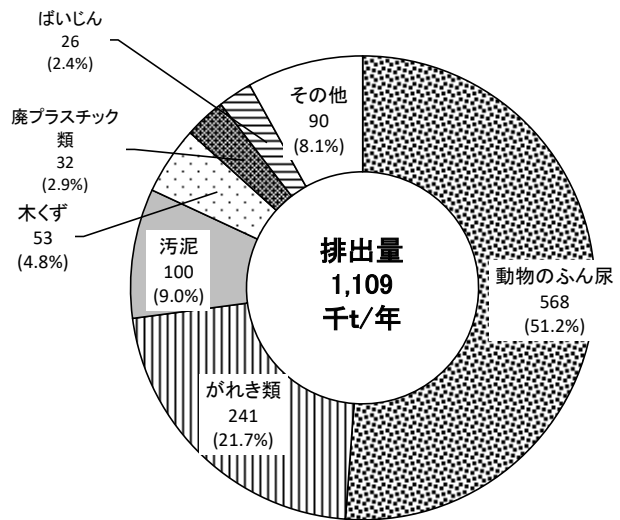


図2-4-2 種類別の排出量

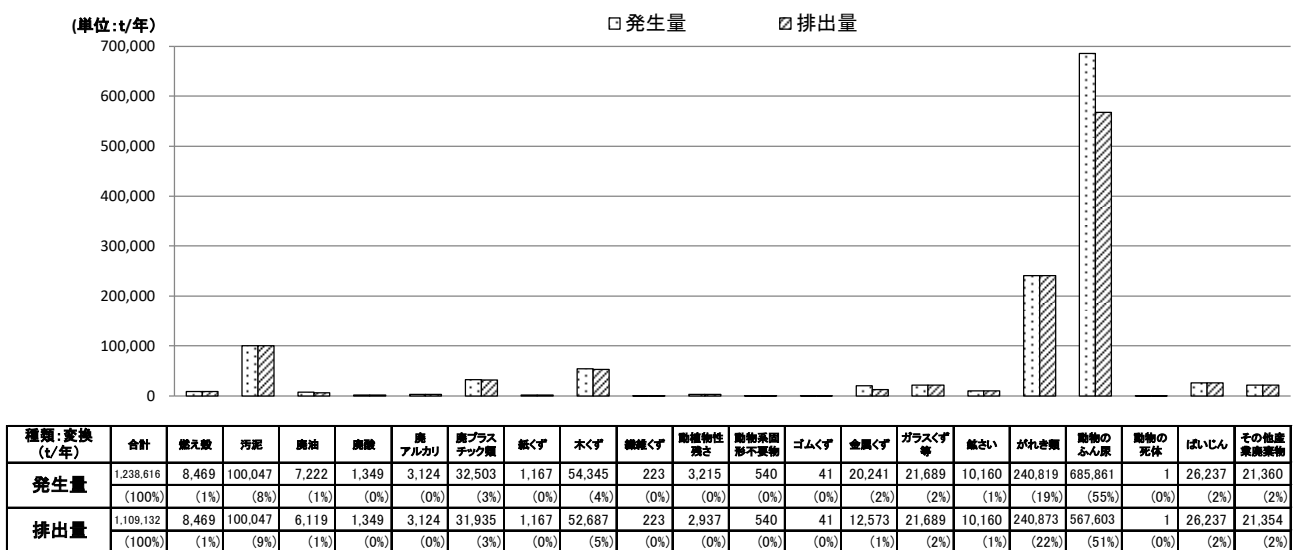


図2-4-3 種類別の発生量、排出量

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-4-4～6に示すとおりである。

発生量(1,239千トン)を業種別にみると、農業が687千トン(発生量の55.5%)で最も多く、次いで、建設業が295千トン(同23.8%)、製造業が188千トン(同15.2%)、電気・水道業が18千トン(同1.4%)となっており、これら4業種で発生量の95.9%を占めている。

排出量(1,109千トン)を業種別にみると、農業が569千トン(排出量の51.3%)で最も多く、次いで、建設業が295千トン(同26.6%)、製造業が178千トン(同16.0%)、電気・水道業が18千トン(同1.6%)となっており、これら4業種で排出量の95.5%を占めている。

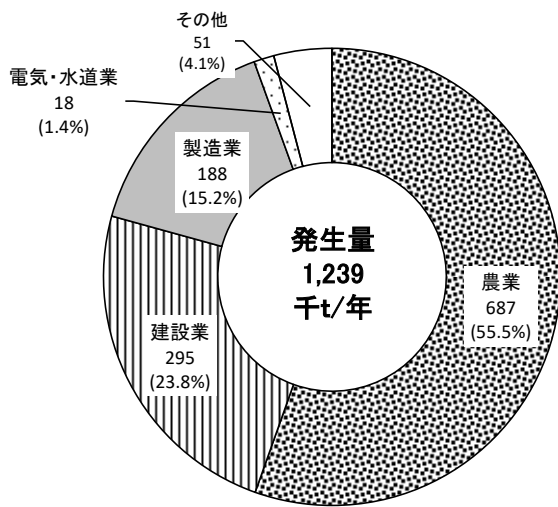


図2-4-4 業種別の発生量

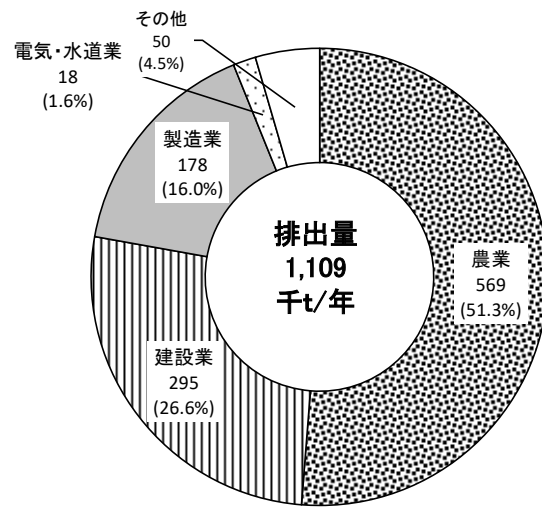
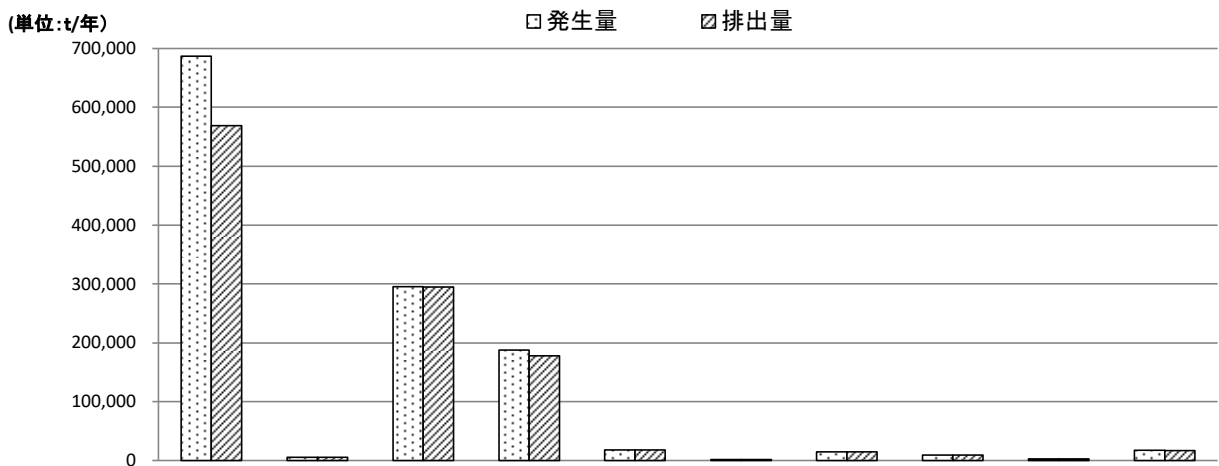


図2-4-5 業種別の排出量



業種 (t/年)	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
発生量	1,238,616	686,923	5,515	295,211	187,972	17,703	1,876	14,654	9,068	2,590	17,104
	(100%)	(55%)	(0%)	(24%)	(15%)	(1%)	(0%)	(1%)	(1%)	(0%)	(1%)
排出量	1,109,132	568,664	5,515	294,566	177,924	17,648	1,876	14,537	9,068	2,551	16,783
	(100%)	(51%)	(0%)	(27%)	(16%)	(2%)	(0%)	(1%)	(1%)	(0%)	(2%)

図2-4-6 業種別の発生量、排出量 (農業を含む)

第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況

1. 農業

農業からの発生量は687千トン、排出量は569千トンである。

発生量・排出量を種類別にみると、図2-5-1、2に示すようにほとんどの量を動物のふん尿が占めている。農業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-3に示すとおりである。

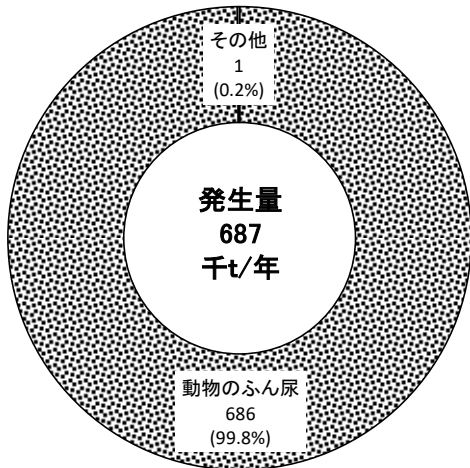


図2-5-1 種類別の発生量
<農業>

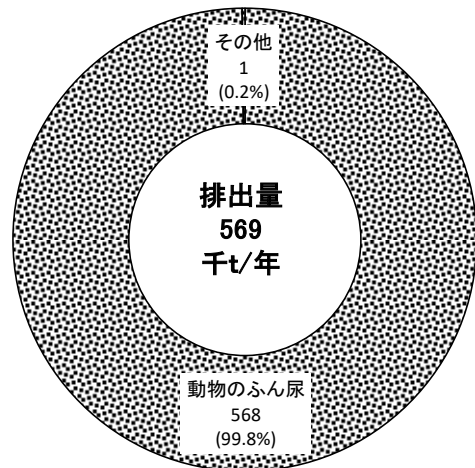


図2-5-2 種類別の排出量
<農業>

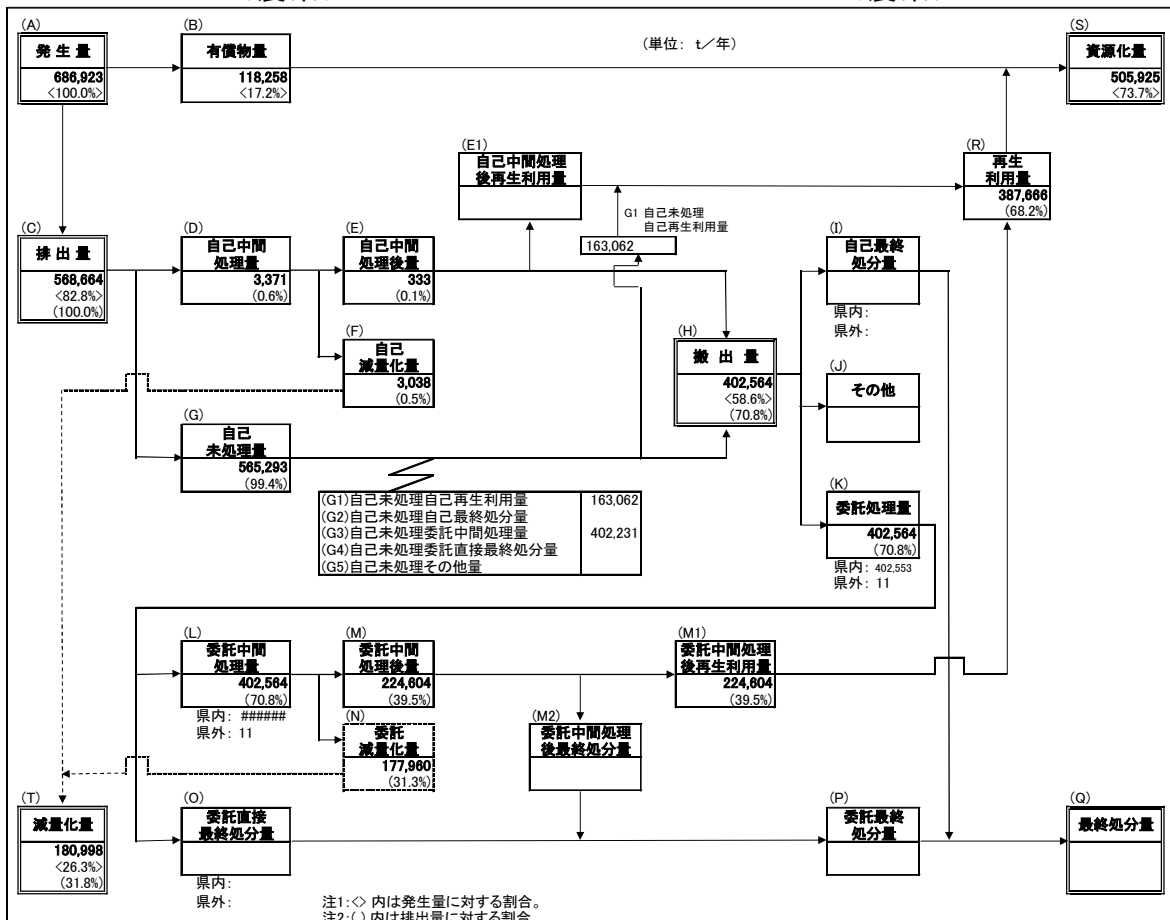


図2-5-3 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図 <農業>

2. 鉱業

鉱業からの発生量及び排出量は 5,515 トンである。

発生量・排出量を種類別にみると、図 2-5-4、5 に示すようにほとんどの量を汚泥が占めている。鉱業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-6 に示すとおりである。

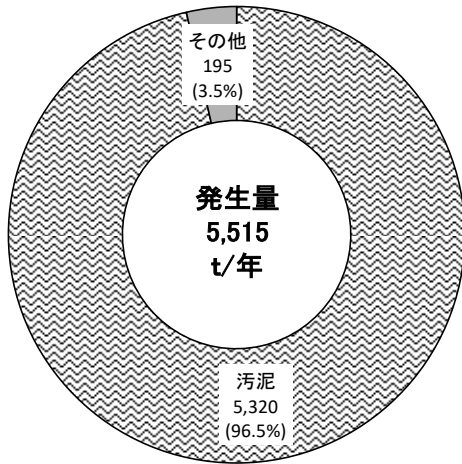


図 2-5-4 種類別の発生量
＜鉱業＞

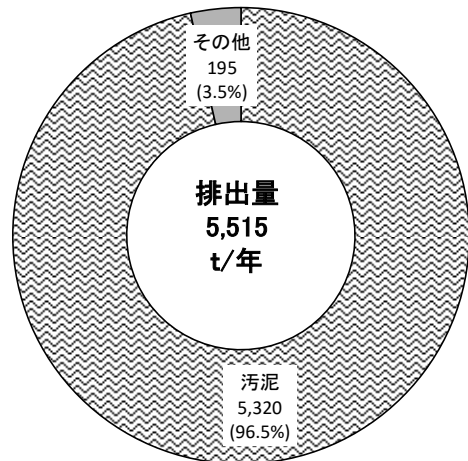


図 2-5-5 種類別の排出量
＜鉱業＞

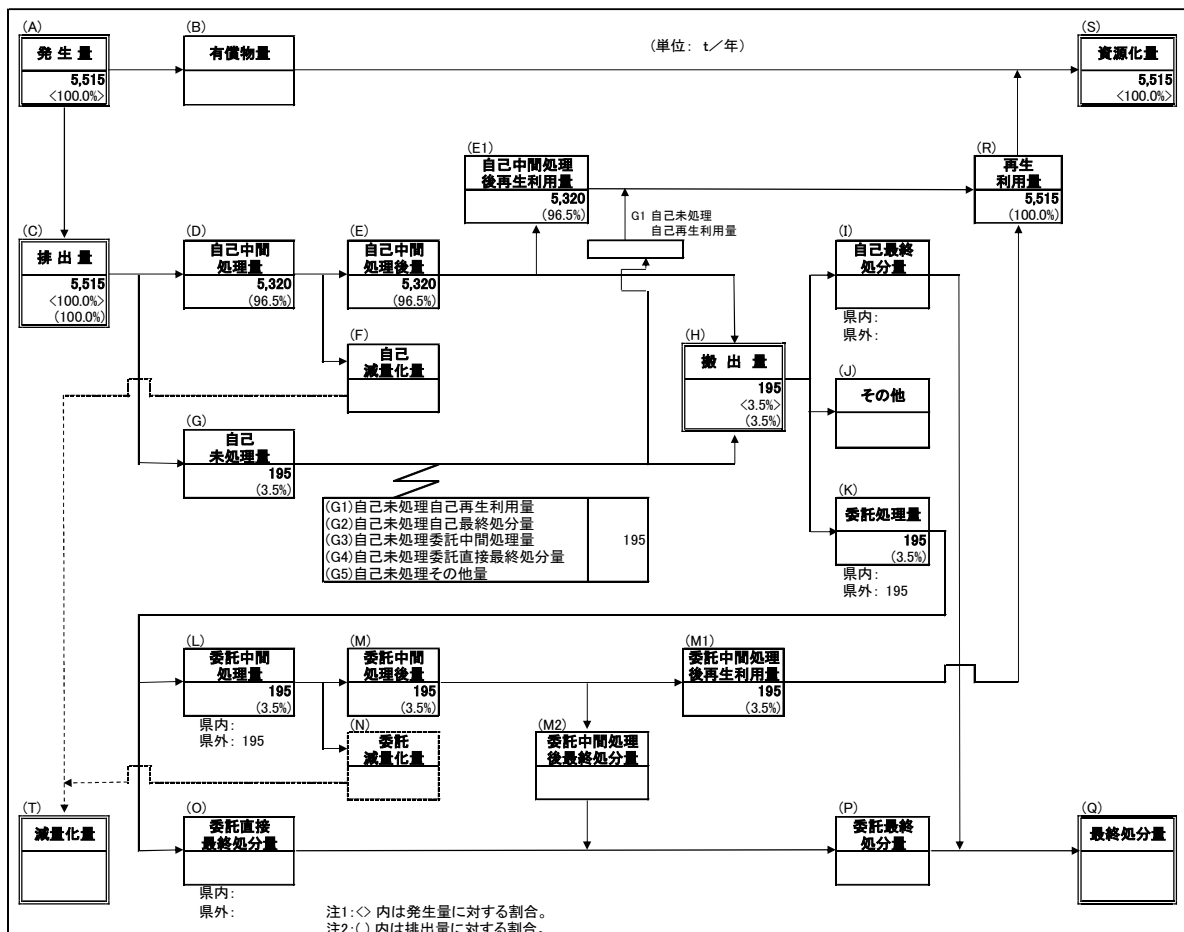


図 2-5-6 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図＜鉱業＞

3. 建設業

建設業からの発生量は 295 千トン、排出量は 295 千トンである。

発生量(295 千トン)を種類別にみると、図 2-5-7 に示すようにがれき類が 232 千トン(発生量の 78.5%)で最も多く、次いで、木くずが 35 千トン(同 11.9%)、ガラスくず等が 9 千トン(同 3.0%)となっており、これら 3 種類で発生量の 93.4%を占めている。

また、排出量(295 千トン)を種類別にみると、図 2-5-8 に示すようにがれき類が 232 千トン(排出量の 78.7%)で最も多く、次いで、木くずが 35 千トン(同 11.7%)、ガラスくず等が 9 千トン(同 3.1%)となっており、これら 3 種類で排出量の 93.5%を占めている。

建設業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図 2-5-10 に示すとおりである。

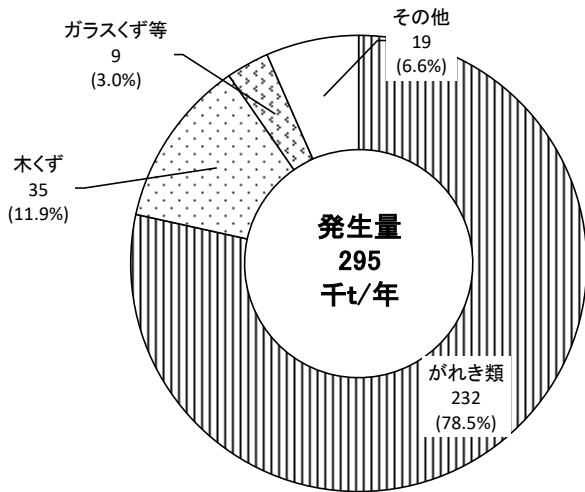


図 2-5-7 種類別の発生量
＜建設業＞

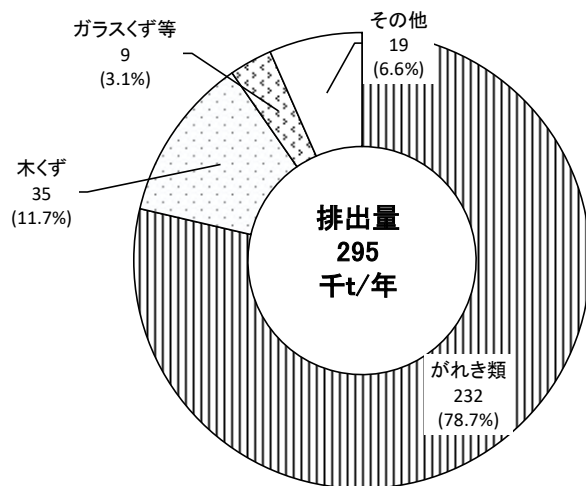
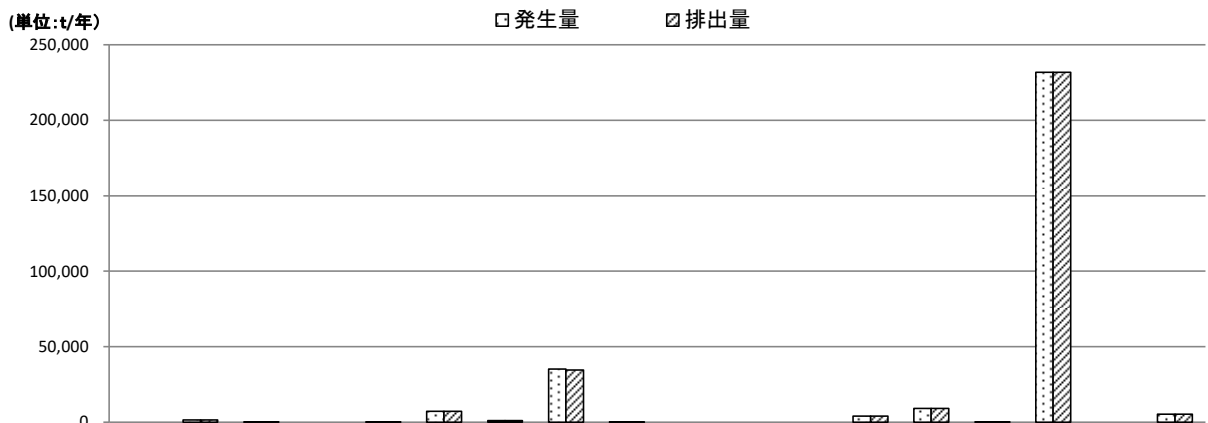


図 2-5-8 種類別の排出量
＜建設業＞



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	紙さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	295,211 (100%)		1,452 (0%)	42 (0%)		0 (0%)	7,189 (2%)	1,155 (0%)	35,188 (12%)	223 (0%)				3,909 (1%)	8,992 (3%)	19 (0%)	231,634 (78%)		5,408 (2%)
排出量	294,566 (100%)		1,452 (0%)	42 (0%)		0 (0%)	7,189 (2%)	1,155 (0%)	34,514 (12%)	223 (0%)				3,884 (1%)	8,992 (3%)	19 (0%)	231,688 (79%)		5,408 (2%)

図 2-5-9 種類別の発生量・排出量＜建設業＞

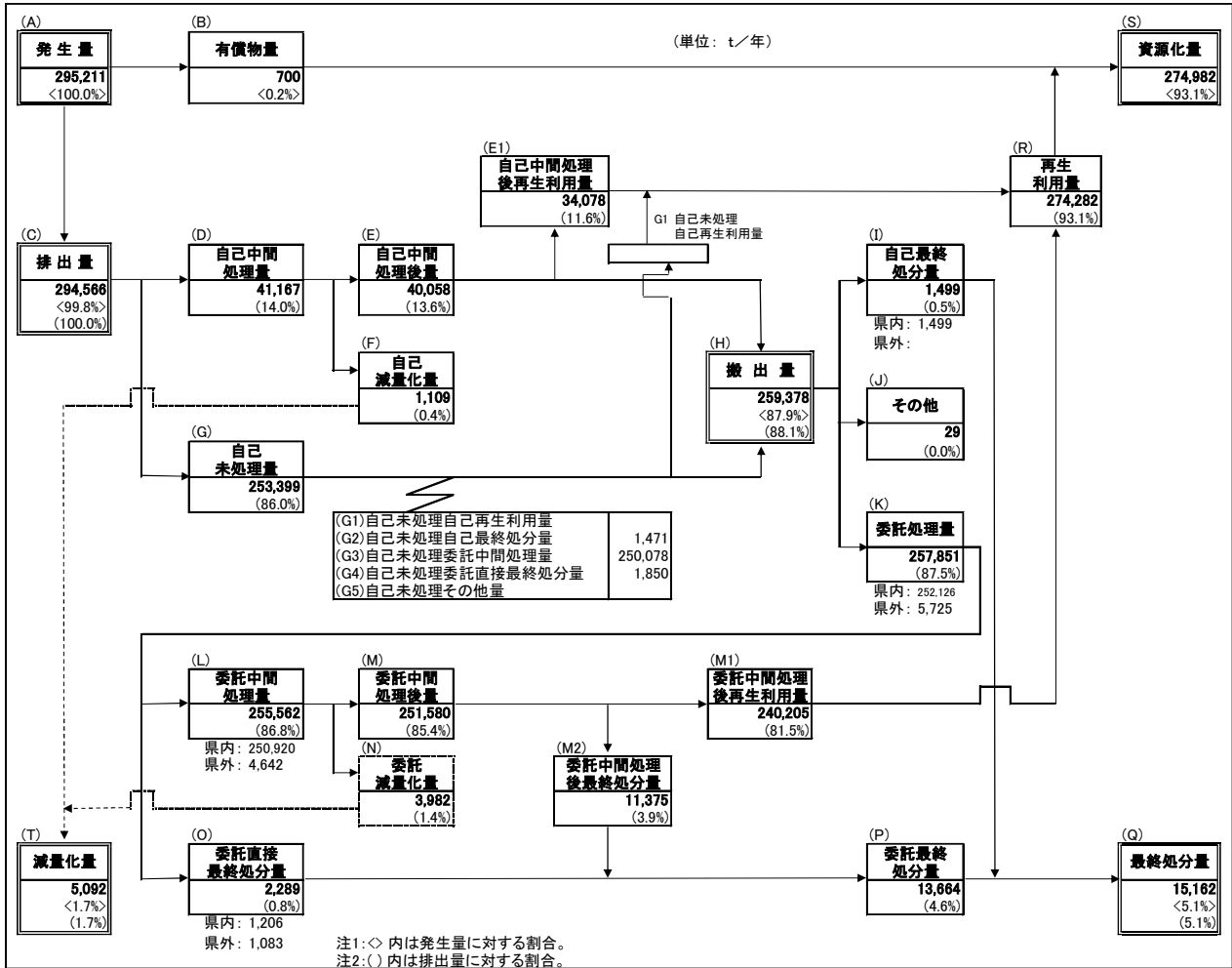


図 2 - 5 - 1 0 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<建設業>

4. 製造業

(1) 種類別の発生・排出状況

製造業からの発生量は188千トン、排出量は178千トンである。

発生量(188千トン)を種類別にみると、図2-5-11に示すように汚泥が76千トン(発生量の40.3%)で最も多く、次いで、ばいじんが26千トン(同14.0%)、ガラスくず等が12千トン(同6.3%)、金属くずが12千トン(同6.2%)、木くずが11千トン(同5.7%)、鉱さいが10千トン(同5.4%)となっており、これら6種類で発生量の77.9%を占めている。

また、排出量(178千トン)を種類別にみると、図2-5-12に示すように汚泥が76千トン(排出量の42.6%)で最も多く、次いで、ばいじんが26千トン(同14.7%)、ガラスくず等が12千トン(同6.6%)、鉱さいが10千トン(同5.7%)、木くずが10千トン(同5.4%)、廃プラスチック類が9千トン(同5.2%)となっており、これら6種類で排出量の80.2%を占めている。

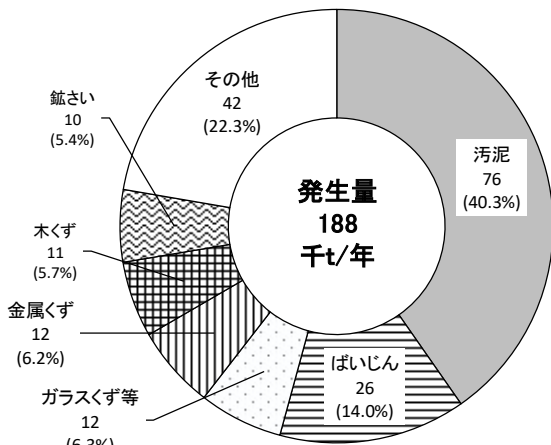


図2-5-11 種類別の発生量
＜製造業＞

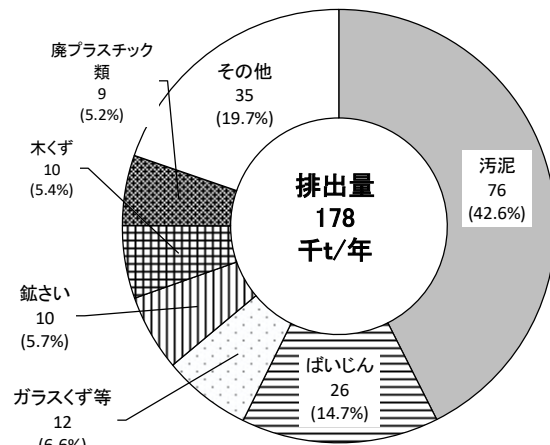


図2-5-12 種類別の排出量
＜製造業＞

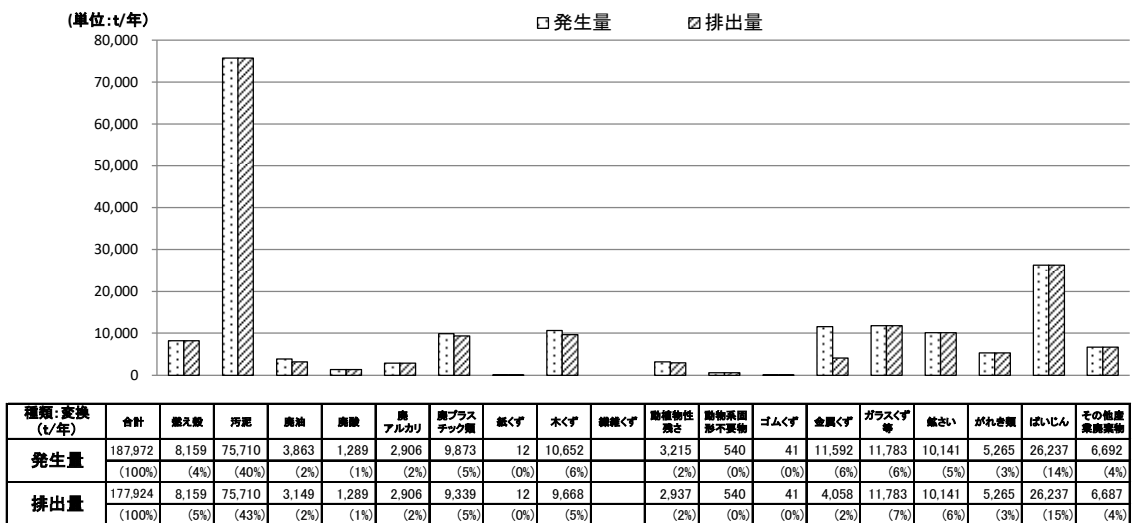


図2-5-13 種類別の発生量・排出量＜製造業＞

(2) 業種中分類別の発生・排出状況

製造業における発生量(188千トン)を業種中分類別にみると、図2-5-14に示すようにパルプ・紙が95千トン(発生量の50.6%)で最も多く、次いで、窯業・土石が24千トン(同12.8%)、鉄鋼が13千トン(同7.1%)、食料品が12千トン(同6.4%)、木材・木製品が8千トン(同4.3%)、金属が6千トン(同3.2%)となっており、これら6業種で発生量の84.4%を占めている。

また、排出量(178千トン)を業種中分類別にみると、図2-5-15に示すようにパルプ・紙が94千トン(排出量の53.1%)で最も多く、次いで、窯業・土石が24千トン(同13.5%)、鉄鋼が12千トン(同6.7%)、食料品が12千トン(同6.5%)、木材・木製品が7千トン(同4.0%)、金属が4千トン(同2.3%)となっており、これら6業種で排出量の86.1%を占めている。

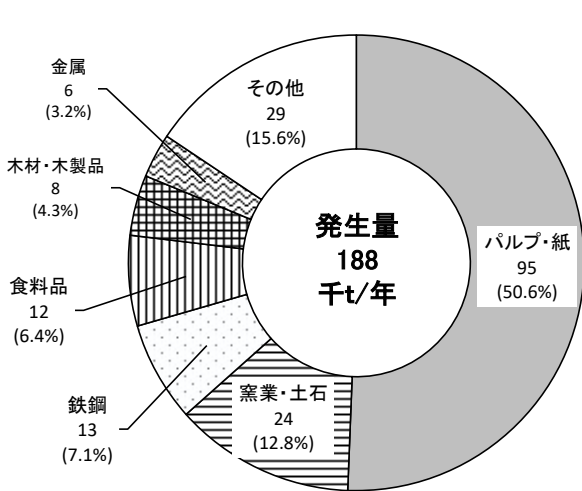


図2-5-14 業種中分類別の発生量 <製造業>

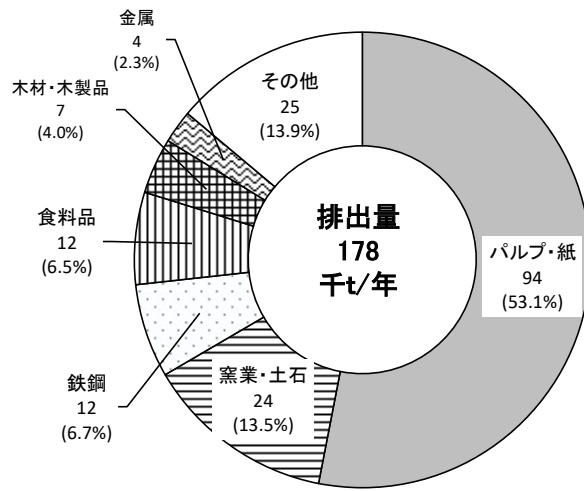


図2-5-15 業種中分類別の排出量 <製造業>

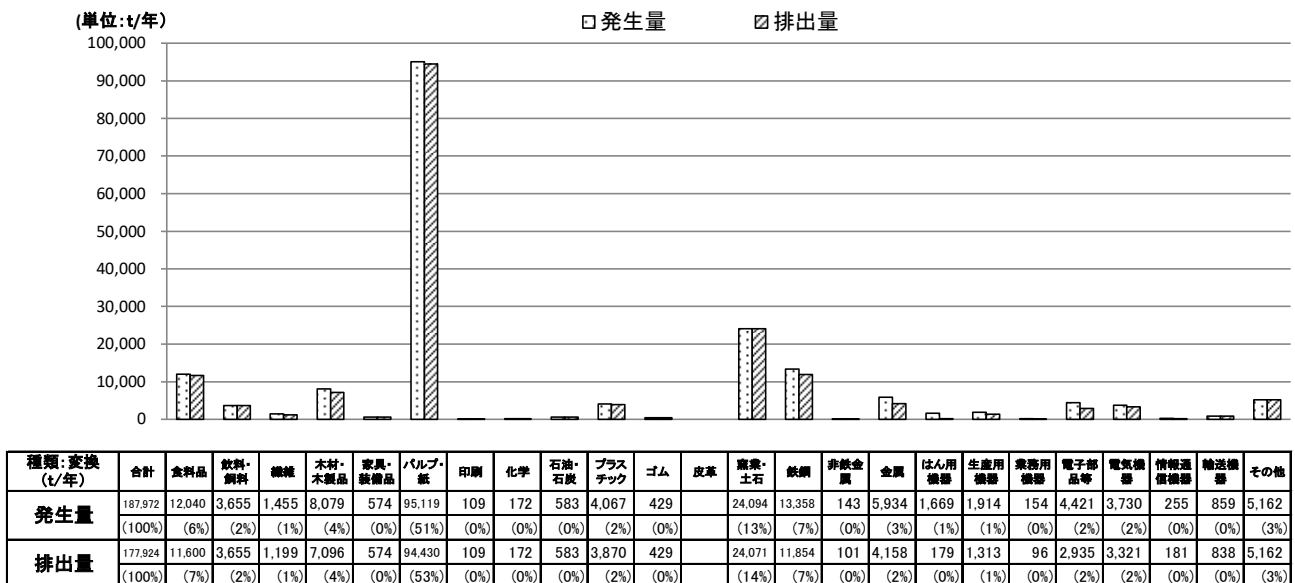


図2-5-16 業種中分類別の発生量・排出量 <製造業>

(3) 処理・処分状況

製造業における発生・排出から処理・処分の流れは、図2-5-17に示すとおりである。

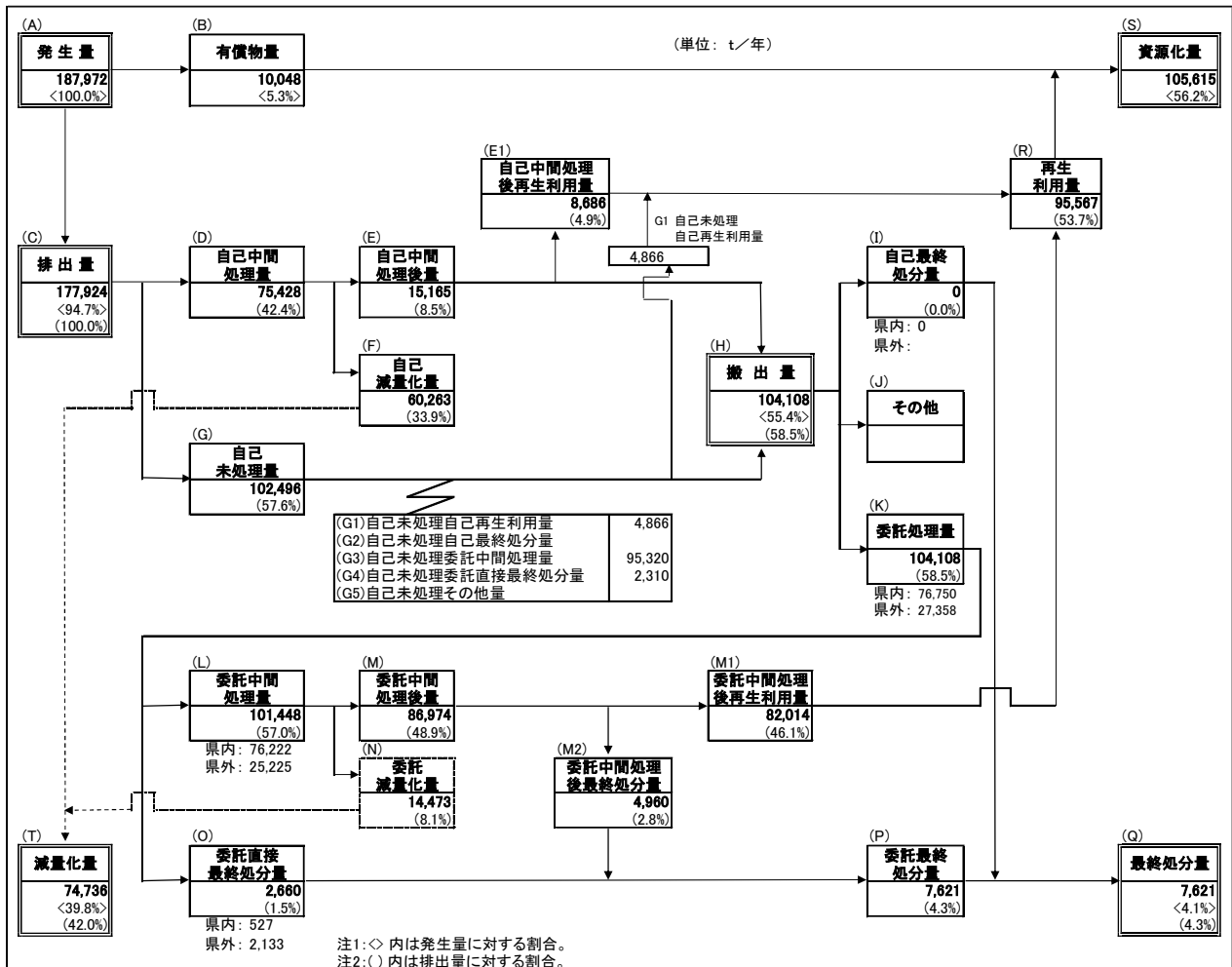


図2-5-17 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<製造業>

5. 電気・水道業

電気・水道業からの発生量は17,703トン、排出量は17,648トンである。

発生量・排出量を種類別にみると、図2-5-18、19に示すように汚泥が15,448トンと最も多く、電気・水道業の発生・排出量の約90%を占めている。電気・水道業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-21に示すとおりである。

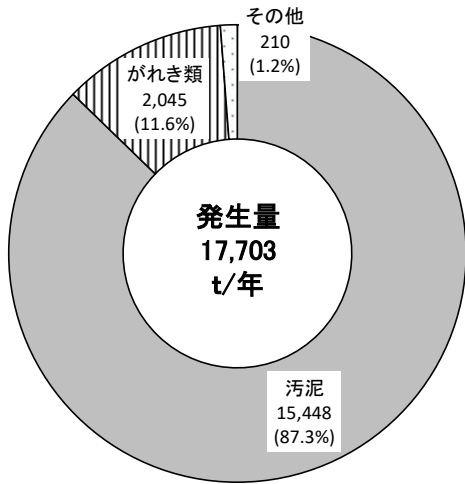


図2-5-18 種類別の発生量
<電気・水道業>

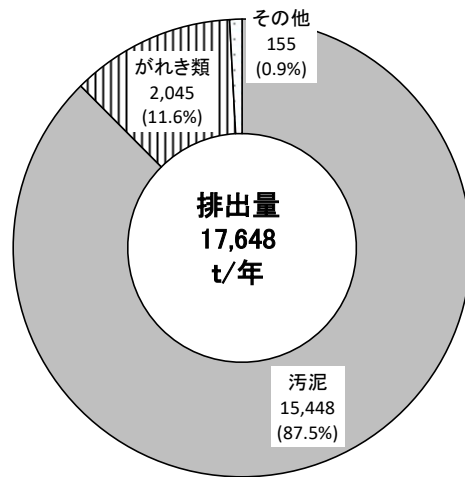
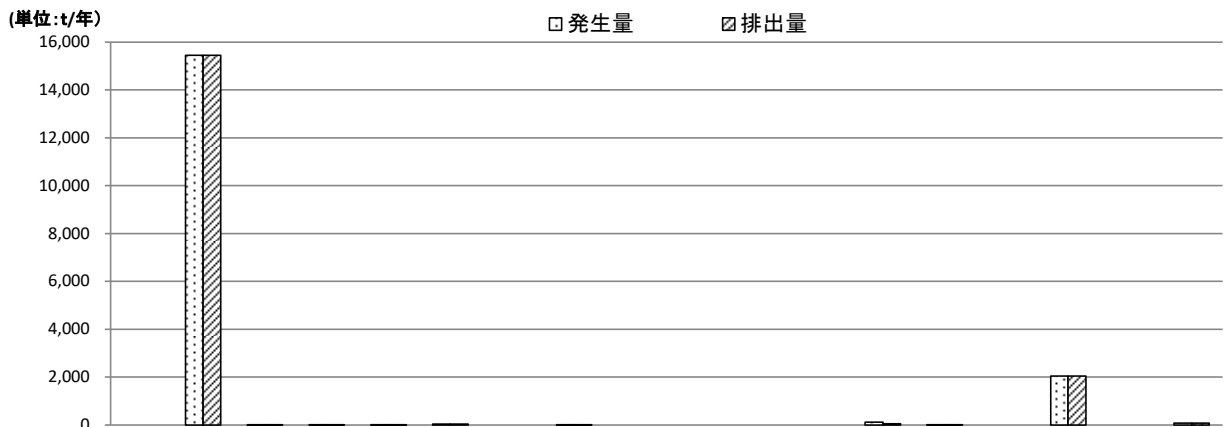


図2-5-19 種類別の排出量
<電気・水道業>



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	17,703		15,448	1	1	0	25		6					107	7		2,045		64
	(100%)		(87%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)		(0%)					(1%)	(0%)		(12%)		(0%)
排出量	17,648		15,448	1	1	0	25		6					52	7		2,045		64
	(100%)		(88%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)		(0%)					(0%)	(0%)		(12%)		(0%)

図2-5-20 種類別の発生量・排出量 <電気・水道業>

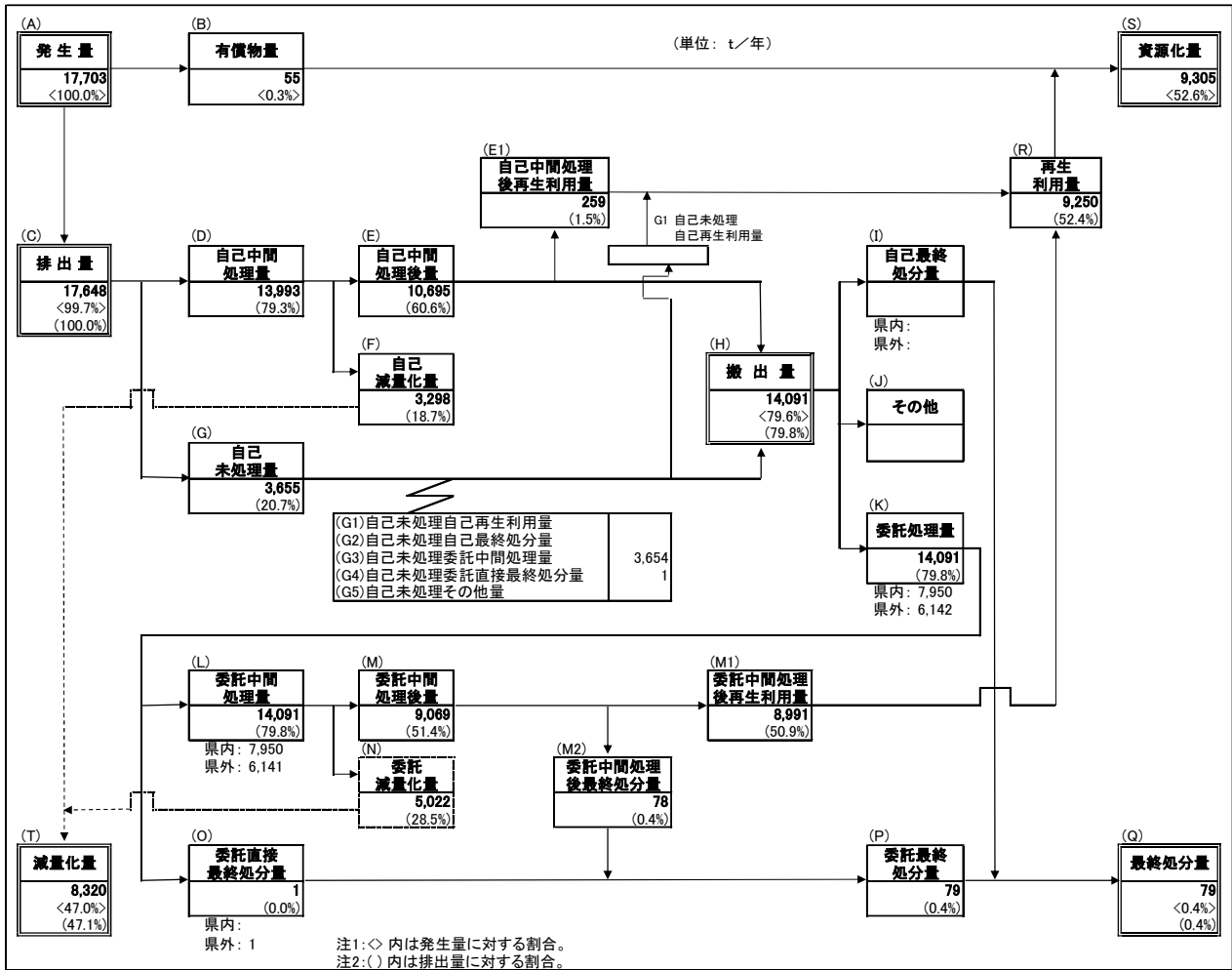


図 2 - 5 - 2 1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<電気・水道業>

6. 情報通信業

情報通信業からの発生量及び排出量は1,876トンである。

発生量・排出量(1,876トン)を種類別にみると、図2-5-22、23に示すようにがれき類が1,480トン(発生量・排出量の78.9%)で最も多く、次いで、汚泥が125トン(同6.7%)となっており、これら2種類で発生量・排出量の85.6%を占めている。

情報通信業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-25に示すとおりである。

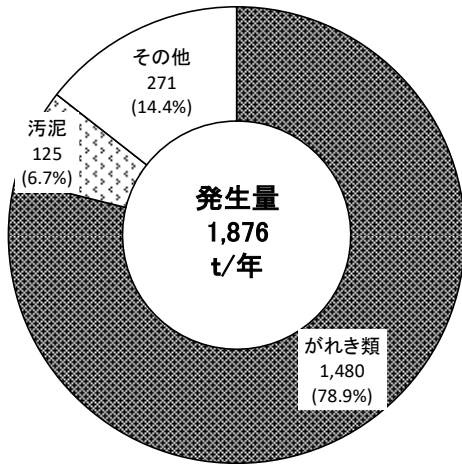


図2-5-22 種類別の発生量
＜情報通信業＞

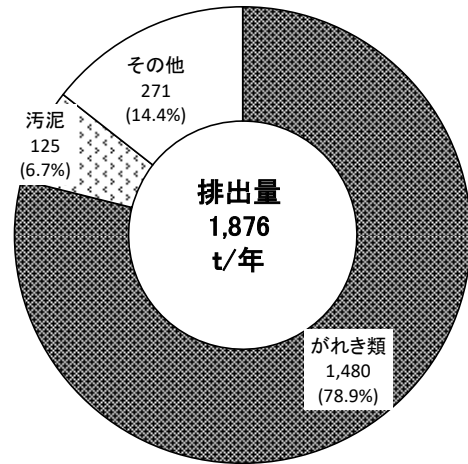


図2-5-23 種類別の排出量
＜情報通信業＞

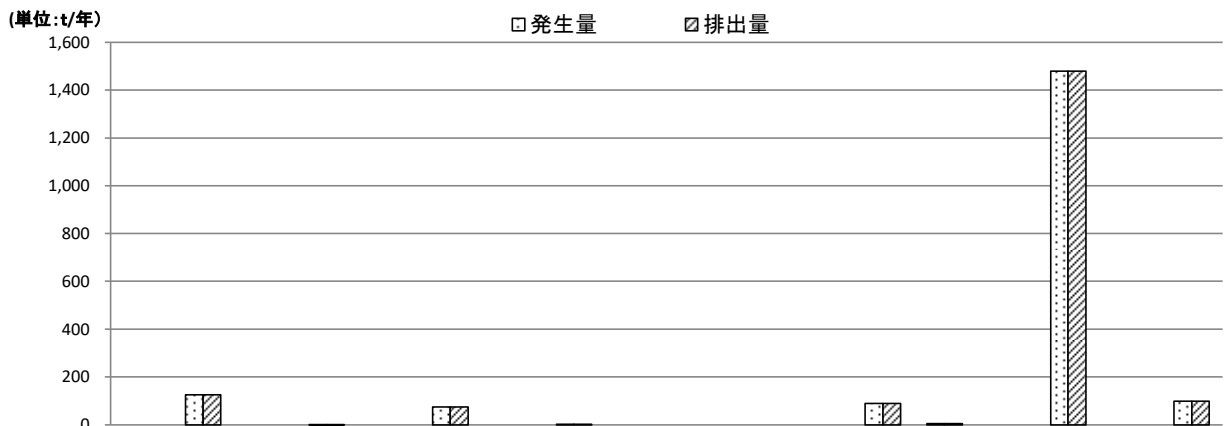


図2-5-24 種類別の発生量・排出量＜情報通信業＞

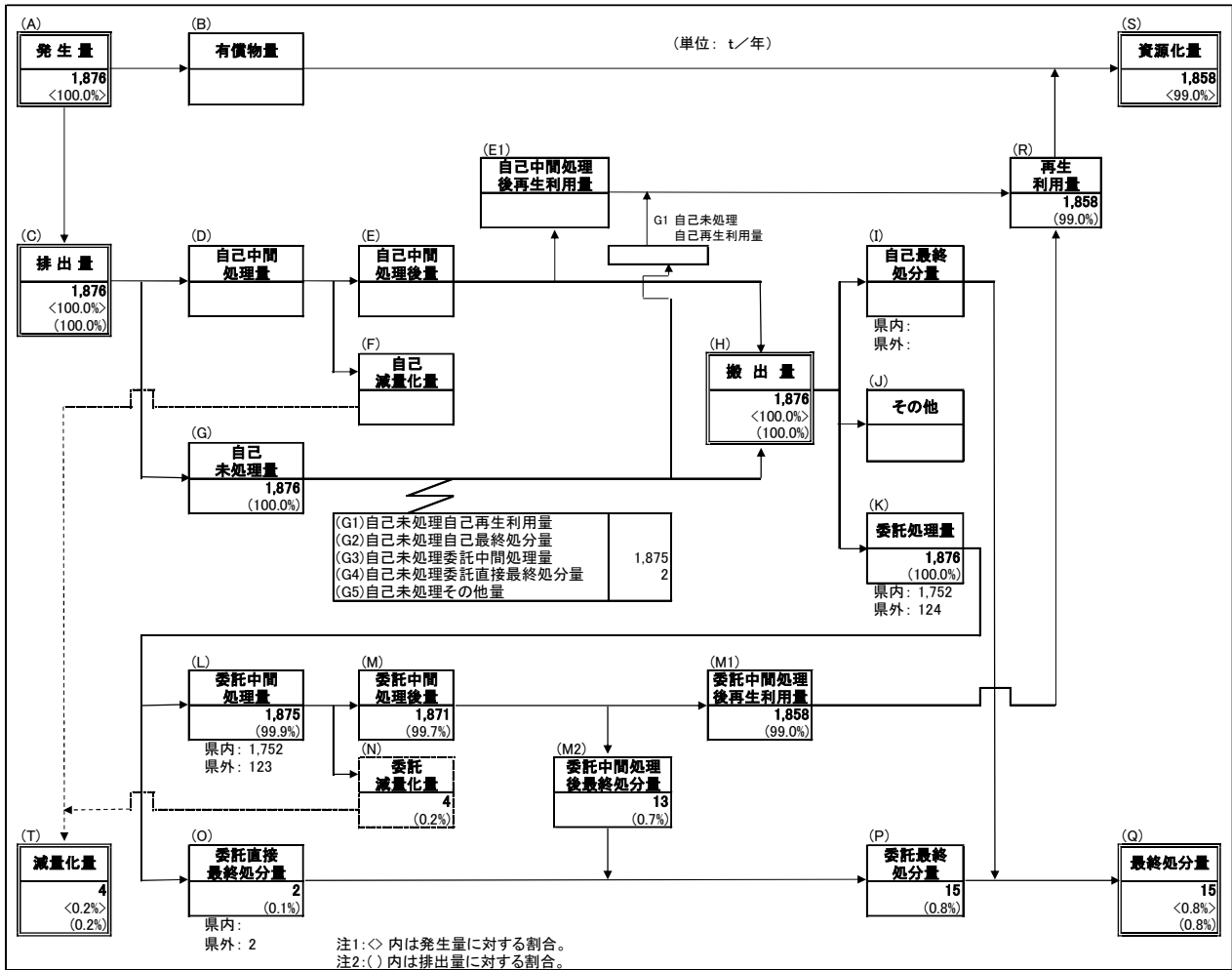


図 2 - 5 - 2 5 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<情報通信業>

7. 卸・小売業

卸・小売業からの発生量は14,654トン、排出量は14,537トンである。

発生量(14,654トン)を種類別にみると、図2-5-26に示すように廃プラスチック類が8,490トン(発生量の57.9%)で最も多く、次いで、金属くずが1,788トン(同12.2%)、木くずが1,346トン(同9.2%)、廃油が1,164トン(同7.9%)、その他産業廃棄物が967トン(同6.6%)、汚泥が396トン(同2.7%)となっており、これら6種類で発生量の96.6%を占めている。

また、排出量(14,537トン)を種類別にみると、図2-5-27に示すように廃プラスチック類が8,479トン(排出量の58.3%)で最も多く、次いで、金属くずが1,786トン(同12.3%)、木くずが1,346トン(同9.3%)、廃油が1,059トン(同7.3%)、その他産業廃棄物が967トン(同6.7%)、汚泥が396トン(同2.7%)となっており、これら6種類で排出量の96.6%を占めている。

卸・小売業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-29に示すとおりである。

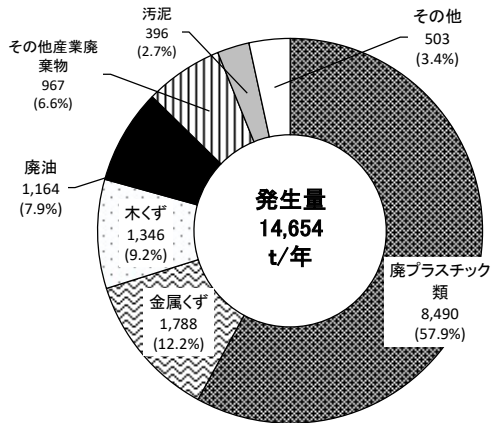


図2-5-26 種類別の発生量
<卸・小売業>

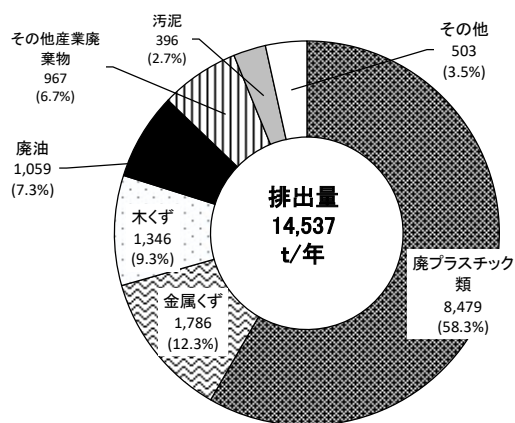
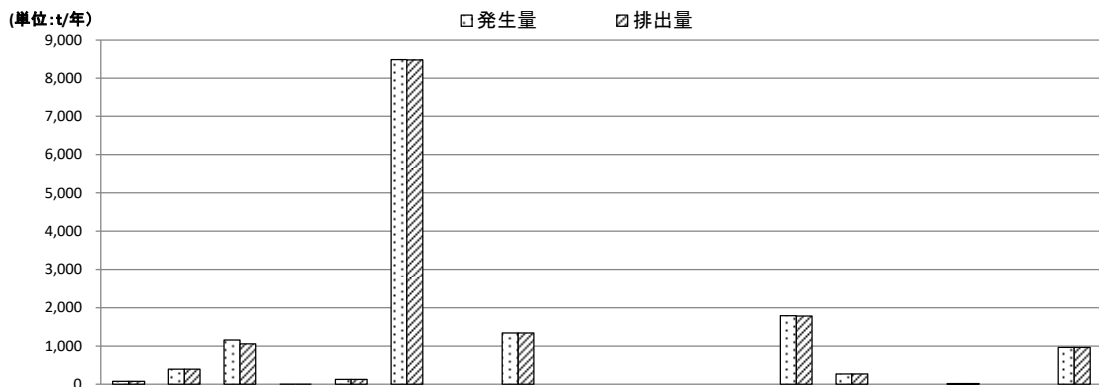


図2-5-27 種類別の排出量
<卸・小売業>



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭酸アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	14,654	80	396	1,164	6	128	8,490		1,346					1,788	267		22		967
	(100%)	(1%)	(3%)	(8%)	(0%)	(1%)	(58%)		(9%)					(12%)	(2%)		(0%)		(7%)
排出量	14,537	80	396	1,059	6	128	8,479		1,346					1,786	267		22		967
	(100%)	(1%)	(3%)	(7%)	(0%)	(1%)	(58%)		(9%)					(12%)	(2%)		(0%)		(7%)

図2-5-28 種類別の発生量・排出量 <卸・小売業>

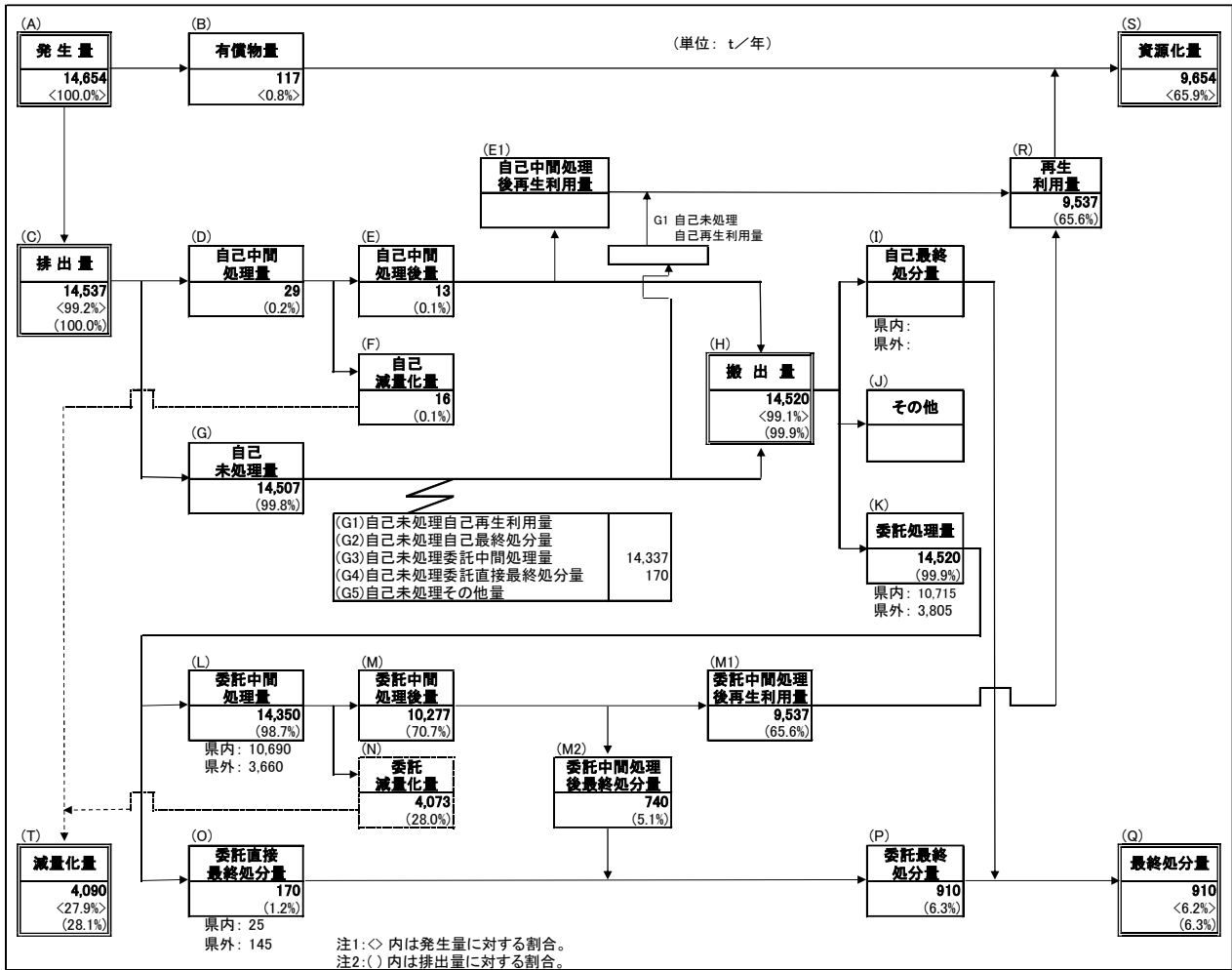


図 2 - 5 - 2 9 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<卸・小売業>

8. 医療・福祉

医療・福祉からの発生量及び排出量は9,068トンである。

発生量・排出量(9,068トン)を種類別にみると、図2-5-30、31に示すようにその他産業廃棄物が5,053トン(発生量・排出量の55.7%)で最も多く、次いで、廃プラスチック類が2,197トン(同24.2%)、廃油が1,072トン(同11.8%)となっており、これら3種類で発生量・排出量の91.7%を占めている。

なお、その他産業廃棄物とは、主に病院等から発生する感染性産業廃棄物となっている。

医療・福祉から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-33に示すとおりである。

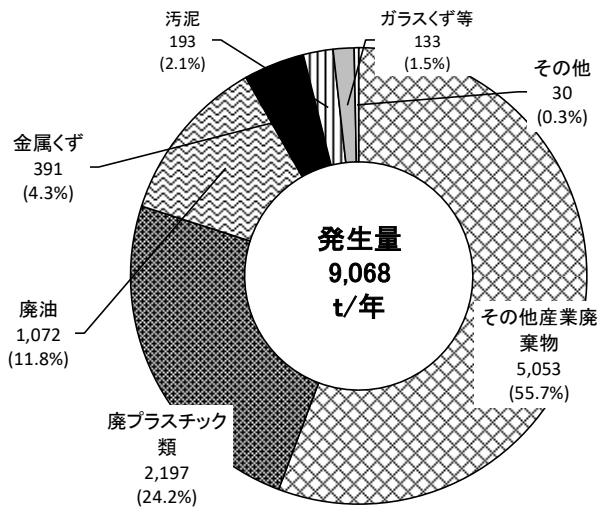


図2-5-30 種類別の発生量
<医療・福祉>

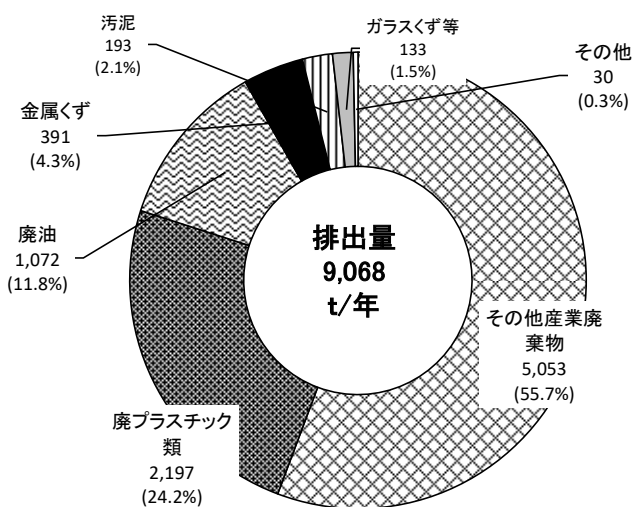


図2-5-31 種類別の排出量
<医療・福祉>

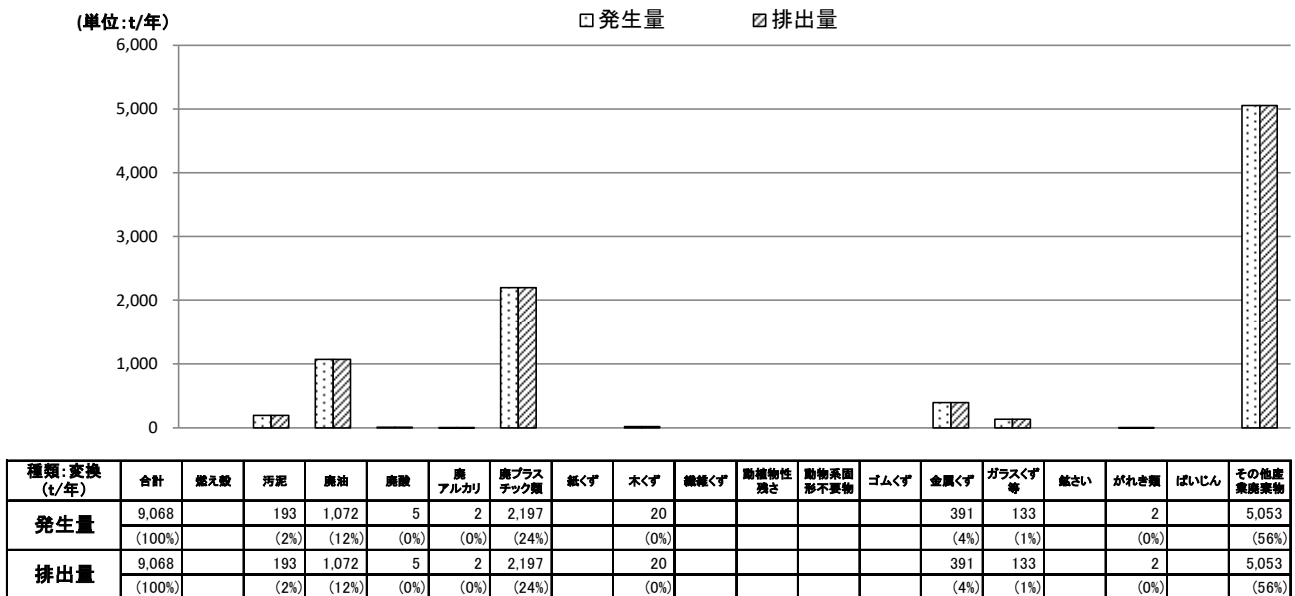


図2-5-32 種類別の発生量・排出量 <医療・福祉>

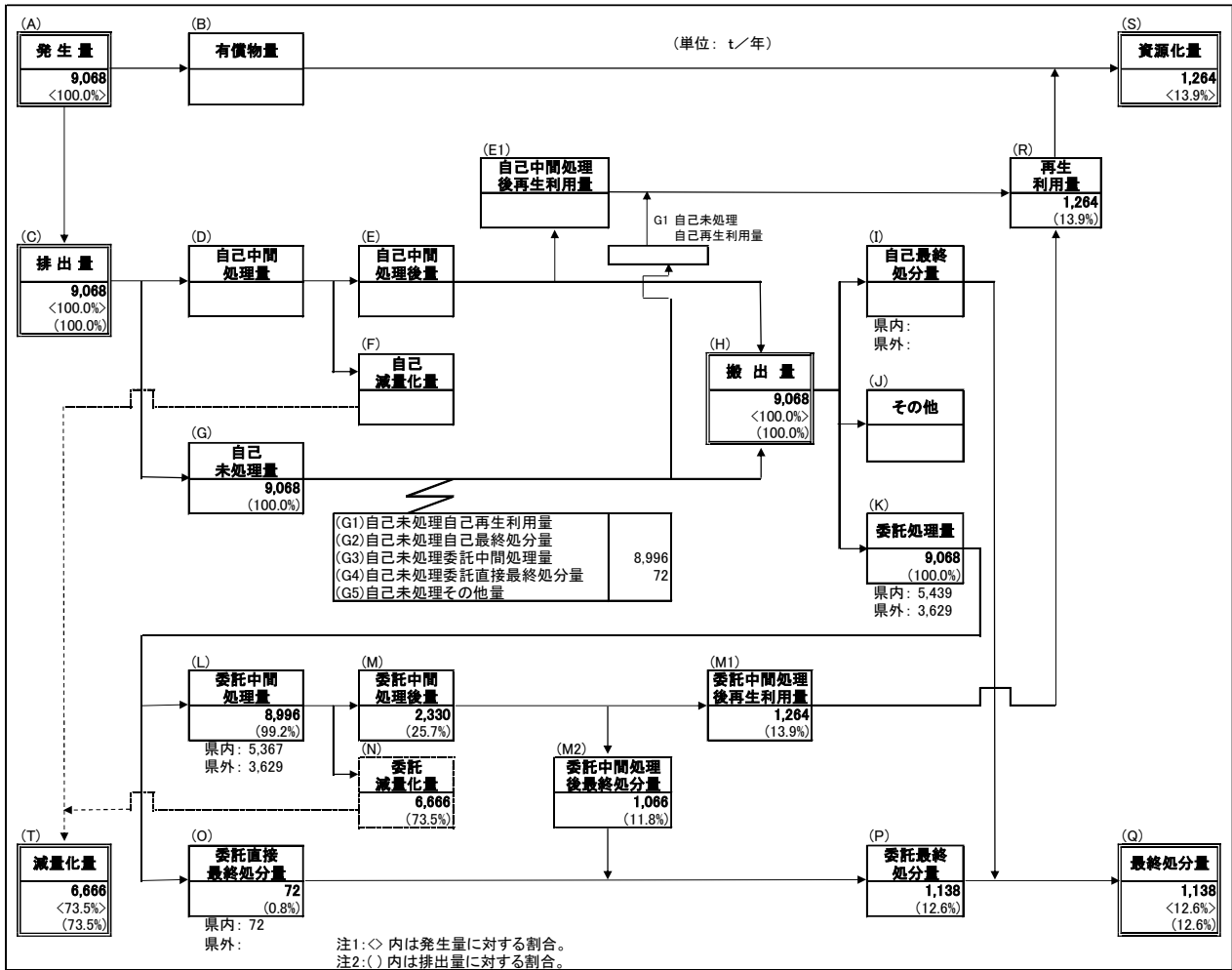


図 2 - 5 - 3 3 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<医療・福祉>

9. サービス業

サービス業からの発生量は2,590トン、排出量は2,551トンである。

発生量(2,590トン)を種類別にみると、図2-5-34に示すように廃プラスチック類が862トン(発生量の33.3%)で最も多く、次いで、金属くずが584トン(同22.5%)、その他産業廃棄物が374トン(同14.4%)、木くずが209トン(同8.1%)となっており、これら4種類で発生量の78.3%を占めている。

また、排出量(2,551トン)を種類別にみると、図2-5-35に示すように廃プラスチック類が862トン(排出量の33.8%)で最も多く、次いで、金属くずが545トン(同21.3%)、その他産業廃棄物が374トン(同14.7%)、木くずが209トン(同8.2%)となっており、これら4種類で排出量の78.0%を占めている。

サービス業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-37に示すとおりである。

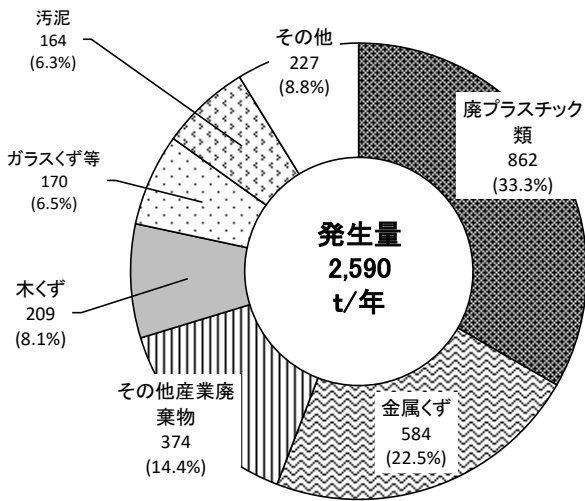


図2-5-34 種類別の発生量
＜サービス業＞

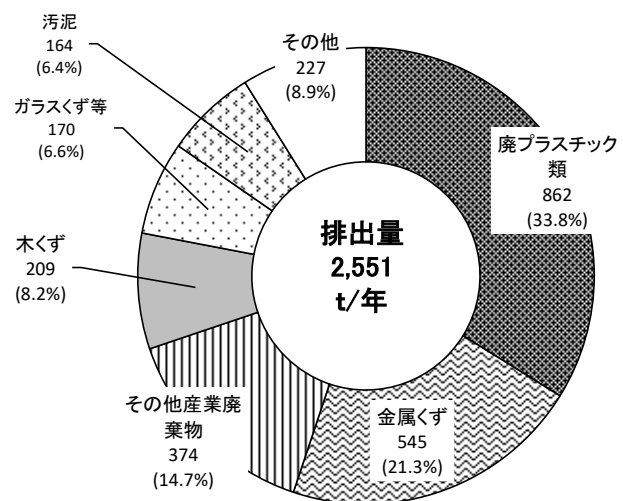
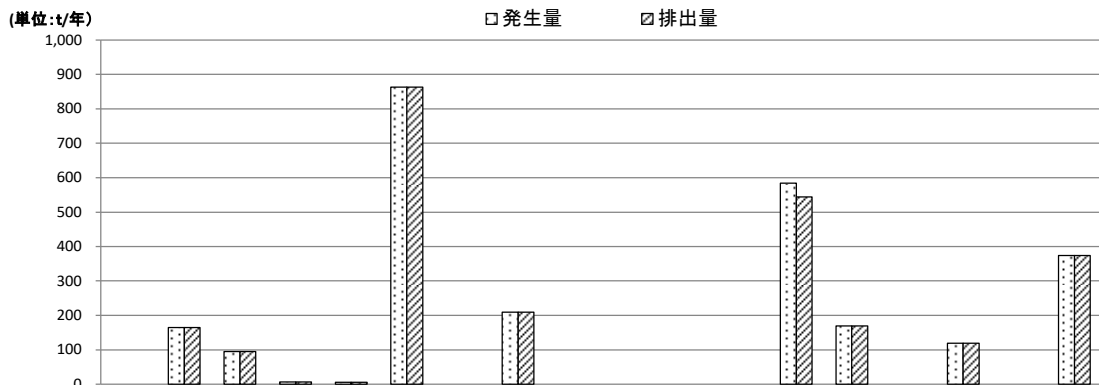


図2-5-35 種類別の排出量
＜サービス業＞



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	2,590		164	95	7	6	862		209					584	170				374
	(100%)		(6%)	(4%)	(0%)	(0%)	(33%)		(8%)					(23%)	(7%)		(5%)		(14%)
排出量	2,551		164	95	7	6	862		209					545	170		119		374
	(100%)		(6%)	(4%)	(0%)	(0%)	(34%)		(8%)					(21%)	(7%)		(5%)		(15%)

図2-5-36 種類別の発生量・排出量＜サービス業＞

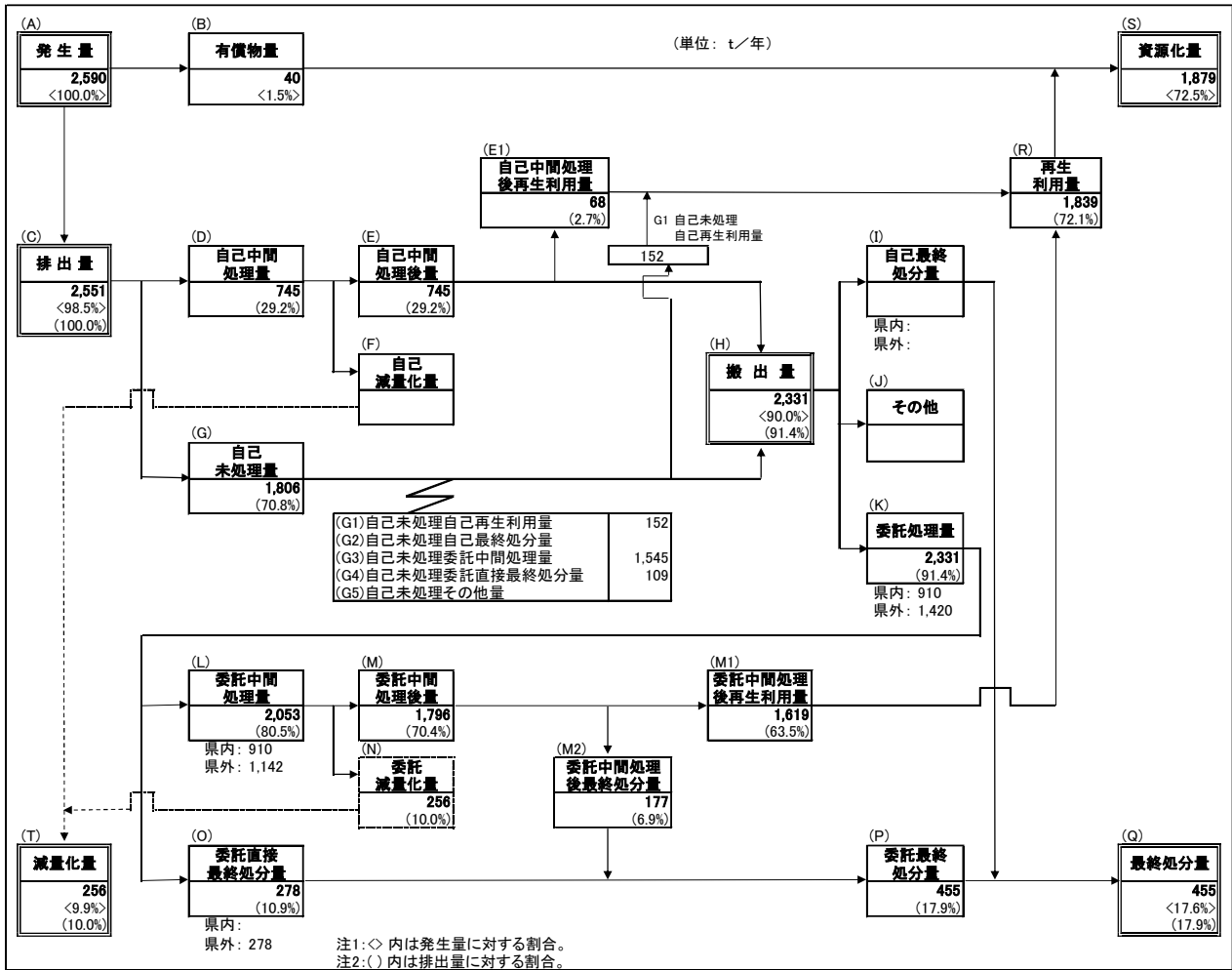


図 2 - 5 - 3 7 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<サービス業>

10. その他の業種

その他の業種からの発生量は17,104トン、排出量は16,783トンである。

発生量(17,104トン)を種類別にみると、図2-5-38に示すように木くずが6,922トン(発生量の40.5%)で最も多く、次いで、廃プラスチック類が2,732トン(同16.0%)、その他産業廃棄物が2,703トン(同15.8%)、金属くずが1,586トン(同9.3%)となっており、これら4種類で発生量の81.6%を占めている。

また、排出量(16,783トン)を種類別にみると、図2-5-39に示すように木くずが6,922トン(排出量の41.2%)で最も多く、次いで、廃プラスチック類が2,709トン(同16.1%)、その他産業廃棄物が2,702トン(同16.1%)、金属くずが1,574トン(同9.4%)となっており、これら4種類で発生量の82.8%を占めている。

なお、その他の業種とは、運輸業、金融・保険業、物品賃貸業、学術研究・専門業、宿泊業・飲食業、生活関連業、教育・学習業、複合サービス業、公務である。

その他の業種から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-41に示すとおりである。

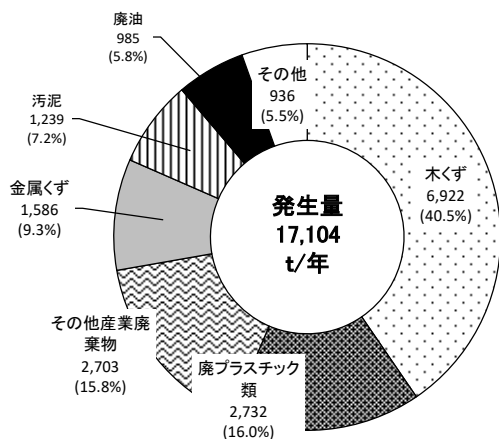


図2-5-38 種類別の発生量 <その他の業種>

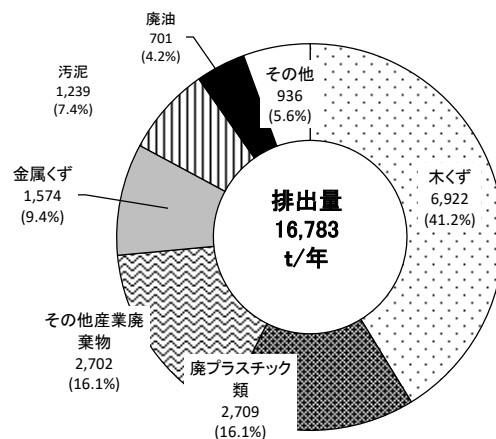
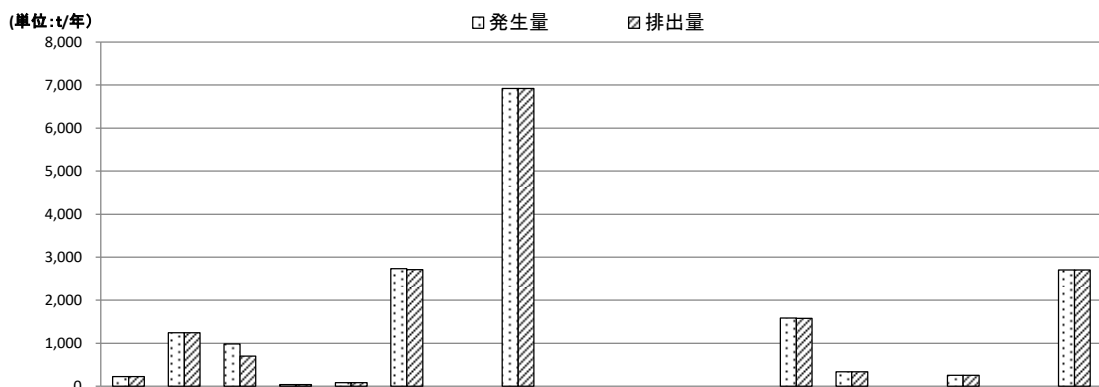


図2-5-39 種類別の排出量 <その他の業種>



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
発生量	17,104	230	1,239	985	39	82	2,732	0	6,922					1,586	333				2,703
	(100%)	(1%)	(7%)	(6%)	(0%)	(0%)	(16%)	(0%)	(40%)					(9%)	(2%)		(1%)		(16%)
排出量	16,783	230	1,239	701	39	82	2,709	0	6,922					1,574	333		252		2,702
	(100%)	(1%)	(7%)	(4%)	(0%)	(0%)	(16%)	(0%)	(41%)					(9%)	(2%)		(2%)		(16%)

図2-5-40 種類別の発生量・排出量 <その他の業種>

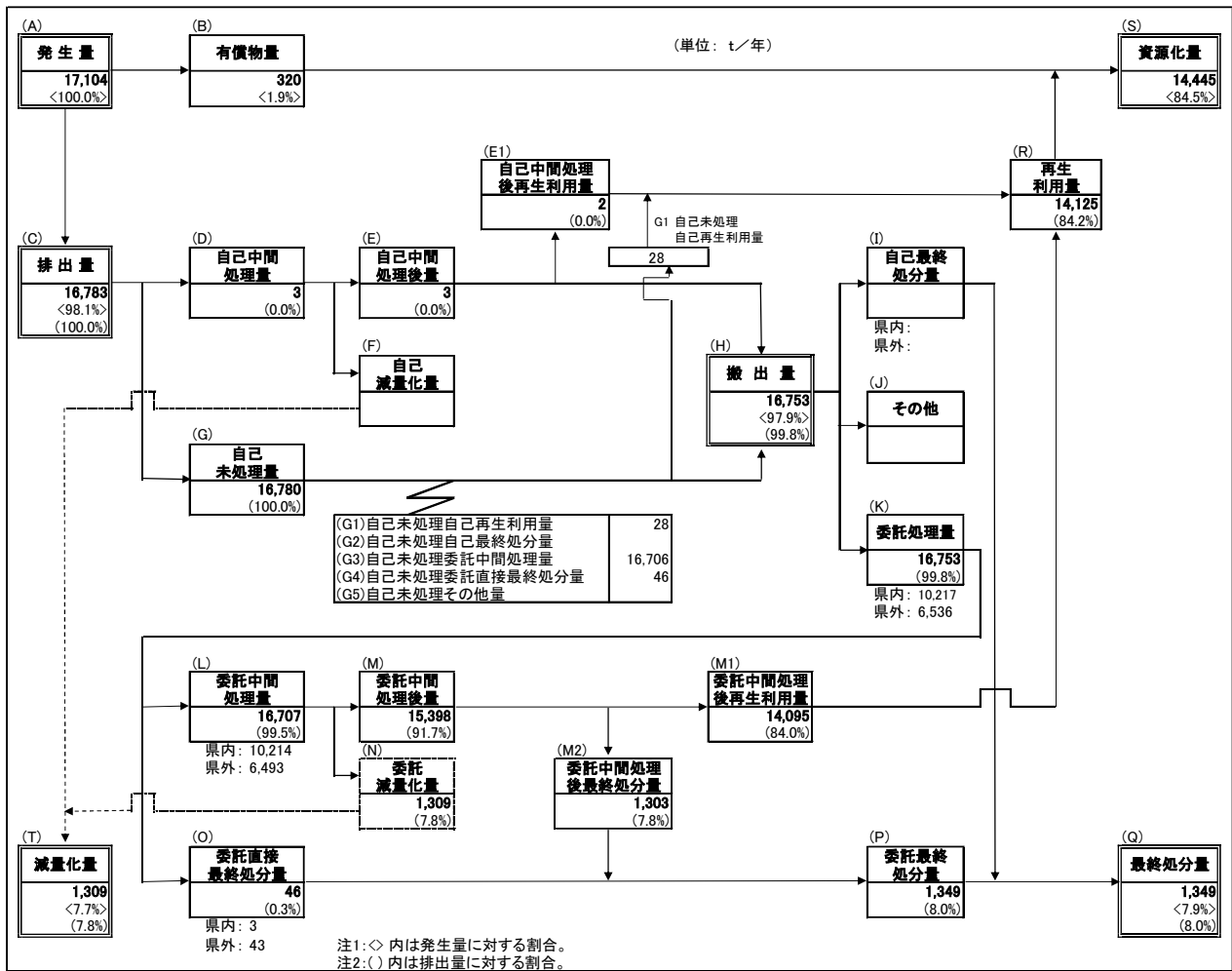


図 2 - 5 - 4 1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<その他の業種>

第3章 産業廃棄物の推移

第1節 前回調査との比較（第1次産業を除く）

1. 種類別の発生・排出状況の比較

種類別発生量を前回調査(平成30年度)と比較すると、図3-1-1～3に示すように、令和元年度の発生量(552千トン)は、がれき類の11千トン増加などがあり、全体としては8千トンの増加となっている。

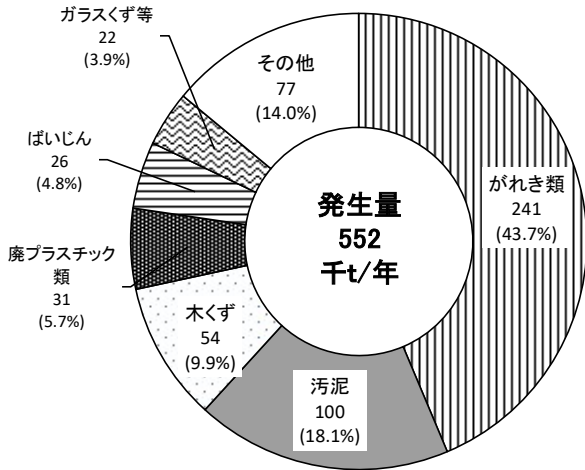


図3-1-1 種類別の発生量 <令和元年度>

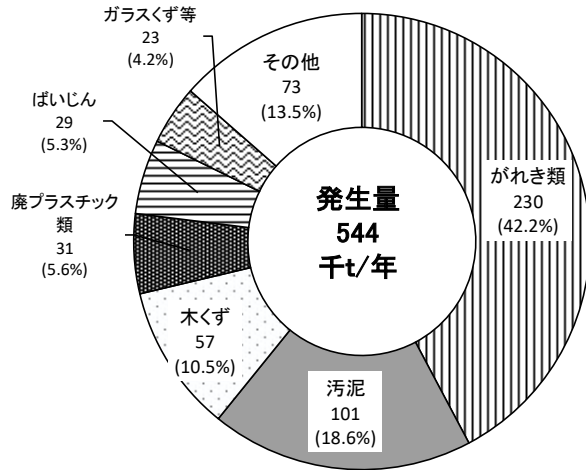
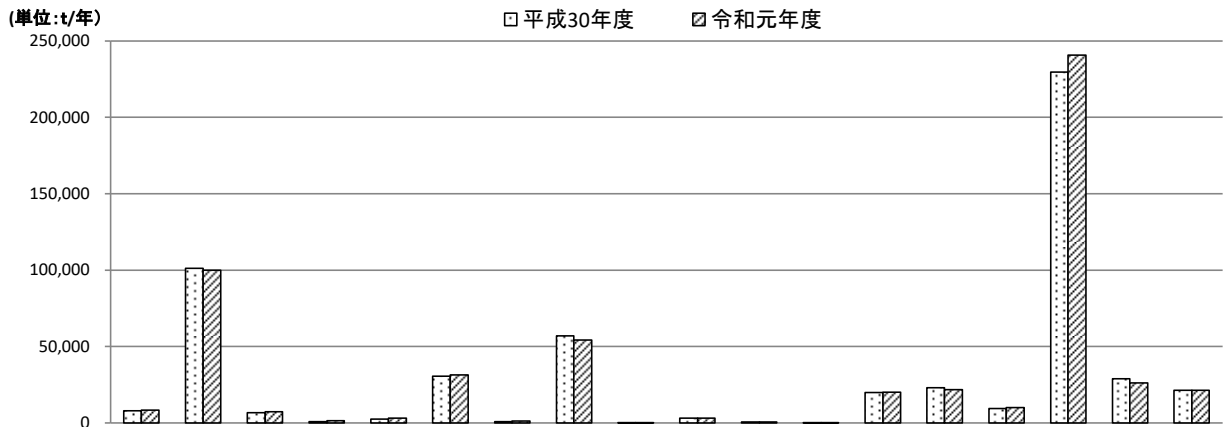


図3-1-2 種類別の発生量 <平成30年度>



種類: 変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉄さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
平成30年度	543,589	7,873	101,119	6,704	990	2,543	30,623	987	57,033	181	3,212	554	35	19,798	22,974	9,328	229,557	28,845	21,231
	(100%)	(1%)	(19%)	(1%)	(0%)	(0%)	(6%)	(0%)	(10%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(4%)	(4%)	(2%)	(42%)	(5%)	(4%)
令和元年度	551,694	8,469	100,047	7,222	1,349	3,124	31,444	1,167	54,345	223	3,215	540	41	20,241	21,689	10,160	240,819	26,237	21,359
	(100%)	(2%)	(18%)	(1%)	(0%)	(1%)	(6%)	(0%)	(10%)	(0%)	(1%)	(0%)	(0%)	(4%)	(4%)	(2%)	(44%)	(5%)	(4%)
増減量	8,105	596	-1,072	518	359	582	821	180	-2,688	42	4	-14	6	443	-1,285	832	11,262	-2,608	128
増減率(%)	1.5	7.6	-1.1	7.7	36.2	22.9	2.7	18.3	-4.7	23.2	0.1	-2.5	18.5	2.2	-5.6	8.9	4.9	-9.0	0.6

図3-1-3 種類別発生量の比較

種類別排出量を前回調査(平成30年度)と比較すると、図3-1-4～6に示すように、令和元年度の排出量(540千トン)は、がれき類の11千トン増加などがあり、全体としては8千トンの増加となっている。

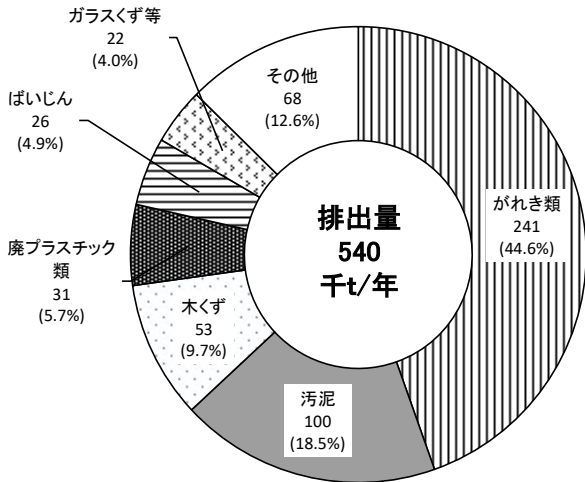


図3-1-4 種類別の排出量
＜令和元年度＞

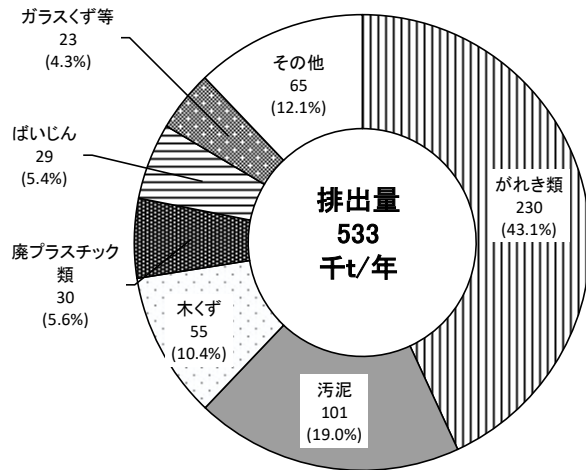
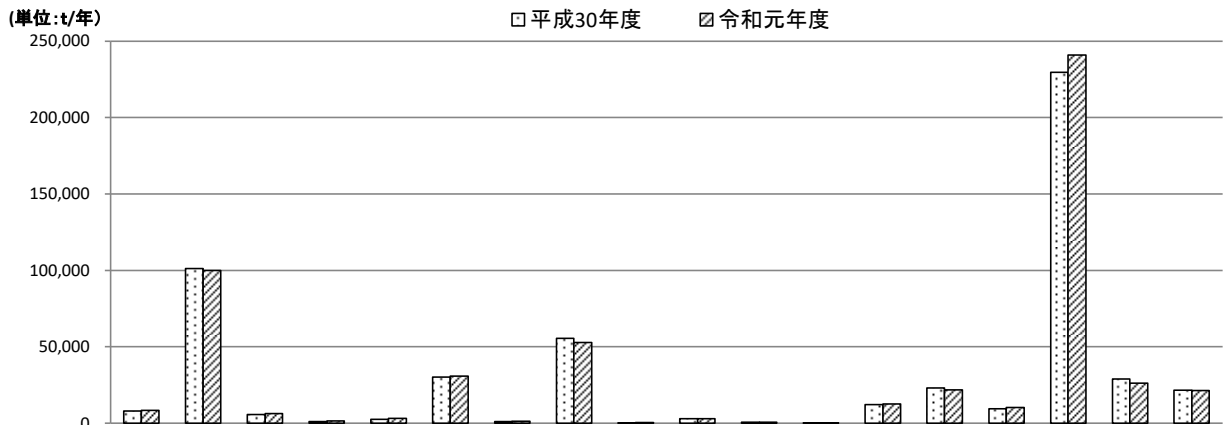


図3-1-5 種類別の排出量
＜平成30年度＞



種類:変換 (t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他産業廃棄物
平成30年度	532,646 (100%)	7,873 (1%)	101,119 (19%)	5,525 (1%)	990 (0%)	2,543 (0%)	30,066 (6%)	987 (0%)	55,418 (10%)	181 (0%)	2,961 (1%)	554 (0%)	35 (0%)	12,094 (2%)	22,985 (4%)	9,328 (2%)	229,592 (43%)	28,845 (5%)	21,549 (4%)
令和元年度	540,468 (100%)	8,469 (2%)	100,047 (19%)	6,119 (1%)	1,349 (0%)	3,124 (1%)	30,876 (6%)	1,167 (0%)	52,687 (10%)	223 (0%)	2,937 (1%)	540 (0%)	41 (0%)	12,573 (2%)	21,689 (4%)	10,160 (2%)	240,873 (45%)	26,237 (5%)	21,353 (4%)
増減量	7,821	596	-1,072	594	359	582	811	180	-2,731	42	-23	-14	6	480	-1,296	832	11,281	-2,608	-197
増減率(%)	1.5	7.6	-1.1	10.8	36.2	22.9	2.7	18.3	-4.9	23.2	-0.8	-2.5	18.5	4.0	-5.6	8.9	4.9	-9.0	-0.9

図3-1-6 種類別排出量の比較

2. 業種別の発生・排出状況の比較

業種別発生量を前回調査(平成30年度)と比較すると、図3-1-7～9に示すように、令和元年度の発生量(552千トン)は、建設業の17千トン増加、その他の6千トン減少などがあり、全体としては8千トンの増加となっている。

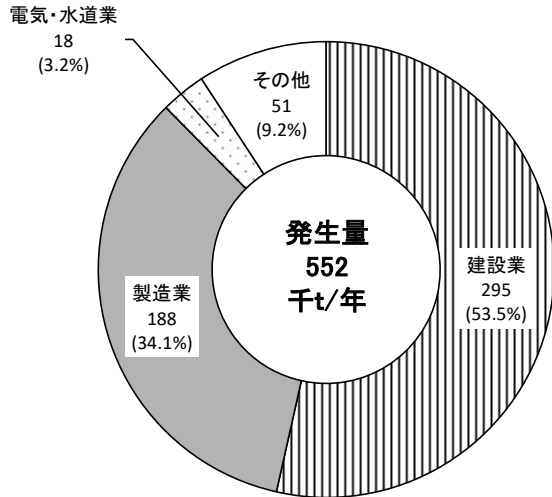


図3-1-7 業種別の発生量
＜令和元年度＞

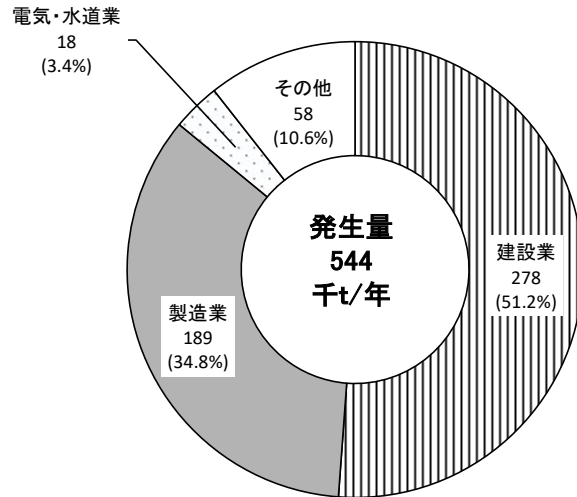
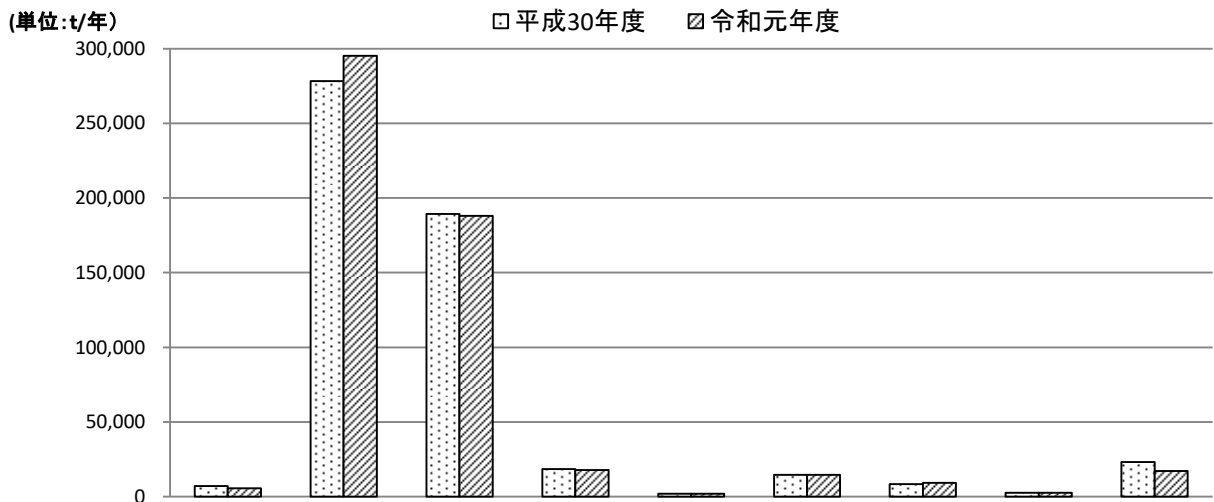


図3-1-8 業種別の発生量
＜平成30年度＞



業種 (t/年)	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
平成30年度	543,589	7,111	278,166	189,282	18,414	1,875	14,747	8,389	2,620	22,985
	(100%)	(1%)	(51%)	(35%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(4%)
令和元年度	551,694	5,515	295,211	187,972	17,703	1,876	14,654	9,068	2,590	17,104
	(100%)	(1%)	(54%)	(34%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(3%)
増減量	8,105	-1,596	17,045	-1,310	-711	1	-93	679	-30	-5,881
増減率(%)	1.5	-22.4	6.1	-0.7	-3.9	0.1	-0.6	8.1	-1.1	-25.6

図3-1-9 業種別発生量の比較

業種別排出量を前回調査(平成 30 年度)と比較すると、図 3-1-10~12 に示すように、令和元年度の排出量(540 千トン)は、建設業の 17 千トン増加、その他の 6 千トン減少などがあり、全体としては 8 千トンの増加となっている。

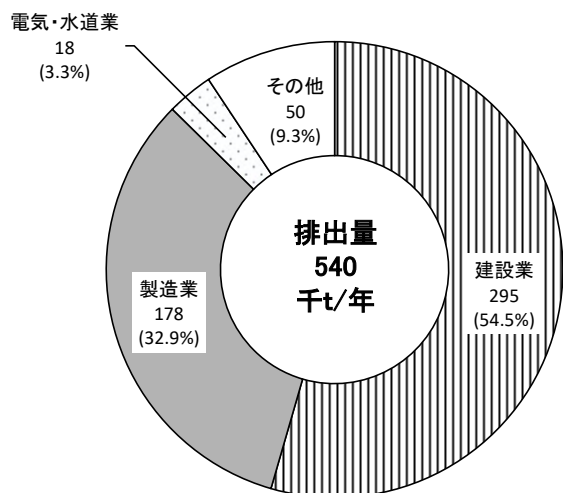


図 3-1-10 業種別の排出量
＜令和元年度＞

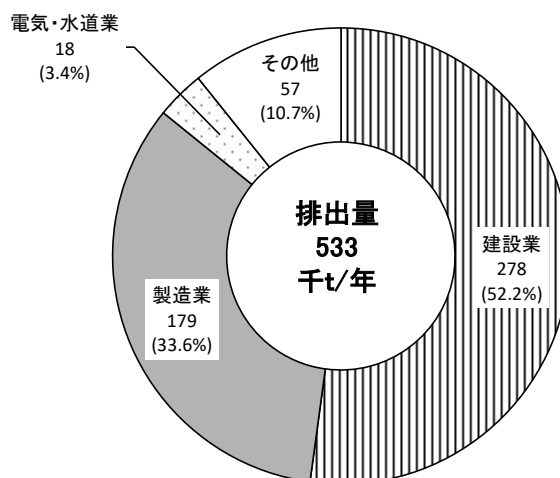
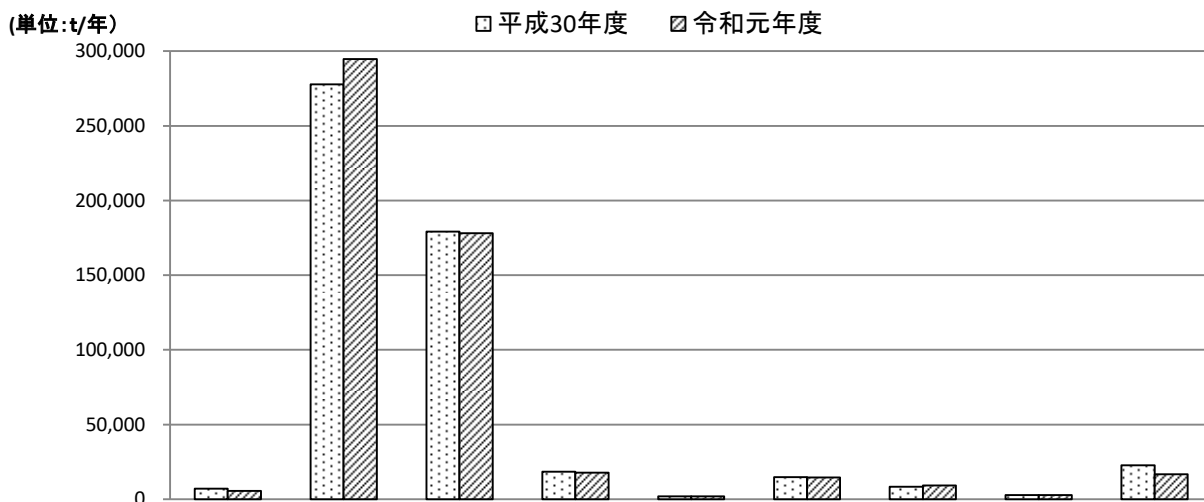


図 3-1-11 業種別の排出量
＜平成 30 年度＞



業種 (t/年)	合計	卸業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
平成30年度	532,646	7,111	277,875	179,171	18,359	1,875	14,628	8,389	2,581	22,657
	(100%)	(1%)	(52%)	(34%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(4%)
令和元年度	540,468	5,515	294,566	177,924	17,648	1,876	14,537	9,068	2,551	16,783
	(100%)	(1%)	(55%)	(33%)	(3%)	(0%)	(3%)	(2%)	(0%)	(3%)
増減量	7,821	-1,596	16,691	-1,248	-711	1	-92	679	-30	-5,873
増減率(%)	1.5	-22.4	6.0	-0.7	-3.9	0.1	-0.6	8.1	-1.2	-25.9

図 3-1-12 業種別排出量の比較

3. 地域別の発生・排出状況の比較

地域別発生量を前回調査(平成 30 年度)と比較すると、図 3-1-13~15 に示すように、令和元年度の発生量(552 千トン)は、東部地域が 15 千トン増加、中部地域が 7 千トン減少したことで、全体としては 8 千トンの増加となっている。

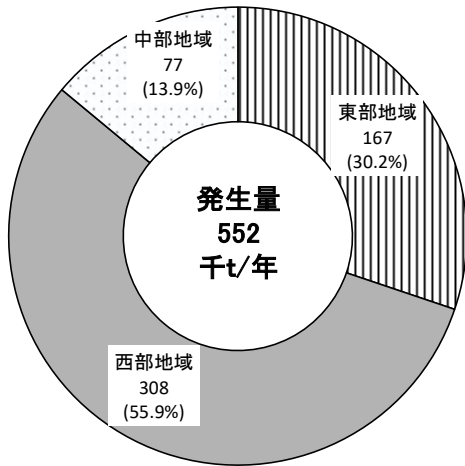


図 3-1-13 地域別の発生量
<令和元年度>

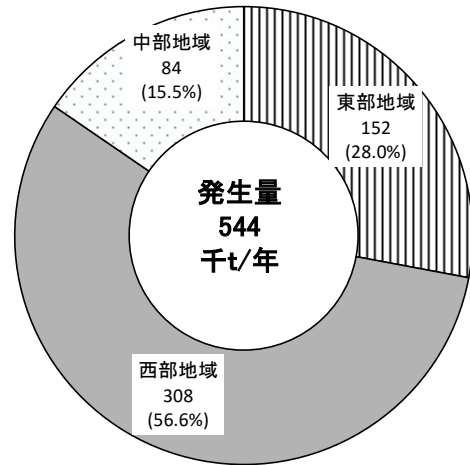
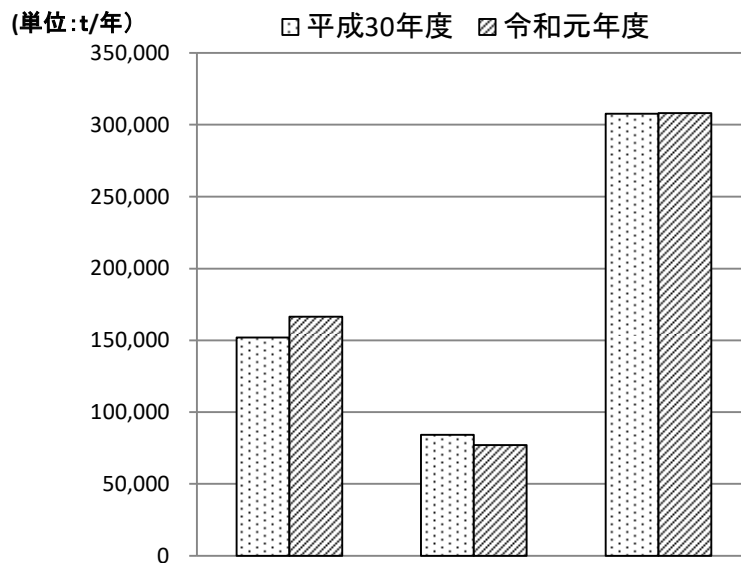


図 3-1-14 地域別の発生量
<平成30年度>



地域 (t/年)	合計	東部地域	中部地域	西部地域
平成30年度	543,589 (100%)	151,936 (28%)	84,103 (15%)	307,550 (57%)
令和元年度	551,694 (100%)	166,572 (30%)	76,922 (14%)	308,200 (56%)
増減量	8,105	14,636	-7,181	650
増減率(%)	1.5	9.6	-8.5	0.2

図 3-1-15 地域別発生量の比較

地域別排出量を前回調査(平成 30 年度)と比較すると、図 3-1-16~18 に示すように、令和元年度の排出量(540 千トン)は、東部地域が 15 千トン増加、中部地域が 7 千トン減少したことで、全体としては 8 千トンの増加となっている。

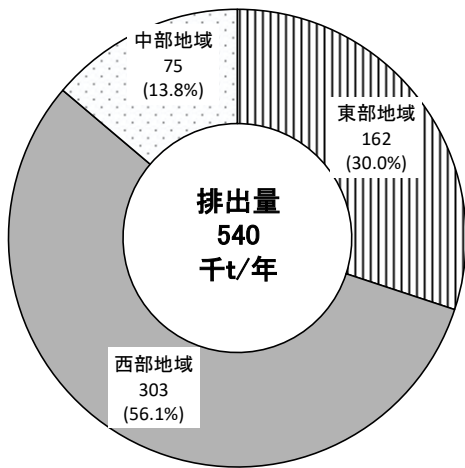


図 3-1-16 地域別の排出量
<令和元年度>

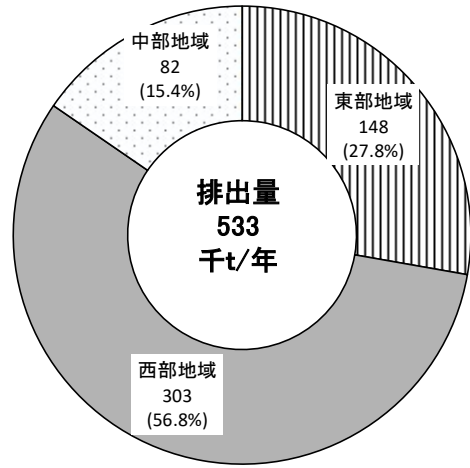
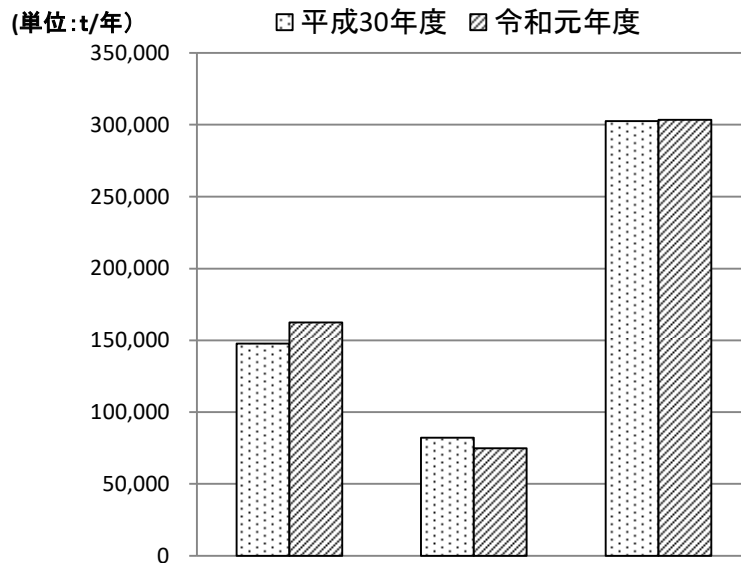


図 3-1-17 地域別の排出量
<平成30年度>



地域 (t/年)	合計	東部地域	中部地域	西部地域
平成30年度	532,646 (100%)	147,881 (28%)	82,183 (15%)	302,583 (57%)
令和元年度	540,468 (100%)	162,392 (30%)	74,688 (14%)	303,387 (56%)
増減量	7,821	14,511	-7,495	805
増減率(%)	1.5	9.8	-9.1	0.3

図 3-1-18 地域別排出量の比較

4. 処理・処分状況の比較

令和元年度の処理・処分状況を前回調査(平成 30 年度実績)と比較すると、表 3-1-1、図 3-1-19 に示すように、令和元年度の排出量は 1.5%、再生利用量は 4.2%、最終処分量は 9.0% 増加し、減量化量は 10.0% 減少している。

これを排出量に対する割合で見ると、再生利用率は 74.4% から 76.5% へ 2.1 ポイント増加している。

表 3-1-1 処理・処分状況の比較

項目 (t/年)	平成30年度	令和元年度	増減量	増減率
発生量	543,589 (100.0%)	551,694 (100.0%)	8,105	1.5%
有償物量	11,313 (2.1%)	11,280 (2.0%)	-33	-0.3%
排出量	532,646 (98.0%)	540,468 (98.0%)	7,821	1.5%
排出量	532,646 (100.0%)	540,468 (100.0%)	7,821	1.5%
再生利用量	396,458 (74.4%)	413,237 (76.5%)	16,779	4.2%
減量化量	111,633 (21.0%)	100,472 (18.6%)	-11,161	-10.0%
最終処分量	24,514 (4.6%)	26,729 (4.9%)	2,215	9.0%
その他量	41 (0.0%)	29 (0.0%)	-12	-28.7%

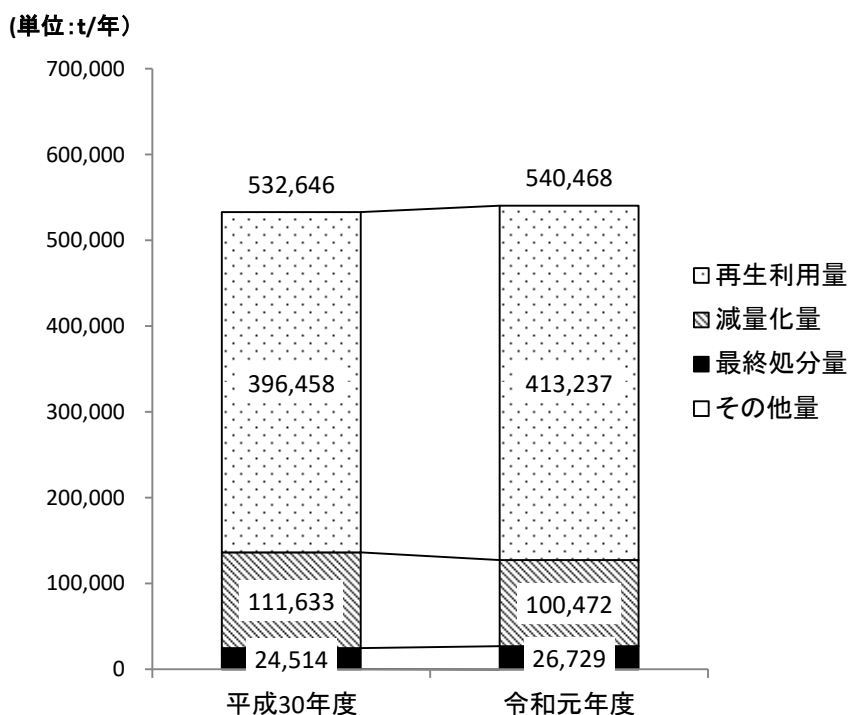


図 3-1-19 処理・処分状況の比較

第2節 排出及び処理・処分状況の将来予測（第1次産業を除く）

1. 将来予測の方法

産業廃棄物量の将来予測に当たっては、今後とも「大きな技術革新及び法律上の産業廃棄物の分類に変更がなく、現時点における産業廃棄物の排出状況等と業種ごとの活動量指標との関係は変わらない」とものと仮定して、調査した業種別の母集団（調査対象全体）における将来の活動量指標を用いたC式によって予測することを原則とした。

将来の活動量指標（O''）の予測は、鳥取県経済成長創造戦略（平成30年3月）に基づき、潜在成長率として各業種とも0.7%/年での成長とし、戦略的推進分野の業種については更に+0.3%/年の成長を見越して将来予測を行った。

戦略的推進分野については表3-2-1に、各業種の指標値は表3-2-2に示すとおりである。

	W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物量 O'' : 将来年度の母集団の活動量指標 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標
C式	$W'' = \frac{O''}{O'} \times W'$: 将来年度の予測産業廃棄物量

表3-2-1 戦略的推進分野

戦略分野	内容	対象業種
環境・エネルギー (エコカー・太陽光・リサイクル)	環境・エネルギー(エコカー製造)	輸送機器
	環境・エネルギー(太陽光発電関連産業)	電気機器
	リサイクルビジネス	廃棄物処理業(注.対象外)
バイオ・食品関連産業	食品	食料品
	製薬	化学
次世代デバイス (電機・電子関連産業)	電気・電子	電気機器、電子部品
健康・福祉サービス	美容・健康関連食品(製造業)	その他
	人材派遣	サービス業
まちなかビジネス	小売業	卸売、小売業
観光ビジネス	飲食業	飲食業
コミュニティビジネス	サービス業	サービス業
次世代サービス	データセンター	サービス業
	コンテンツ産業	情報通信業

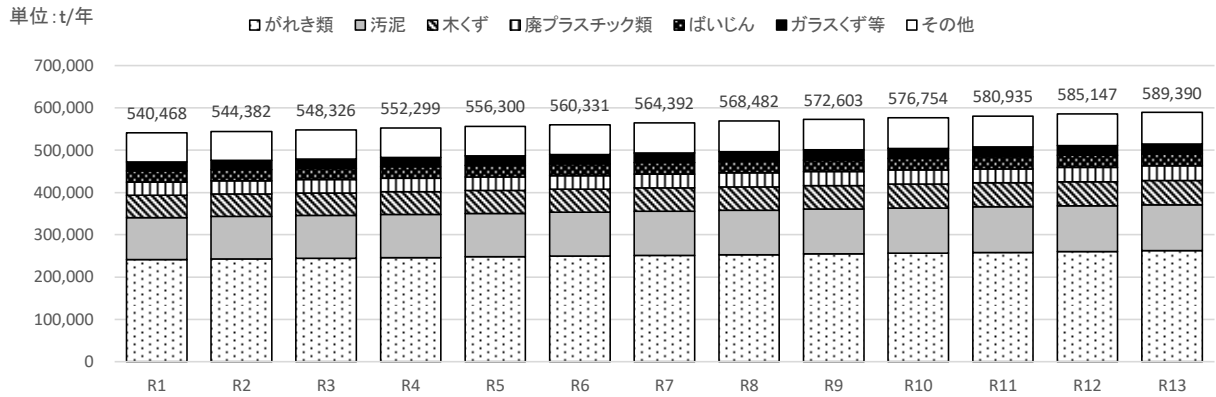
表 3 - 2 - 2 活動量指標値の出典

業種	活動量指標値	指標値の出典
鉱業	従業者数	経済センサス基礎調査
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査報告
電気・水道業		
電気・ガス	電力消費量	エネルギー消費統計
上水道業	給水人口	鳥取県の水道の現況
下水道業	下水道処理人口	一般廃棄物処理実態調査
情報通信業	従業者数	経済センサス基礎調査
運輸業	従業者数	経済センサス基礎調査
卸・小売業	従業者数	経済センサス基礎調査
金融・保険業	従業者数	経済センサス基礎調査
物品賃貸業	従業者数	経済センサス基礎調査
学術研究・専門業	従業者数	経済センサス基礎調査
宿泊業・飲食業	従業者数	経済センサス基礎調査
生活関連業	従業者数	経済センサス基礎調査
教育・学習業	従業者数	経済センサス基礎調査
医療・福祉		
病院	病床数	医療施設調査病院報告
病院以外	従業者数	経済センサス基礎調査
複合サービス業	従業者数	経済センサス基礎調査
サービス業	従業者数	経済センサス基礎調査
公務	従業者数	経済センサス基礎調査

2. 排出量の将来予測

種類別、業種別の将来予測結果は、図3-2-1、2に示すとおりである。

各業種とも年1%近い成長率で推移するため、県全体としても増加傾向で推移し、令和13年度の排出量は、令和元年度(540千トン)よりも約49千トン増加の589千トンになると予測される。



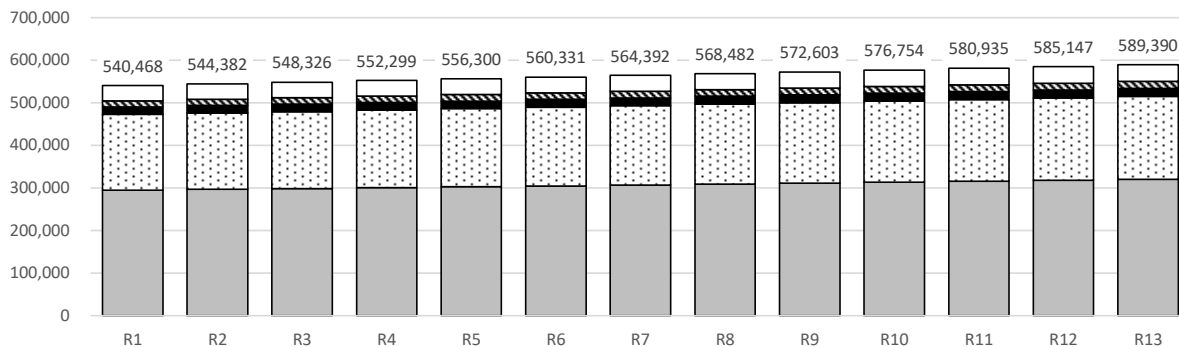
(単位:t/年)

業種	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
合計		540,468	544,382	548,326	552,299	556,300	560,331	564,392	568,482	572,603	576,754	580,935	585,147	589,390
がれき類		240,873	242,567	244,272	245,990	247,720	249,462	251,216	252,983	254,762	256,554	258,358	260,175	262,004
汚泥		100,047	100,769	101,495	102,227	102,964	103,706	104,454	105,207	105,966	106,730	107,500	108,275	109,056
木くず		52,687	53,074	53,464	53,857	54,253	54,652	55,054	55,459	55,867	56,278	56,692	57,109	57,529
廃プラスチック類		30,876	31,131	31,389	31,648	31,910	32,174	32,440	32,708	32,979	33,252	33,527	33,805	34,085
ばいじん		26,237	26,421	26,606	26,792	26,980	27,168	27,359	27,550	27,743	27,937	28,133	28,330	28,528
ガラスくず等		21,689	21,845	22,001	22,159	22,318	22,477	22,639	22,801	22,964	23,129	23,295	23,462	23,630
その他		68,057	68,576	69,099	69,626	70,157	70,692	71,231	71,775	72,323	72,875	73,431	73,992	74,557
その他産業廃棄物		21,353	21,512	21,673	21,836	21,999	22,164	22,330	22,497	22,665	22,835	23,006	23,179	23,353
金属くず		12,573	12,675	12,778	12,881	12,986	13,091	13,197	13,304	13,412	13,521	13,630	13,741	13,852
鉱さい		10,160	10,231	10,303	10,375	10,448	10,521	10,594	10,668	10,743	10,818	10,894	10,970	11,047
燃えがら		8,469	8,529	8,589	8,649	8,710	8,772	8,833	8,896	8,958	9,022	9,085	9,149	9,214
廃油		6,119	6,169	6,219	6,270	6,321	6,373	6,425	6,477	6,530	6,583	6,637	6,691	6,746
廃アルカリ		3,124	3,148	3,171	3,194	3,218	3,242	3,266	3,290	3,314	3,339	3,363	3,388	3,413
動植物性残さ		2,937	2,966	2,995	3,024	3,053	3,082	3,112	3,142	3,173	3,204	3,235	3,266	3,298
廃酸		1,349	1,358	1,368	1,378	1,388	1,397	1,407	1,417	1,427	1,438	1,448	1,458	1,468
紙くず		1,167	1,176	1,184	1,192	1,201	1,209	1,217	1,226	1,234	1,243	1,252	1,261	1,269
動物系固形不要物		540	546	551	557	562	568	574	579	585	591	597	603	609
繊維くず		223	225	226	228	230	231	233	234	236	238	239	241	243
ゴムくず		41	42	42	42	43	43	43	43	44	44	44	45	45

図3-2-1 種類別排出量の将来予測の結果

単位:t/年

■建設業 □製造業 ■電気・水道業 ■卸・小売業 □その他



(単位:t/年)

業種	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
建設業		294,566	296,628	298,704	300,795	302,900	305,021	307,156	309,306	311,471	313,651	315,847	318,058	320,284
製造業		177,924	179,241	180,569	181,906	183,254	184,612	185,980	187,358	188,747	190,146	191,556	192,977	194,408
電気・水道業		17,648	17,772	17,896	18,022	18,148	18,275	18,403	18,532	18,661	18,792	18,923	19,056	19,189
卸・小売業		14,537	14,682	14,829	14,977	15,127	15,278	15,431	15,585	15,741	15,898	16,057	16,218	16,380
その他		35,793	36,060	36,328	36,599	36,871	37,146	37,423	37,702	37,983	38,266	38,551	38,839	39,128
運輸業		9,237	9,302	9,367	9,432	9,498	9,565	9,632	9,699	9,767	9,836	9,904	9,974	10,044
医療・福祉		9,068	9,132	9,196	9,260	9,325	9,390	9,456	9,522	9,589	9,656	9,723	9,792	9,860
サービス業		2,551	2,576	2,602	2,628	2,654	2,681	2,707	2,735	2,762	2,789	2,817	2,846	2,874
情報通信業		1,876	1,895	1,914	1,933	1,952	1,972	1,992	2,012	2,032	2,052	2,073	2,093	2,114
生活関連業		2,598	2,616	2,634	2,653	2,671	2,690	2,709	2,728	2,747	2,766	2,786	2,805	2,825
公務		1,277	1,286	1,295	1,304	1,313	1,322	1,331	1,341	1,350	1,360	1,369	1,379	1,388
宿泊業・飲食業		880	889	898	907	916	925	935	944	953	963	972	982	992
教育・学習業		1,089	1,097	1,104	1,112	1,120	1,128	1,136	1,144	1,152	1,160	1,168	1,176	1,184
学術研究・専門業		783	789	794	800	805	811	817	822	828	834	840	846	852
物品賃貸業		501	505	508	512	515	519	523	526	530	534	537	541	545
複合サービス業		289	291	293	295	297	299	301	303	305	308	310	312	314
金融、保険業		129	130	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140
鉱業		5,515	5,554	5,592	5,632	5,671	5,711	5,751	5,791	5,831	5,872	5,913	5,955	5,996

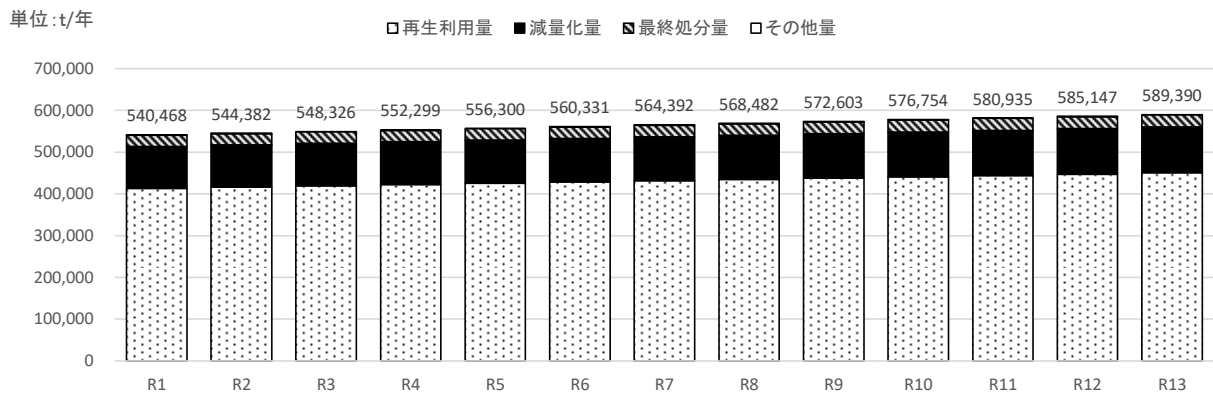
図3-2-2 業種別排出量の将来予測の結果

3. 処理・処分状況の将来予測

将来における処理・処分状況については、産業廃棄物に対する中間処理、再生利用、最終処分等の処理体系が令和元年度実績のまま今後も変わらないものと仮定して推計した。

この推計結果は、図3-2-3に示すとおりである。

令和13年度の処理・処分状況は、排出量の増加に伴い各処理量とも増加し、再生利用量が451千トン、中間処理による減量化量は110千トン、最終処分量は29千トンになると予測される。



(単位:t/年)

業種	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
排出量		540,468	544,382	548,326	552,299	556,300	560,331	564,392	568,482	572,603	576,754	580,935	585,147	589,390
再生利用量		413,237	416,222	419,229	422,257	425,308	428,382	431,477	434,596	437,737	440,901	444,088	447,299	450,533
減量化量		100,472	101,204	101,941	102,684	103,432	104,185	104,945	105,709	106,480	107,256	108,038	108,825	109,619
最終処分量		26,729	26,927	27,127	27,328	27,530	27,734	27,940	28,147	28,356	28,566	28,778	28,991	29,206
その他量		29	29	30	30	30	30	31	31	31	31	31	32	32

図3-2-3 処理・処分状況の将来予測の結果

第4章 その他の調査結果

第1節 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

1. 産業廃棄物の搬出状況

産業廃棄物の排出量 540 千トンのうち、処理・処分を目的として事業場から搬出された産業廃棄物量(以下、搬出量という。)は、422 千トンとなっている。この産業廃棄物の移動状況については、表4-1-1、図4-1-1に示すとおりである。

搬出量 422 千トンのうち、県内で処理・処分された量(自地域と県内他地域への搬出量)は 367 千トン(搬出量の 87.0%)、県外で処理・処分された量は 55 千トン(同 13.0%)となっている。

表4-1-1 産業廃棄物の移動状況（搬出量）

地域名		発生地域				
		合計	東部地域	中部地域	西部地域	
合計	搬出量	422,321 <100.0%>	148,453 <100.0%>	61,959 <100.0%>	211,909 <100.0%>	
	自己最終処分量	1,499	34	1,465	0	
	委託中間処理量	415,275	145,668	59,565	210,042	
	委託直接最終処分量	5,518	2,750	901	1,867	
	その他量	29	1	28	0	
県内	自地域	搬出量	339,838 <80.5%>	119,337 <80.4%>	46,544 <75.1%>	173,957 <82.1%>
		自己最終処分量	1,499	34	1,465	0
		委託中間処理量	336,492	119,298	44,191	173,002
		委託直接最終処分量	1,818	4	860	954
		その他量	29	1	28	0
	他地域	搬出量	27,548 <6.5%>	8,828 <5.9%>	9,567 <15.4%>	9,153 <4.3%>
		自己最終処分量	0	0	0	0
		委託中間処理量	27,532	8,828	9,567	9,138
		委託直接最終処分量	16	0	0	16
		その他量	0	0	0	0
県外	搬出量	54,935 <13.0%>	20,289 <13.7%>	5,848 <9.4%>	28,799 <13.6%>	
	自己最終処分量	0	0	0	0	
	委託中間処理量	51,251	17,542	5,807	27,902	
	委託直接最終処分量	3,684	2,747	40	897	
	その他量	0	0	0	0	

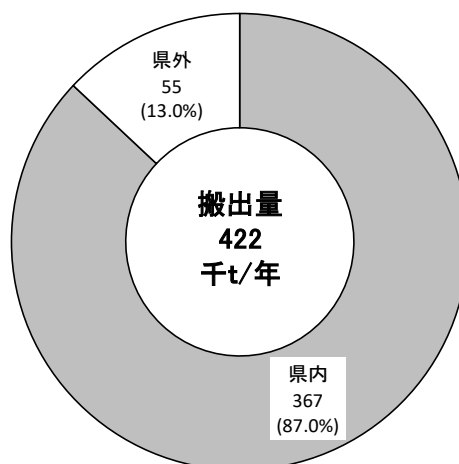


図4-1-1 産業廃棄物の移動状況（搬出量）

2. 最終処分量の県外移動状況

最終処分量の県外移動状況は、表4-1-2、図4-1-2に示すように、最終処分量27千トンのうち、県内で最終処分された量は6千トン（最終処分量の23.0%）、県外で最終処分された量は21千トン（同77.0%）となっている。

表4-1-2 産業廃棄物の移動状況（最終処分量）

単位:t/年

	合計	県内	県外
最終処分量	26,729 (100.0%)	6,151 (23.0%)	20,578 (77.0%)
自己最終処分量	1,499 (100.0%)	1,499 (100.0%)	0 (0.0%)
委託直接最終処分量	5,518 (100.0%)	1,834 (33.2%)	3,684 (66.8%)
委託中間処理後最終処分量	19,713 (100.0%)	2,819 (14.3%)	16,894 (85.7%)

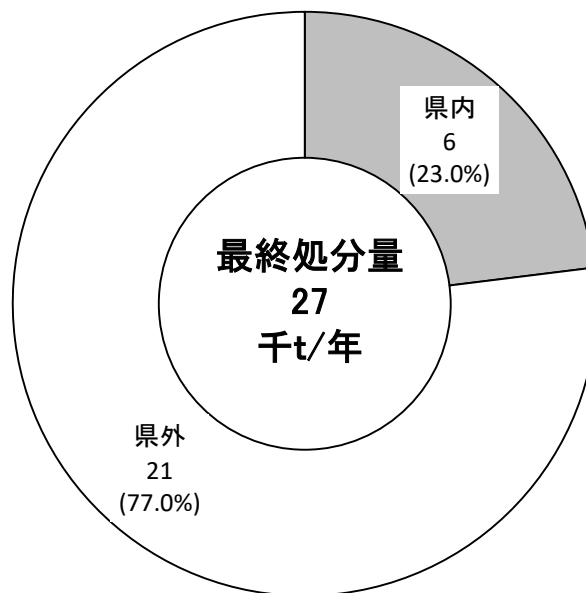


図4-1-2 産業廃棄物の移動状況（最終処分量）

第2節 特別管理産業廃棄物

前節までは、特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物全体の状況をみてきたが、ここでは、特別管理産業廃棄物について、その発生及び処理・処分状況をまとめる。

1. 種類別発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の種類別発生・排出状況は、図4-2-1～3に示すとおりである。

発生量・排出量(5,528トン)を種類別にみると、感染性廃棄物が4,670トン(発生量・排出量の84.5%)で最も多く、次いで、廃アルカリが374トン(同6.8%)、廃石綿等を除く特定有害廃棄物が281トン(同5.1%)、廃油が101トン(同1.8%)等となっている。

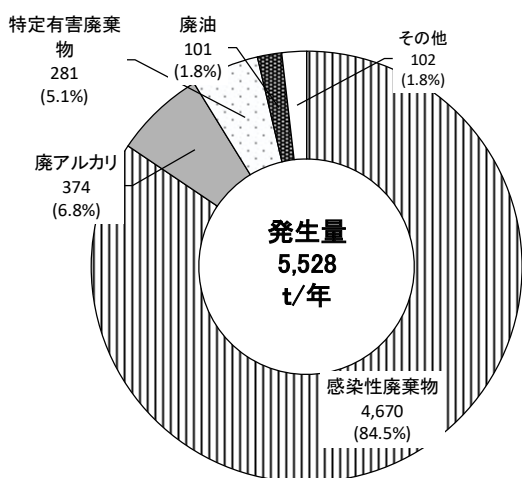


図4-2-1 種類別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

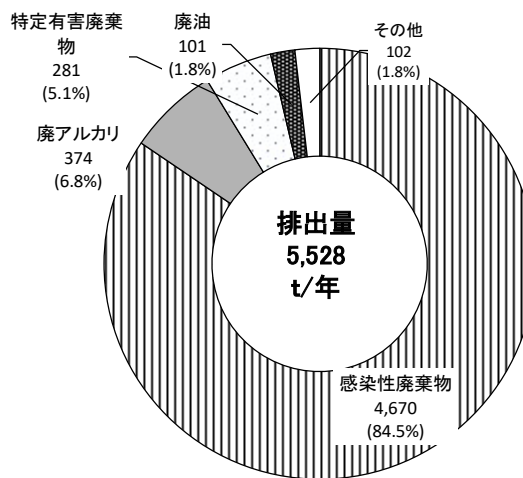
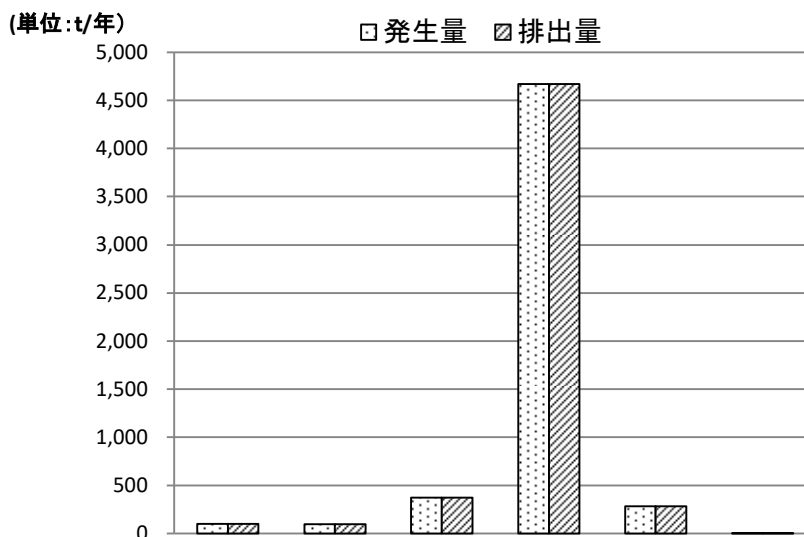


図4-2-2 種類別の排出量
＜特別管理産業廃棄物＞



種類:変換 (t/年)	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	特定有害廃棄物	廃石綿等
発生量	5,528	101	97	374	4,670	281	5
	(100%)	(2%)	(2%)	(7%)	(84%)	(5%)	(0%)
排出量	5,528	101	97	374	4,670	281	5
	(100%)	(2%)	(2%)	(7%)	(84%)	(5%)	(0%)

図4-2-3 種類別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量

2. 業種別発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の業種別発生・排出状況は、図4-2-4～6に示すとおりである。

発生量・排出量(5,528トン)を業種別にみると、医療・福祉が4,559トン(発生量・排出量の82.5%)で最も多く、次いで、製造業が598トン(同10.8%)等となっている。

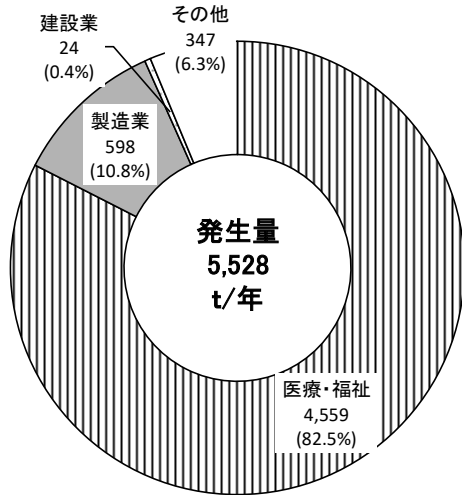


図4-2-4 業種別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

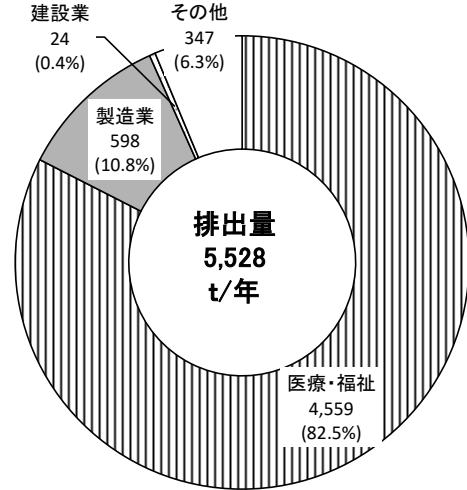
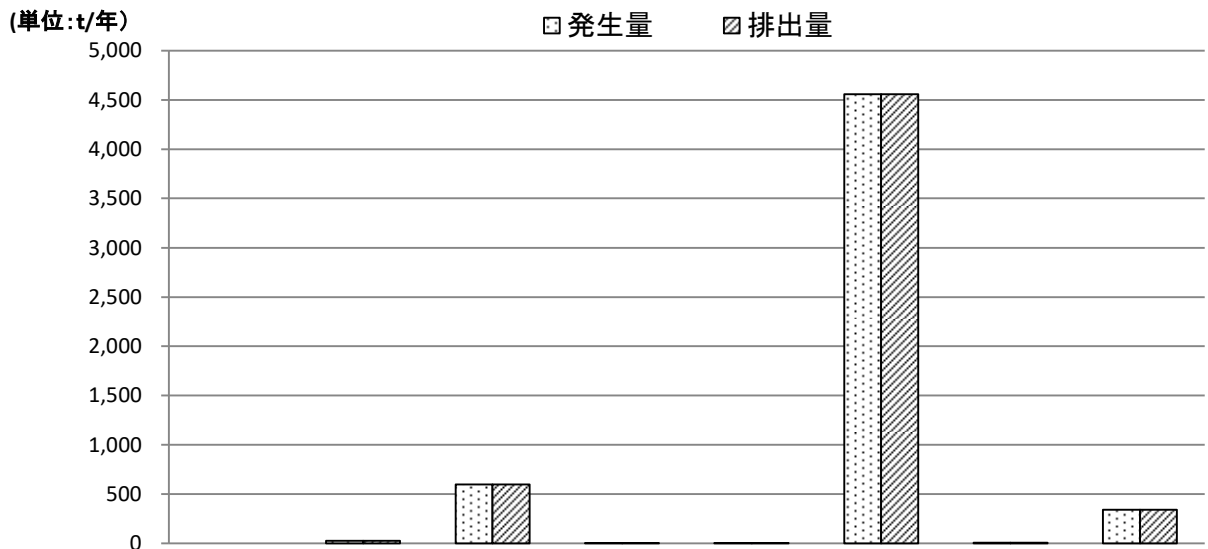


図4-2-5 業種別の排出量
＜特別管理産業廃棄物＞



業種 (t/年)	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
発生量	5,528 (100%)	0 (0%)	24 (0%)	598 (11%)	1 (0%)	2 (0%)	4,559 (82%)	4 (0%)	339 (6%)
排出量	5,528 (100%)	0 (0%)	24 (0%)	598 (11%)	1 (0%)	2 (0%)	4,559 (82%)	4 (0%)	339 (6%)

図4-2-6 業種別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量

3. 処理・処分状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出から処理・処分状況の流れは、図4-2-7に示すとおりである。なお、特別管理産業廃棄物のうち、感染性廃棄物についての処理・処分状況は、図4-2-8に示すとおりである。

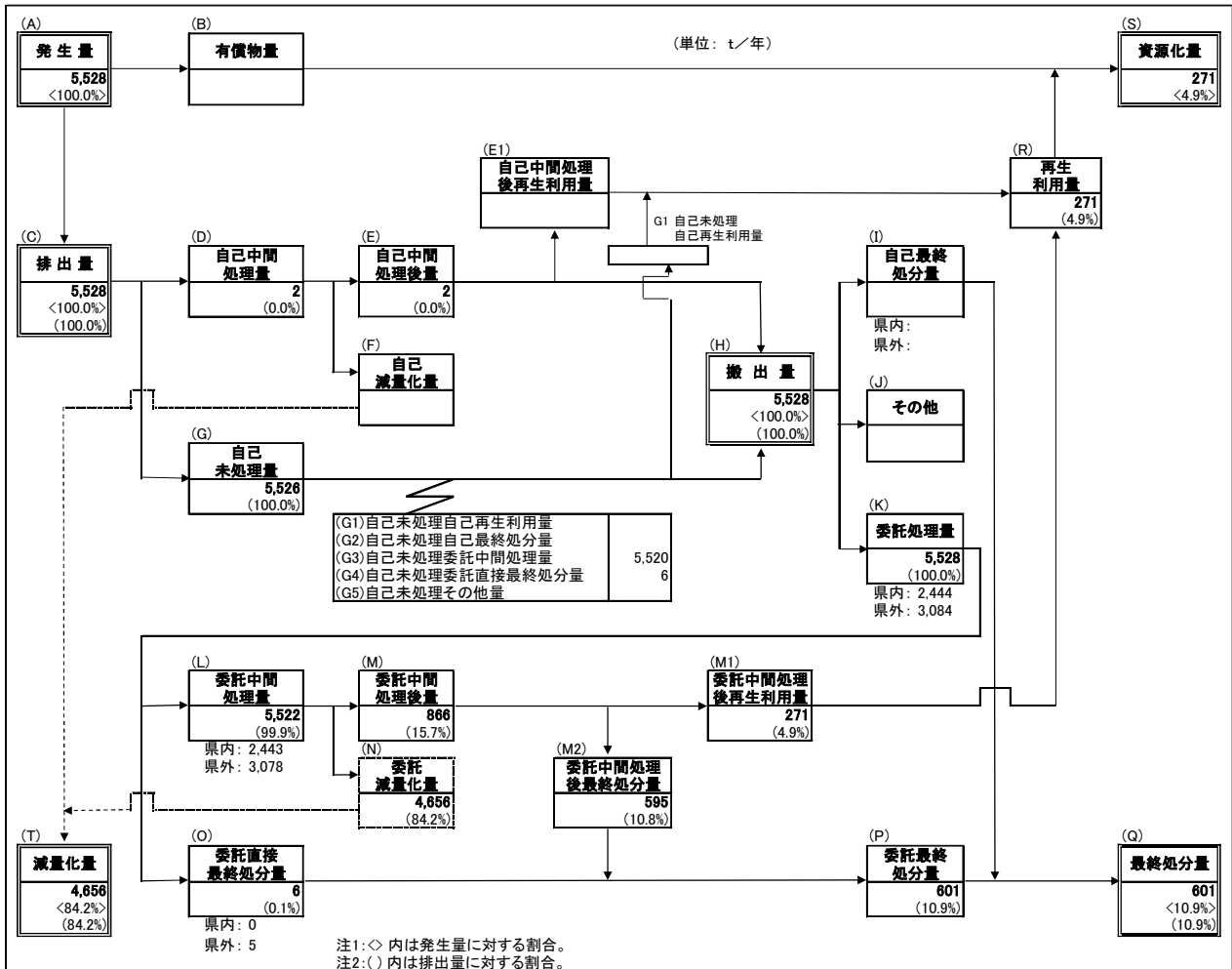


図4-2-7 特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

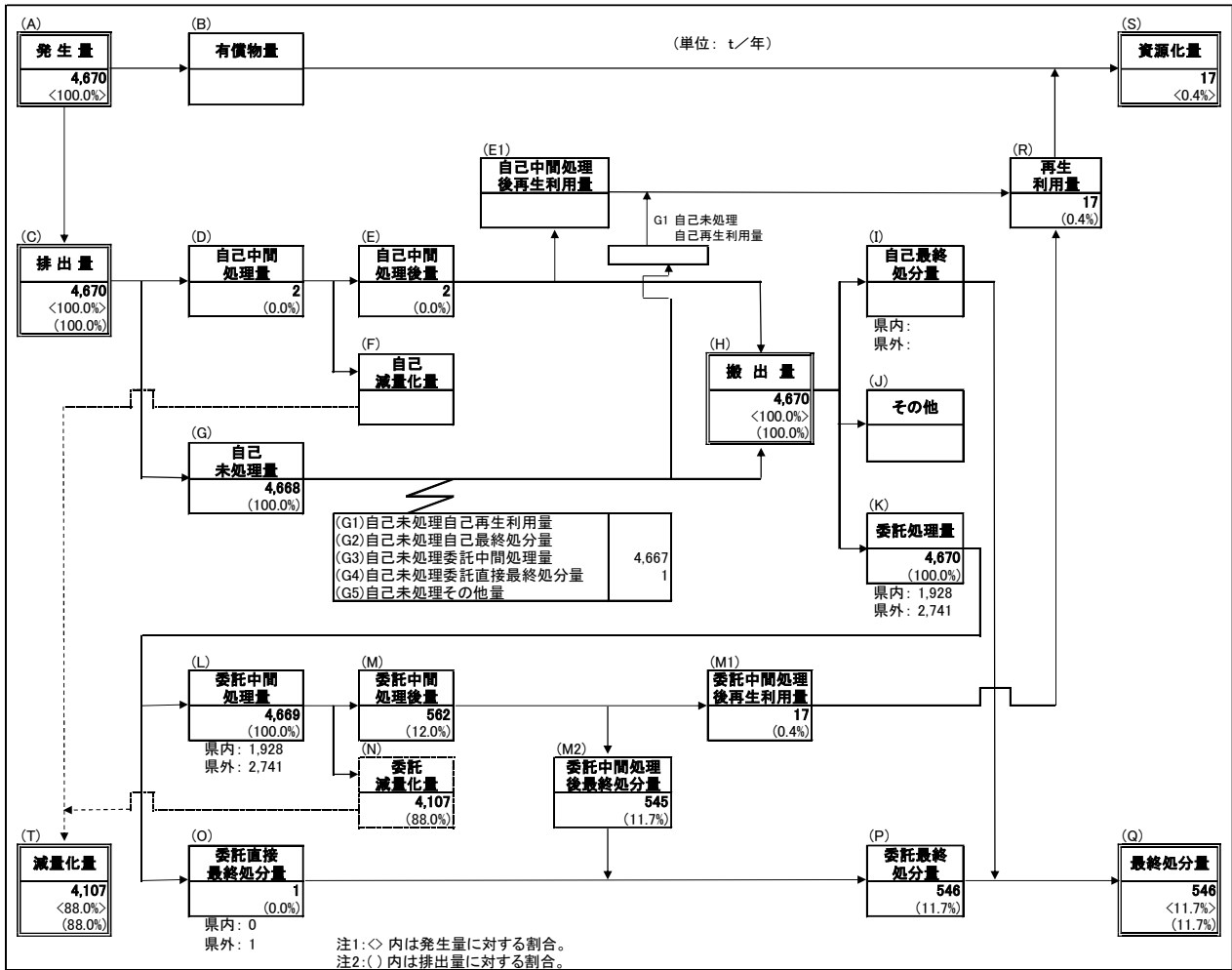


図 4 - 2 - 8 感染性廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

卷末資料

- ・ 統計表
- ・ 調査票等

表1-1 発生量（業種別・種類別：変換）【令和元年度】
 (その1)

業種	業種別										種類別										(単位：t/年)									
	農	畜	製	食	飲	織	木	家	ハ	印	化	石	ブ	コ	皮	窯	鉄	非	金	は		生	業	電	電	情	輸	そ		
種類	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計			
合計	1,238,616	55,694	866,923	5,515	295,211	187,972	12,040	3,655	1,455	8,079	574	95,119	109	172	583	4,067	429	24,094	13,358	143	5,934	1,669	1,914	154	4,421	3,730	255	859	5,162	
燃え殻	8,469				8,159		52		11	1,832																				
汚泥	100,047	100,047		5,320	1,452	75,710	5,326	157	537	80		241	31		9,589	30	54	1,593			0	26		695	139	7				
有機性汚泥	78,865	78,865		64	62,596	5,232	157	537	3	56,221		13									0			426	7					
無機性汚泥	21,182	21,182		1,388	13,114	94	0		77	983		241	18		9,589	30	54	1,593			0	26		269	139					
廃油	7,222	7,222		42	3,863	27	1	6	146	6	62	4	9		1,426	21	321	6	160	26	6	160	26	1,498	50	37	42			
一般廃油	4,832	4,832		9	2,040	27	1	6	139		54	2	7		1,271	11	238	6	100	44	6	100	44	26	36	5				
廃溶剤	1,576	1,576		0	1,512	0	0		7			1	6							26	1,445	24								
油																														
油でい	706	706		31	249										155						40									
油付着物	108	108		2	63																10	34	0		8	0				
廃酸	1,349	1,349			1,289	8	1,171																							
廃アルカリ	3,124	3,124		0	2,906	97	1,825		397		69	45									277	22		174						
廃プラスチック類	32,503	31,444	1,059	7,189	9,873	2,074	131	802	263	240	337	14		121	3,739	295		1	84	18	252	31	17	53	781	358	143	18	208	
廃プラスチック	31,637	30,578	1,059	7,188	9,869	2,071	131	802	263	240	337	14		12	3,739	295		1	84	18	252	31	17	53	781	358	143	18	208	
廃タイヤ	866	866		1	3	3																								
紙くず	1,167	1,167		1,155	12																									
木くず	54,345	54,345		35,188	10,652	30	0	3	5,347	277	87	26	101	4	43	2	14	20	7	206	15	22		135	273	25			4,015	
繊維くず	223	223		223																										
動物性残さ	3,215	3,215		3,215	2,908	307																								
動物系固形不燃物	540	540		540	540																									
ゴムくず	41	41			41										41															
金属くず	20,241	20,241		195	3,909	11,592	538	23	87	14	713	6		0	39	44		35	1,515	33	2,686	1,552	1,553	58	930	1,433	28	156	179	
ガラスくず等	21,689	21,689		8,982	11,783	9	1	5			34				0			10,859		163	13			18	168	1	1	4	488	
紙さい	10,160	10,160		19	10,141																									
がれき類	240,819	240,819		231,634	5,265	8					57			558				3,596	133	2					3		638	270		
コンクリート片	128,961	128,961		121,666	4,508													3,596		2							638	270		
廃アスファルト	97,415	97,415		95,983	556									556																
その他	14,442	14,442		13,975	201	8					57															3				
はいじん	26,237	26,237		26,237							26,237																			
動物のふん尿	685,861	685,861																												
動物の死体	1	1		1																										
その他産業廃棄物	21,360	21,359	1	5,408	6,692	422	39		3	44	4,054	2	47	1	6		0	7	4	386	30	136		22	1,472	15			2	
感染性廃棄物	4,670	4,670		22	2	0																								
混合物等	16,691	16,689	1	5,408	6,671	420	37		3	44	4,054	2	47	1	6		0	7	4	386	30	136		3	1,472	15				

表1-1 発生量(業種別・種類別：変換)【令和元年度】
(その2)

業種	その他の業種										(単位：t/年)									
	電気・水道業	ガス業	水道業	下水道業	情報通信業	卸売・小売業	医療福祉	サービス業	その他の業種	運輸業	金融・保険業	物品賃貸業	学術研究・専門業	宿泊業・飲食業	生活関連業	教育・学習業	複合サービス業	公務		
種類	17,703	1,189	65	514	15,936	1,876	14,654	9,068	2,590	17,104	9,255	129	501	783	1,145	2,636	1,089	289	1,277	
合計																				
燃え殻						80				230	0						2		228	
汚泥	15,448		0	15	15,433	125	396	193	164	1,239	782	1		78	80	86	33	0	178	
有機性汚泥	15,433		0	15	15,433	125	161	154	160	1,172	6	1		1	79	61	23	0	0	
無機性汚泥	15		0	15	0	0	235	38	4	1,068	777			77	1	25	10		178	
廃油	1	0	0	1	0	1,164	1,072	95	340	4	4	4	4	9	525	19	31	24	32	
一般廃油	1	0	1	0	1,067	659	95	962	339	4	2	516	16	30	24	32			32	
廃溶剤						55				1	8			7			1			
固形油																				
油でい							413			13				9	4					
油付着物	0	0	0	0	0	42				1	1									
廃酸	1		1		1	6	5	7	39							39				
廃アルカリ	0		0		0	128	2	6	82	65						2			15	
廃プラスチック類	25	13	10	1	76	8,490	2,197	862	2,732	1,275	90	102	59	174	218	408	169	237		
廃プラスチック	25	13	10	1	76	7,902	2,197	827	2,493	1,094	90	78	59	174	211	408	160	220		
廃タイヤ						588			35	239	181	0	24		7		9	17		
紙くず																				
木くず	6	3	2		2	1,346	20	209	6,922	6,311		22		18	385	39	5	143		
繊維くず																				
動物性残さ																				
動物系固形不燃物																				
ゴムくず																				
金属くず	107	25	27	39	16	89	1,788	391	584	1,586	300	21	298	271	247	207	122	59	61	
ガラスくず等	7	7	0	0	0	5	267	133	170	333	33	1	5	14	61	80	122	2	15	
紙さい																				
がれき類	2,045	1,138	0	420	487	1,480	22	2	119	252										
コンクリート片	1,186	1,138	0	3	45	1,480			104	18				11	19	6			215	
廃スチロール	859		417	442					7					11		6				
その他						22	2	7	234						19				215	
はいじん																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
その他産業廃棄物	64	2	25	37		98	967	5,053	374	2,703	149	16	70	352	29	1,622	283	29	153	
感染性廃棄物							2	4,555		91				1			83		7	
混合物等	64	2	25	37		98	965	498	374	2,611	149	16	70	351	29	1,622	200	29	146	

表1-2 排出量(業種別・種類別)【令和元年度】
(その1)

業種	業種別										種類別										(単位: t/年)								
	農	畜産	製造業	建設業	製造業	食品	飲料	繊維	木材	家具	ハル	印刷	化学	石油	プラスチック	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄	金		はん	生産	業務	電子	電気	情報	輸送	その他
合計	1,109,132	540,468	568,664	5,515,294	566,177	924,111,600	3,655	1,199	7,096	574	94,430	109	172	583	3,870	429	24,071	11,854	101	4,158	179	1,313	96	2,935	3,321	181	838	5,162	
燃え殻	8,469					8,159	52	11	1,832		6,264																		
汚泥	100,047					5,320	1,452	75,710	80	57,204					241	31	9,589	30	54	1,593	0	26	695	139	7				
有機性汚泥	78,865					64	62,596	5,232	537	56,221					13						0		426	7					
無機性汚泥	21,182					1,388	13,114	94	77	983					241	18	9,589	30	54	1,593	0	26	269	139					
廃油	6,119					42	3,149	27	1	6	62	2	5	9	4	9	1,426	12	321	6	152	26	799	50	37	42			
一般廃油	4,406					9	2,001	27	1	6	54	2	2	7	3	0	1,271	2	238	6	152	22	799	50	37	42			
廃溶剤	900					0	836	0	7			2			1	6						26	769	24	0				
油																													
油でい	706					31	249				8						155			40									
油付着物	108					2	63				6	0	0	1	3				10	34	0		8		0				
廃酸	1,349					1,289	8	1,171			1	1	6						4	80	0		19						
廃アルカリ	3,124					0	2,906	97	1,825	397	69	45			1	0				277	22		174						
廃プラスチック類	31,935					7,189	9,339	2,013	131	546	263	240	337	14	121	3,567	295		84	18	252	31	17	53	781	358	99	18	208
廃プラスチック	31,069					7,188	9,336	2,010	131	546	263	240	337	14	121	3,567	295		84	18	252	31	17	53	781	358	99	18	208
廃タイヤ	866					1	3																						
紙くず	1,167					1,155	12																						
木くず	52,667					34,514	9,668	30	0	3	4,364	277	87	26	101	4	43	2	14	20	6	206	15	22	135	273	25	4,015	
繊維くず	223					223																							
動物性残さ	2,937					2,937	2,631	307																					
動物系固形不燃物	540					540	540																						
ゴムくず	41															41													
金属くず	12,573					195	3,884	4,058	437	23	87	14	24	6	14	44													
ガラスくず等	21,689					8,992	11,783	9	1	5	7	34			0														
紙くず	10,160					19	10,141																						
がれき類	240,873					231,688	5,265	8		57																			
コンクリート片	128,961					121,666	4,508																						
廃アスファルト	97,415					95,993	556																						
その他	14,496					14,029	201	8		57																			
はいじん	26,237					26,237																							
動物のふん尿	567,603					567,603																							
動物の死体	1					1																							
その他産業廃棄物	21,354					5,408	6,687	422	39	44	4,054	2	47	1	6														
感染性廃棄物	4,670					22	2	0																					
混合物等	16,684					5,408	6,665	420	37	44	4,054	2	47	1	6														

表1-2 排出量（業種別・種類別：変換）【令和元年度】
 (その2)

業種	業種別										種類別										(単位：t/年)
	電気・水道業	ガス業	水道業	下水道業	情報通信業	卸売・小売業	医療福祉	サービス業	その他の業種	運輸業	金融・保険業	物品賃貸業	学術研究・専門業	宿泊業・飲食業	生活関連業	教育・学習業	複合サービス業	公務			
種類合計	17,648	1,189	65	475	15,920	1,876	14,537	9,068	2,551	16,783	9,237	129	501	783	880	2,598	1,089	289	1,277		
燃え殻						80				230	0						2		228		
汚泥	15,448		0	15	15,433	125	396	193	164	1,239	782	1		78	80	86	33	0	178		
有機性汚泥	15,433		0	15	15,433	125	161	154	160	172	6	1		1	79	61	23	0	0		
無機性汚泥	15		0	15	0	0	235	38	4	1,068	777			77	1	25	10		178		
廃油	1	0	0	1	0	1,059	1,072	95	701	334	4	4	9	261	5	31	24	32	32		
一般廃油	1	0	1	0	92	659	95	679	333	4	2	251	2	30	24	32					
廃溶剤						55			1	8	7								1		
固形油																					
油でい							413			13				9	4						
油付着物	0	0	0	0	0	42				1	1										
廃酸	1		1		1	6	5	7	39								39				
廃アルカリ	0		0		0	128	2	6	82	65							2		15		
廃プラスチック類	25	13	10	1	76	8,479	2,197	862	2,709	1,275	90	102	59	174	195	408	169	237	237		
廃プラスチック	25	13	10	1	76	7,891	2,197	827	2,470	1,094	90	78	59	174	188	408	160	220	220		
廃タイヤ						588			35	239	181	0	24		7		9	17	17		
紙くず																					
木くず	6	3	2		2	1,346	20	209	6,922	6,311		22		18	385	39	5	143	143		
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不燃物																					
ゴムくず																					
金属くず	52	25	27	0	89	1,786	391	545	1,574	288	21	298	271	247	207	122	59	61	61		
ガラスくず等	7	7	0	0	5	267	133	170	333	33	1	5	14	61	80	122	2	15	15		
紙さい																					
がれき類	2,045	1,138	0	420	487	1,480	22	2	119	252				11	19	6		215	215		
コンクリート片	1,186	1,138	0	3	45	1,480		104	18					11		6					
廃プラスチック	859		417	442				7													
廃スチロール																					
その他						22	2	7	234						19				215		
はいじん																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
その他産業廃棄物	64	2	25	37	98	967	5,053	374	2,702	149	16	70	352	29	1,620	283	29	153	153		
感染性廃棄物						2	4,555		91				1			83		7	7		
混合物等	64	2	25	37	98	965	498	374	2,610	149	16	70	351	29	1,620	200	29	146	146		

表2-1 発生量及び処理・処分量（業種別）【令和元年度】

区分 種類	発生量										自己中間処理量										自己未処理量										自己未処理の処理内訳										搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+C)		(B)		(C) (D+E)		(D)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(E4)		(E5)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(G4)		(G5)		(H) (I+K+J)		(I) (E2+G2)									
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理量		再生利用量		自己最終処分量		委託中間処理量		委託直接最終処分量		その他		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(G4)		(G5)		(H)		(I)									
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理後量		自己中間処理量		再生利用量		自己最終処分量		委託中間処理量		委託直接最終処分量		その他		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(G4)		(G5)		(H)		(I)									
全業種	1,238,616	129,539	1,109,132	140,056	72,332	48,414	28	22,903	958	29	969,075	168,109	1,471	794,937	4,559	824,885	1,499	1,499		824,885	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499									
農業を除く	551,694	11,280	540,468	136,685	71,999	48,414	28	22,569	958	29	403,782	5,046	1,471	392,706	4,559	422,321	1,499	1,499		422,321	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499								
農業	686,923	118,258	568,664	3,371	333			333			565,293	163,062		402,231		402,564				402,564																								
鉱業	5,515		5,515	5,320	5,320	5,320	5,320			5,320	195			195		195				195																								
建設業	295,211	700	294,566	41,167	40,058	34,078	28	5,484	439	29	253,399	1,850	1,471	250,078	1,850	259,378	1,499	1,499		259,378	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499								
製造業	187,972	10,048	177,924	75,428	15,165	8,686	0	6,128	350		102,496	4,866		95,320	2,310	104,108	0	0		104,108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
食料品	12,040	440	11,600	572	128	29		2	97		11,028			11,027	0	11,127				11,127																								
飲料・飼料	3,655		3,655								3,655			3,655		3,655				3,655																								
繊維	1,455	255	1,199								1,199			1,199		1,199				1,199																								
木材・木製品	8,079	983	7,096	215	72			72			6,881	16		6,865	16	6,953				6,953																								
家具・装飾品	574		574								561			561		562				562																								
パルプ・紙	95,119	690	94,430	57,394	1,197			1,129	68		37,036	1,424		35,612	1,424	38,233				38,233																								
印刷	109		109								109			109		109				109																								
化学	172		172								172			172		172				172																								
石油・石炭	583		583								583			583		583				583																								
プラスチック	4,067	197	3,870	26	26	26					3,843			3,843		3,843				3,843																								
ゴム	429		429								429			429		429				429																								
皮革																																												
窯業・土石	24,094	23	24,071	12,233	9,352	5,100		4,252			11,838	14		11,487	336	16,075				16,075																								
鉄鋼	13,358	1,503	11,854	1,232	651			651			10,622	4,852		5,770		6,422				6,422																								
非鉄金属	143	42	101								101			97	4	101				101																								
金属	5,934	1,776	4,158	186	186						3,972			3,605	366	4,158				4,158																								
はん用機器	1,669	1,490	179								179			167	12	179				179																								
生産用機器	1,914	601	1,313								1,313			1,313		1,313				1,313																								
業務用機器	154	58	96								96			96		96				96																								
電子部品等	4,421	1,486	2,935	27	22						2,908			2,908		2,930				2,930																								
電気機器	3,730	409	3,321								3,321			3,321		3,321				3,321																								
情報通信機器	255	74	181								181			181		181				181																								
輸送機器	859	21	838								838			836	2	838				838																								
その他	5,162		5,162	3,531	3,531	3,531					1,631			1,631		1,631				1,631																								
電気・水道業	17,703	55	17,648	13,993	10,695	259		10,436			3,655	1		3,654	1	14,091				14,091																								
電気業	1,189		1,189								1,189			1,189		1,189				1,189																								
ガス業	65		65								65			65		65				65																								
上水道業	514	39	475								475			474	1	475				475																								
下水道業	15,936	16	15,920	13,993	10,695	259		10,436			1,927			1,927		12,363				12,363																								
情報通信業	1,876		1,876								1,876			1,875	2	1,876				1,876																								
卸・小売業	14,654	117	14,537	29	13			13			14,507			14,337	170	14,520				14,520																								
医療・福祉	9,068		9,068								9,068			8,996	72	9,068				9,068																								
サービス業	2,590	40	2,551	745	745	68		508	169		1,806	152		1,545	109	2,331			2,331																									
その他の業種	17,104	320	16,783	3	3	2		1			16,780	28		16,706	46	16,753				16,753																								

(単位：t/年)

(その1)

表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） 農業を除く【令和元年度】

区分	発生量 (A)	有機物量 (B)	排出量 (C)	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量			自己最終処分量			
				自己中間処理後量										自己未処理後量					再生利用量			自己最終処分量		再生利用量	
				自己中間処理後量					自己中間処理後の処理内訳					自己未処理後量					再生利用量		自己最終処分量		再生利用量		
				(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)				
種別	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)				
合計	551,694	11,280	540,468	136,685	71,999	48,414	28	22,569	958	29	403,782	5,046	1,471	392,706	4,559		422,321	1,499	1,499						
燃え殻	8,469		8,469	1,382	1,382	0	0	1,177	176	29	8,469			7,015	1,454		9,851	0	0						
汚泥	100,047		100,047	21,365	21,365	10,706	16	10,458	186		20,292	152		19,801	340		30,799	16	16						
有機性汚泥	78,865		78,865	10,695	10,695	259		10,436			11,485	152		11,331	2		21,769								
無機性汚泥	21,182		21,182	12,375	12,375	10,446	16	22	186		8,807			8,469	338		9,030	16	16						
廃油	7,222	1,103	6,119	1,232	651			651			4,887			4,879	8		5,539								
一般廃油	4,832	427	4,405	1,232	651			651			3,174			3,166	8		3,825								
廃溶剤	1,576	676	900								900			900	0		900								
固形油											706			706			706								
油でい											108			108			108								
油汚着物											1,349			1,349			1,349								
廃酸	1,349		1,349								1,349			1,349			1,349								
廃アルカリ	3,124		3,124	29	13			13			3,095			3,095			3,108								
廃プラスチック類	31,444	568	30,876	824	821	29		604	188		30,053	28	131	29,538	356		30,817	131	131						
廃プラスチック	30,578	568	30,010	824	821	29		604	188		29,187		131	28,700	356		29,979	131	131						
廃タイヤ	866		866								866	28		838			838								
紙くず	1,167		1,167	2	2	1		1			1,166			1,166			1,166								
木くず	54,345	1,658	52,687	7,387	6,062	5,091		970			45,300	14		45,280	6		46,256								
繊維くず	223		223	33	33						191			191			191								
動物性残渣	3,215	278	2,937								2,937			2,937			2,937								
動物系固形不要物	540		540	540																					
ゴムくず	41		41								41			41			41								
金属くず	20,241	7,668	12,573	296	296	276	12	8			12,277			12,129	148		12,297	12	12						
ガラスくず等	21,689		21,689	6,059	4,877	369		4,343	165		15,630		296	15,144	191		20,139	296	296						
紙さい	10,160		10,160								10,160	4,852		5,308			5,308								
がれき類	240,819		240,873	36,307	36,297	31,941	0	4,281	74		204,566		997	202,434	1,135		208,921	997	997						
コンクリート片	128,961		128,961	33,070	33,070	30,240		2,830			95,892			95,849	42		98,722								
廃プラスチック	97,415		97,415	3,010	3,010	1,578		1,431			94,406			94,406			95,837								
その他	14,442		14,496	228	217	124	0	20	74		14,288		997	12,179	1,093		14,362	997	997						
ばいじん	26,237		26,237								26,237			26,237			26,237								
動物のふん尿																									
動物の死体																									
その他産業廃棄物	21,359	7	21,353	4,221	232			63	169		17,132		47	16,163	922		17,364	47	47						
感染性廃棄物	4,670		4,670	2	2			2			4,668			4,667	1		4,670								
混合物等	16,689	7	16,683	4,219	230			61	169		12,464		47	11,496	922		12,694	47	47						

(単位：t/年)

表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） 農業を除く【令和元年度】

区分	種類	委託処理量										委託中間処理量										委託直接最終処分量			委託中間処理後量						再生利用量				最終処分量			その他量		資源化量
		(K) (04)					(L)					(M)					(N)					(O)	(R)	(S)	(J)	(E5-G5)	(S)	(B+R)												
		(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(R)		(S)		(J)		(E5-G5)		(S)									(B+R)											
		(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(R)		(S)		(J)		(E5-G5)		(S)		(B+R)																		
		(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(R)		(S)		(J)		(E5-G5)		(S)		(B+R)																		
(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(R)		(S)		(J)		(E5-G5)		(S)		(B+R)																				
合計	420,793	5,518	5,518	1,834	3,684	415,275	414,783	492	364,024	51,251	379,490	359,777	19,713	9,366	26,729	413,237	26,729	1,499	25,230	29	29	424,517																		
燃え殻	9,822	1,630	1,630	1,630	3,684	8,192	8,192	8,192	6,707	1,485	11,710	9,366	2,343	3,973	26,729	3,973	0	3,973	29	29	9,366																			
汚泥	30,784	525	525	3	523	30,258	30,258	30,258	19,891	10,367	19,330	18,534	796	1,337	26,729	1,337	16	1,322			29,391																			
有機性汚泥	21,769	2	2	2		21,767	21,767	21,767	12,581	9,186	13,298	13,078	219	221	26,729	221		221			13,489																			
無機性汚泥	9,015	524	524	1	523	8,491	8,491	8,491	7,310	1,181	6,033	5,456	577	1,101	26,729	1,101	16	1,101			15,902																			
廃油	5,539	8	8	8	0	5,531	5,531	5,531	2,618	2,912	1,977	1,977	8	8	26,729	8		8			3,080																			
一般廃油	3,825	8	8	8	0	3,817	3,817	3,817	1,698	2,119	1,230	1,230	8	8	26,729	8		8			1,656																			
廃溶剤	900	0	0	0	0	900	900	900	126	774	727	727	0	0	26,729	0		0			1,403																			
固形油	706					706	706	706	688	18	21	21			26,729	21					21																			
油付着物	108					108	108	108	107	1					26,729																									
廃酸	1,349					1,349	1,349	1,349	112	1,237	22	22	0	0	26,729	0		0			22																			
廃アルカリ	3,108					3,108	3,108	3,108	2,875	233	124	124			26,729	124					124																			
廃プラスチック類	30,686	544	544	327	217	30,142	29,658	484	21,365	8,777	22,417	20,069	2,348	2,892	26,729	2,348	131	2,892			20,694																			
廃プラスチック	29,848	544	544	327	217	29,304	28,820	484	20,826	8,478	21,579	19,238	2,341	2,885	26,729	2,341	131	2,885			19,835																			
廃タイヤ	838					838	838	838	538	300	838	831	7	7	26,729	7		7			859																			
紙くず	1,166					1,166	1,166	1,166	1,000	166	1,108	604	504	504	26,729	604		504			606																			
木くず	46,256	6	6	6	0	46,250	46,250	46,250	38,944	7,306	41,596	40,687	910	916	26,729	46,792		916			47,450																			
繊維くず	191					191	191	191	188	3	60	46	15	15	26,729	46		15			46																			
動物性残渣	2,937					2,937	2,937	2,937	2,765	173	2,090	2,090			26,729	2,090					2,367																			
動物系固形不燃物																																								
ゴムくず	41					41	41	41	41		41	41			26,729	41					41																			
金属くず	12,285	148	148	86	62	12,138	12,138	12,138	9,045	3,093	12,012	10,927	1,085	1,233	26,729	11,203	12	1,233			18,870																			
ガラスくず等	19,842	356	356	50	306	19,487	19,487	19,487	17,757	1,730	19,363	15,927	3,436	3,792	26,729	16,296	296	3,792			16,296																			
紙くず	5,308					5,308	5,308	5,308	1,569	3,739	5,308	4,549	759	759	26,729	9,401		759			9,401																			
がれき類	207,924	1,209	1,209	853	356	206,715	206,715	206,715	203,750	2,965	204,874	200,198	4,676	6,881	26,729	232,139	997	5,885			232,139																			
コンクリート片	98,722	42	42	36	6	98,680	98,680	98,680	96,439	2,240	98,388	97,376	1,012	1,054	26,729	127,615		1,054			127,615																			
廃プラスチック	95,837					95,837	95,837	95,837	95,775	62	95,468	95,188	280	280	26,729	96,766		280			96,766																			
その他	13,365	1,167	1,167	817	350	12,198	12,198	12,198	11,535	663	11,018	7,634	3,384	4,551	26,729	7,758	997	4,551			7,758																			
ばいじん	26,237					26,237	26,237	26,237	23,532	2,705	26,237	26,237			26,729	26,237					26,237																			
動物のふん尿																																								
動物の死体																																								
その他産業廃棄物	17,317	1,091	1,091	501	500	16,226	16,217	8	11,866	4,360	11,219	8,378	2,841	47	26,729	3,979	47	3,933			8,385																			
感染性廃棄物	4,670	1	1	0	1	4,669	4,669	4,669	1,928	2,741	3	3		1	26,729	3		1			3																			
混合物等	12,647	1,091	1,091	501	500	11,557	11,548	8	9,938	1,619	11,216	8,375	2,841	47	26,729	3,979	47	3,932			8,381																			

表3-2 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換） 農業を除く【令和元年度】
 (その1)

区分	発生量 (A) (B+C+D)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量				
				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				(H) (I+K+J)	(1) (E2+E2)			
				自己中間処理後量		自己中間処理後量		自己未処理量		自己未処理量		自己未処理の処理内訳		自己未処理の処理内訳				(G1)	(G2)	(G3)
				(E)	(D)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E)	(D)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)			
合計	55,694	11,280	540,468	136,685	71,999	48,414	28	22,569	958	29	403,782	5,046	1,471	392,706	4,559	422,321	1,499	1,499		
燃え殻	8,469		8,469							8,469				1,454	8,469					
汚泥	100,047		100,047	79,755	22,494	10,706	16	11,587	186	20,292	152			340	31,928	16	16			
有機性汚泥	78,865		78,865	67,380	11,824	259		11,565		11,485	152			2	22,898					
無機性汚泥	21,182		21,182	12,375	10,670	10,446	16	22	186	8,807				338	9,030	16	16			
廃油	7,222	1,103	6,119	1,232	651			651		4,887				8	5,539					
一般廃油	4,832	427	4,406	1,232	651			651		3,174				8	3,825					
廃溶剤	1,576	676	900							900				0	900					
固形油																				
油でい	706		706							706					706					
油汚着物	108		108							108					108					
廃酸	1,349		1,349							1,349					1,349					
廃アルカリ	3,124		3,124	29	13			13		3,095					3,108					
廃プラスチック類	31,444	568	30,876	824	821	29		604	188	30,053	28	131	29,538	356	30,817	131	131			
廃ガラス等	30,578	568	30,010	824	821	29		604	188	29,187		131	28,700	356	29,979	131	131			
廃タイヤ	866		866							866	28				838					
紙くず	1,167		1,167	2	2	1		1		1,166					1,166					
木くず	54,345	1,658	52,687	7,387	6,140	5,091	0	1,012	8	45,300	14		45,280	6	46,335	0	0			
繊維くず	223		223	33	10			6	4	191					200					
動物性残渣	3,215	278	2,937							2,937					2,937					
動物系固形不要物	540		540	540	97				97						97					
ゴムくず	41		41							41					41					
金属くず	20,241	7,668	12,573	296	296	276	12	8		12,277				148	12,297	12	12			
ガラスくず等	21,689		21,689	6,059	4,877	369		4,343	165	15,630		296	15,144	191	20,139	296	296			
紙さい	10,160		10,160							10,160	4,852		5,308		5,308					
がれき類	240,819		240,873	36,307	36,297	31,941	0	4,281	74	204,566		997	202,434	1,135	208,921	997	997			
コンクリート片	128,961		128,961	33,070	33,070	30,240		2,830		95,892			95,849	42	98,722					
廃プラスチック	97,415		97,415	3,010	3,010	1,578		1,431		94,406			94,406		95,837					
その他	14,442		14,496	228	217	124	0	20	74	14,288		997	12,179	1,093	14,362	997	997			
ばいじん	26,237		26,237							26,237					26,237					
動物のふん尿																				
動物の死体																				
その他産業廃棄物	21,359	7	21,353	4,221	300			63	237	17,132		47	16,163	922	17,432	47	47			
感染性廃棄物	4,670		4,670	2	2			2		4,668			4,667	1	4,670					
混合物等	16,689	7	16,683	4,219	298			61	237	12,464		47	11,496	922	12,762	47	47			

表3-2 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換） 農業を除く【令和元年度】

区分 種類	委託処理量 (単位: t/年)												委託中間処理量				委託直接最終処分量				委託中間処理後量				再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量				
	(K) (0-K)			(L)			(M)			(N)			(O)			(P)			(Q)			(R)			(S)			(T)		(U)									
	(0)			(1)			(2)			(3)			(4)			(5)			(6)			(7)			(8)			(9)		(10)									
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	委託処理後の処理内訳 再生利用量	最終処分量	(E1+G1+H1)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)				
合計	420,793	5,518	5,518	1,834	3,684	415,275	414,783	492	364,024	51,251	379,490	359,777	19,713	413,237	26,729	1,499	25,230	29	424,517																				
燃え殻	8,469	1,454	1,454	1,454	1,454	7,015	7,015		5,537	1,478	7,005	6,975	31	6,975	1,484	1,484																							
汚泥	31,913	525	525	3	523	31,387	31,387		21,020	10,367	21,476	20,031	1,445	30,889	1,986	1,971																							
有機性汚泥	22,898	2	2	2		22,896	22,896		13,710	9,186	15,315	14,738	577	15,149	579	579																							
無機性汚泥	9,015	524	524	1	523	8,491	8,491		7,310	1,181	6,162	5,293	869	15,740	1,408	1,392																							
廃油	5,539	8	8	8	0	5,531	5,531		2,618	2,912	2,060	1,984	76	1,984	84	84																							
一般廃油	3,825	8	8	8	0	3,817	3,817		1,698	2,119	1,254	1,234	20	1,234	28	28																							
廃溶剤	900	0	0	0	0	900	900		126	774	731	729	2	729	2	2																							
固形油	706					706	706		688	18	69	21	48	21	48	48																							
油でい	108					108	108		107	1	8	0	7	0	7	7																							
油汚着物	1,349					1,349	1,349		112	1,237	217	203	14	203	14	14																							
廃酸	3,108					3,108	3,108		2,875	233	167	150	17	150	17	17																							
廃アルカリ	30,686	544	544	327	217	30,142	29,658	484	21,365	8,777	22,814	20,142	2,672	20,199	3,347	3,216																							
廃プラスチック類	29,848	544	544	327	217	29,304	28,820	484	20,826	8,478	21,976	19,311	2,665	19,340	3,340	3,209																							
廃ガラス等	838					838	838		538	300	838	831	7	831	7	7																							
紙くず	1,166	14	14	6	8	46,292	46,292		38,985	7,307	42,040	41,001	1,039	46,107	1,063	0																							
木くず	200	4	4	4	4	196	196		188	9	75	52	24	52	27	27																							
繊維くず	2,937	97	97			2,937	2,937		2,765	173	2,118	2,090	29	2,090	29	29																							
動物系固形不燃物	41					41	41		41		41	41		41																									
ゴムくず	12,285	148	148	86	62	12,138	12,138		9,045	3,093	12,138	10,953	1,185	11,229	1,344	1,322																							
金属くず	19,842	356	356	50	306	19,487	19,487		17,757	1,730	19,472	15,955	3,517	16,325	4,169	296																							
ガラスくず等	5,308					5,308	5,308		1,569	3,739	5,308	4,549	759	9,401	759	759																							
紙くず	207,924	1,209	1,209	853	356	206,715	206,715		203,750	2,965	205,089	200,413	4,676	232,355	6,881	997																							
がれき類	98,722	42	42	36	6	98,680	98,680		96,439	2,240	98,388	97,376	1,012	127,615	1,054																								
コンクリート片	95,837					95,837	95,837		95,775	62	95,468	95,188	280	96,766	280	280																							
廃プラスチック	13,365	1,167	1,167	817	350	12,198	12,198		11,535	663	11,234	7,849	3,384	7,973	5,548	997																							
その他	26,237					26,237	26,237		23,532	2,705	26,237	26,237		26,237																									
ばいじん																																							
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
その他産業廃棄物	17,385	1,159	1,159	501	658	16,226	16,217	8	11,866	4,360	12,116	8,395	3,720	8,395	4,926	47																							
感染性廃棄物	4,670	1	1	0	1	4,669	4,669		1,928	2,741	562	17	545	17	546																								
混合物等	12,715	1,158	1,158	501	657	11,557	11,548	8	9,938	1,619	11,554	8,379	3,175	8,379	4,380	47																							

表3-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） 全業種【令和元年度】
 (その1)

区分	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量				自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理量			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外		
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (F1)	自己最終 処分量 (F2)			委託中間 処理量 (F3)	委託直接 最終処分量 (F4)	その他量 (F5)							
						再生利用量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)													委託直接 最終処分量 (E5)	
合計	1,238,616	129,539	1,109,132	140,056	72,332	48,414	28	22,903	958	29	969,075	1,471	794,937	4,559	824,885	1,499	1,499				
燃え殻	8,469		8,469	1,382	0	1,177	176	29	8,469		8,469		7,015	1,454	9,851	0	0				
汚泥	100,047		100,047	21,365	16	10,706	186	10,436	186		20,292		19,801	340	30,799	16	16				
有機性汚泥	78,865		78,865	10,695		259					11,485		11,331	2	21,769						
無機性汚泥	21,182		21,182	10,670	16	10,446	186	22	186		8,807		8,469	338	9,030	16	16				
廃油	7,222	1,103	6,119	1,232	651			651			4,887		4,879	8	5,539						
一般廃油	4,832	427	4,406	1,232	651			651			3,174		3,166	8	3,825						
廃溶剤	1,576	676	900								900		900	0	900						
固形油																					
油でい	706		706								706		706		706						
油汚着物	108		108								108		108		108						
廃酸	1,349		1,349								1,349		1,349		1,349						
廃アルカリ	3,124		3,124	29	13						3,095		3,095		3,108						
廃プラスチック類	32,503	568	31,935	824	821	29		604	188		31,112	131	30,315	356	31,593	131	131				
廃ガラス等	31,637	568	31,069	824	821	29		604	188		30,246	283	29,476	356	30,755	131	131				
廃タイヤ	866		866								866		866		866						
紙くず	1,167		1,167	2	2	1		1			1,166		1,166		1,166						
木くず	54,345	1,658	52,687	7,387	6,062	5,091		970			45,300	14	45,280	6	46,256						
繊維くず	223		223	33							191		191		191						
動物性残渣	3,215	278	2,937								2,937		2,937		2,937						
動物系固形不要物	540		540																		
ゴムくず	41		41								41		41		41						
金属くず	20,241	7,668	12,573	296	296	276	12	8			12,277		12,129	148	12,297	12	12				
ガラスくず等	21,689		21,689	6,059	4,877	369		4,343	165		15,630	296	15,144	191	20,139	296	296				
紙さい	10,160		10,160								10,160		5,308		5,308						
がれき類	240,819		240,873	36,307	36,297	31,941	0	4,281	74		204,566	997	202,434	1,135	208,921	997	997				
コンクリート片	128,961		128,961	33,070	33,070	30,240		2,830			95,892		95,849	42	98,722						
廃プラスチック	97,415		97,415	3,010	3,010	1,578		1,431			94,406		94,406		95,837						
その他	14,442		14,496	228	217	124	0	20	74		14,288	997	12,179	1,093	14,362	997	997				
ばいじん	26,237		26,237								26,237		26,237		26,237						
動物のふん尿	685,861	118,258	567,603	3,371	333						564,232	162,780	401,452		401,785						
動物の死体	1		1								1		1		1						
その他産業廃棄物	21,360	7	21,354	4,221	232			63	169		17,133	47	16,164	922	17,365	47	47				
感染性廃棄物	4,670		4,670	2	2			2			4,668		4,667	1	4,670						
混合物等	16,691	7	16,684	4,219	230			61	169		12,465	47	11,497	922	12,695	47	47				

表3-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換） 全業種【令和元年度】

区分	委託処理量 (その2)	委託中間処理量												委託直接最終処分量			委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
		(K) (04-L)				(L)				(M)				(N)				(O)	(R)	(S)	(J)	(E5-G5)	(S)	(B+R)					
		業者		自治体		県内		県外		業者		自治体		県内		県外									委託処理後の処理内訳		再生利用量		
		(K)		(04-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(R)		(S)		(J)		(E5-G5)		(S)		(B+R)					
		業者		自治体		県内		県外		業者		自治体		県内		県外		委託処理後の処理内訳		再生利用量		最終処分量		事業主体の内訳		処理主体の内訳			
合計	823,357	5,518	5,518	1,834	3,684	817,840	817,347	492	766,577	51,262	604,094	584,381	19,713	800,903	26,729	1,499	25,230	29	930,442										
燃え殻	9,822	1,630	1,630	1,630	3,684	8,192	8,192	8,192	6,707	1,485	12,150	9,807	2,343	10,089	3,973	0	3,973	29	10,089										
汚泥	30,784	525	525	3	523	30,258	30,258	30,258	19,891	10,367	19,330	18,534	796	29,391	1,337	16	1,322		29,391										
有機性汚泥	21,769	2	2	2		21,767	21,767	21,767	12,581	9,186	13,298	13,078	219	13,489	221		221		13,489										
無機性汚泥	9,015	524	524	1	523	8,491	8,491	8,491	7,310	1,181	6,033	5,456	577	15,902	1,116	16	1,101		15,902										
廃油	5,539	8	8	8	0	5,531	5,531	5,531	2,618	2,912	1,977	1,977	8	1,977	8	8	8		3,080										
一般廃油	3,825	8	8	8	0	3,817	3,817	3,817	1,698	2,119	1,230	1,230	8	1,230	8	8	8		1,656										
廃溶剤	900	0	0	0	0	900	900	900	126	774	727	727	0	727	0	0	0		1,403										
固形油	706					706	706	706	688	18	21	21		21					21										
油付着物	108					108	108	108	107	1																			
廃酸	1,349					1,349	1,349	1,349	112	1,237	22	22	0	22	0	0	0		22										
廃アルカリ	3,108					3,108	3,108	3,108	2,875	233	124	124		124					124										
廃プラスチック類	31,462	544	544	327	217	30,918	30,434	484	22,132	8,786	22,417	20,069	2,348	20,127	3,023	131	2,892		20,694										
廃プラスチック	30,624	544	544	327	217	30,080	29,596	484	21,594	8,486	21,579	19,238	2,341	19,268	3,016	131	2,885		19,835										
廃タイヤ	838					838	838	838	538	300	838	831	7	859	7	7	7		859										
紙くず	1,166					1,166	1,166	1,166	1,000	166	1,108	604	504	606	504	504	504		606										
木くず	46,256	6	6	6	0	46,250	46,250	46,250	38,944	7,306	41,596	40,687	910	45,792	916	916	916		47,450										
繊維くず	191					191	191	191	188	3	60	46	15	46	15	15	15		46										
動物性残渣	2,937					2,937	2,937	2,937	2,765	173	2,090	2,090		2,090					2,367										
動物系固形不燃物																													
ゴムくず	41					41	41	41	41		41	41		41					41										
金属くず	12,285	148	148	86	62	12,138	12,138	12,138	9,045	3,093	12,012	10,927	1,085	11,203	1,245	12	1,233		18,870										
ガラスくず等	19,842	356	356	50	306	19,487	19,487	19,487	17,757	1,730	19,363	15,927	3,436	16,296	4,088	296	3,792		16,296										
紙くず	5,308					5,308	5,308	5,308	1,569	3,739	5,308	4,549	759	9,401	759	759	759		9,401										
がれき類	207,924	1,209	1,209	853	356	206,715	206,715	206,715	203,750	2,965	204,874	200,198	4,676	232,139	6,881	997	5,885		232,139										
コンクリート片	98,722	42	42	36	6	98,680	98,680	98,680	96,439	2,240	98,388	97,376	1,012	127,615	1,054		1,054		127,615										
廃プラスチック	95,837					95,837	95,837	95,837	95,775	62	95,468	95,188	280	96,766	280	280	280		96,766										
その他	13,365	1,167	1,167	817	350	12,198	12,198	12,198	11,535	663	11,018	7,634	3,384	7,758	5,548	997	4,551		7,758										
ばいじん	26,237					26,237	26,237	26,237	23,532	2,705	26,237	26,237		26,237					26,237										
動物のふん尿	401,785					401,785	401,785	401,785	401,785		224,161	224,161		386,941					505,200										
動物の死体	1					1	1	1	1		1	1		1					1										
その他産業廃棄物	17,318	1,091	1,091	501	590	16,227	16,219	8	11,866	4,361	11,220	8,379	2,841	8,379	3,979	47	3,933		8,386										
感染性廃棄物	4,670	1	1	0	1	4,669	4,669	4,669	1,928	2,741	3	3		3	1	1	1		3										
混合物等	12,649	1,091	1,091	501	590	11,558	11,550	8	9,938	1,620	11,217	8,376	2,841	8,376	3,979	47	3,932		8,383										

表3-4 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換） 全業種【令和元年度】

(単位：t/年)

区分	種類	委託処理量										委託中間処理量				委託最終処分量				委託最終処分量				その他量		資源化量
		(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)	(U)	(V)	(W)			
		(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)							
		(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)		
合計	823,357	5,518	1,454	1,834	3,684	817,840	817,347	492	766,577	51,262	604,094	584,381	19,713	800,903	26,729	1,499	25,230	29	930,442							
燃え殻	8,469	1,454	1,454	1,834	3,684	7,015	7,015		5,537	1,478	7,005	6,975	31	6,975	1,484	1,484	1,484		6,975							
汚泥	31,913	525	525	3	523	31,387	31,387		21,020	10,367	21,476	20,031	1,445	30,889	1,986	16	1,971		30,889							
有機性汚泥	22,898	2	2	2		22,896	22,896		13,710	9,186	15,315	14,738	577	15,149	579	579	579		15,149							
無機性汚泥	9,015	524	524	1	523	8,491	8,491		7,310	1,181	6,162	5,293	869	15,740	1,408	16	1,392		15,740							
廃油	5,539	8	8	8	0	5,531	5,531		2,618	2,912	2,060	1,984	76	1,984	84	84	84		3,087							
一般廃油	3,825	8	8	8	0	3,817	3,817		1,698	2,119	1,254	1,234	20	1,234	28	28	28		1,661							
廃溶剤	900	0	0	0	0	900	900		126	774	731	729	2	729	2	2	2		1,405							
固形油																										
油でい	706					706	706		688	18	69	21	48	21	48	48	48		21							
油付着物	108					108	108		107	1	8	0	7	0	7	7	7		0							
廃酸	1,349					1,349	1,349		112	1,237	217	203	14	203	14	14	14		203							
廃アルカリ	3,108					3,108	3,108		2,875	233	167	150	17	150	17	17	17		150							
廃プラスチック類	31,462	544	544	327	217	30,918	30,434	484	22,132	8,786	23,254	20,582	2,672	20,922	3,347	131	3,216		21,489							
廃プラスチック	30,624	544	544	327	217	30,080	29,596	484	21,594	8,486	22,416	19,751	2,665	20,063	3,340	131	3,209		20,630							
廃タイヤ	838					838	838		538	300	838	831	7	859	7	7	7		859							
紙くず	1,166					1,166	1,166		1,000	166	1,114	605	510	606	510	510	510		606							
木くず	46,306	14	14	6	8	46,292	46,292		38,985	7,307	42,040	41,001	1,039	46,107	1,063	0	1,053		47,165							
繊維くず	200	4	4		4	196	196		188	9	75	52	24	52	27	27	27		52							
動物性残渣	2,937					2,937	2,937		2,765	173	2,118	2,090	29	2,090	29	29	29		2,367							
動物系固形不要物	97					97	97																			
ゴムくず	41					41	41		41		41	41		41					41							
金属くず	12,285	148	148	86	62	12,138	12,138		9,045	3,093	12,138	10,953	1,185	11,229	1,344	12	1,332		18,897							
ガラスくず等	19,842	356	356	50	306	19,487	19,487		17,757	1,730	19,472	15,955	3,517	16,325	4,169	296	3,873		16,325							
紐さい	5,308					5,308	5,308		1,569	3,739	5,308	4,549	759	9,401	759	759	759		9,401							
がれき類	207,924	1,209	1,209	853	356	206,715	206,715		203,750	2,965	205,089	200,413	4,676	232,355	6,881	997	5,885		232,355							
コンクリート片	98,722	42	42	36	6	98,680	98,680		96,439	2,240	98,388	97,376	1,012	127,615	1,054		1,054		127,615							
廃アスファルト	95,837					95,837	95,837		95,775	62	95,468	95,188	280	96,766	280	280	280		96,766							
その他	13,365	1,167	1,167	817	350	12,198	12,198		11,535	663	11,234	7,849	3,384	7,973	5,548	997	4,551		7,973							
ばいじん	26,237					26,237	26,237		23,532	2,705	26,237	26,237		26,237					26,237							
動物のふん尿	401,785					401,785	401,785		401,785		224,161	224,161		386,941					505,200							
動物の死体	1					1	1		1		1	1		1					1							
その他産業廃棄物	17,386	1,159	1,159	501	658	16,227	16,227	8	11,866	4,361	12,117	8,396	3,720	8,396	4,926	47	4,879		8,403							
感染性廃棄物	4,670	1	1	0	1	4,669	4,669		1,928	2,741	562	17	545	17	546	546	546		17							
混合物等	12,716	1,158	1,158	501	657	11,558	11,558	8	9,938	1,620	11,555	8,380	3,175	8,380	4,380	47	4,334		8,386							

表5-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）東部地域 農業を除く【令和元年度】

区分	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳				再生利用量		自己最終処分量			(H) (I+K+J)	(1) (E2+E2)	搬出先地域の内訳	
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	県内			県外	
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)		(1)	(2)		
合計	166,572	4,180	162,392	20,571	13,239	6,607	6,093	538	1	141,821	34	139,575	2,212			148,453	34	34				
燃え殻	2,715		2,715	87			7	79	1	2,715		1,262	1,454			2,802						
汚泥	13,258		13,258	4,355	1,524	26	1,312	186		8,903		8,566	337			10,401						
有機性汚泥	7,748		7,748	4,143	1,312		1,312			3,605		3,605				4,917						
無機性汚泥	5,510		5,510	212		26		186		5,298		4,961	337			5,484						
廃油	2,815	264	2,551							2,551		2,551				2,551						
一般廃油	1,571	264	1,307							1,307		1,307				1,307						
廃溶剤	806		806							806		806				806						
固形油																						
油でい	433		433							433		433				433						
油汚着物	6		6							6		6				6						
廃酸	31		31							31		31				31						
廃アルカリ	589		589	13	7		7			576		576				582						
廃プラスチック類	14,668	189	14,479	155	152		7	145		14,325		14,304				14,477		21				
廃プラスチック	14,165	189	13,977	155	152		7	145		13,822		13,801				13,974		21				
廃タイヤ	503		503							503		503				503						
紙くず	653		653	1	1	1				652		652				652						
木くず	13,298	583	12,715	2,174	1,628	871	757			10,540		10,540	0			11,298						
繊維くず	193		193	33						160		160				160						
動物系固形不要物	470		470							470		470				470						
ゴムくず	41		41							41		41				41						
金属くず	8,943	3,140	5,803							5,803		5,739	64			5,803						
ガラスくず等	6,094		6,094	439	439	369	11	59		5,655		5,517	138			5,725						
紙さい	19		19							19		19				19						
がれき類	89,091		89,091	9,412	9,402	5,340	3,993	69		79,679		79,654	24			83,740		1				
コンクリート片	47,248		47,248	6,935	6,935	4,187	2,749			40,313		40,313				43,062						
廃プラスチック	36,365		36,365	2,335	2,335	1,091	1,244			34,029		34,029				35,273						
その他	5,478		5,478	141	131	62		69		5,337		5,312	24			5,405		1				
ばいじん	2,705		2,705							2,705		2,705				2,705						
動物のふん尿																						
動物の死体																						
その他産業廃棄物	10,998	5	10,983	3,989						6,995		6,788	194			6,995		12				
感染性廃棄物	1,425		1,425							1,425		1,425	0			1,425						
混合物等	9,563	5	9,558	3,989						5,569		5,363	194			5,569		12				

(その1)

(単位：t/年)

表5-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）東部地域 農業を除く【令和元年度】

区分	種類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
		(K)		(H-L)		(O)		(L)		(M)		(N)		(R)		(O)		(J)		(S)	(B+R)									
		(K)	(H-L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(R)	(O)	(J)	(S)	(B+R)																		
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	委託処理後の発生量	再生利用量	最終処分量	事業主体の内訳	事業者	自治体	処理業者										
		(K)	(H-L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(R)	(O)	(J)	(S)	(B+R)																		
合計	148,418	2,750	2,750	4	2,747	145,668	145,220	449	128,126	17,542	135,573	125,819	9,753	132,427	12,538	34	12,504	1	136,607											
燃え殻	2,801	1,533	1,533	1,533	1,533	1,268	1,268	0	1,268	2,437	2,437	1,539	898	1,539	2,432	2,432	1	1,539												
汚泥	10,401	523	523	523	523	9,878	9,878	6,193	3,685	7,449	7,125	323	846	7,152	846	846		7,152												
有機性汚泥	4,917					4,917	4,917	2,203	2,714	3,770	3,710	61	61	3,710	61	61		3,710												
無機性汚泥	5,484	523	523	523	523	4,961	4,961	3,991	971	3,679	3,416	263	786	3,442	786	786		3,442												
廃油	2,551					2,551	2,551	1,001	1,550	1,317	1,317	1,317		1,317				1,317												
一般廃油	1,307					1,307	1,307	492	816	587	587	587		587				587												
廃溶剤	806					806	806	89	717	721	721	721		721				721												
固形油	433					433	433	416	17	9	9	9		9				9												
油付汚物	6					6	6	5	0																					
廃酸	31					31	31	3	28	22	22	22		22				22												
廃アルカリ	582					582	582	383	199	77	77	77		77				77												
廃プラスチック類	14,456	145	145	145	145	14,311	13,863	449	9,802	4,509	11,853	10,418	1,435	10,418	1,600	21	1,580		10,607											
廃プラスチック	13,953	145	145	145	145	13,808	13,360	449	9,470	4,338	11,350	9,916	1,435	9,916	1,600	21	1,580		10,104											
廃タイヤ	503					503	503	332	171	503	503	503		503				503												
紙くず	662					662	662	615	37	646	646	646		646				646												
木くず	11,298	0	0	0	0	11,298	11,298	10,015	1,283	9,724	9,187	537	537	10,058	537	537		10,641												
繊維くず	160					160	160	160	160	30	16	13		13				16												
動物系固形不燃物	470					470	470	470	470	448	448	448		448				448												
動物系固形不燃物																														
ゴムくず	41					41	41	41	41	41	41	41		41				41												
金属くず	5,803	64	64	64	64	5,739	5,739	4,902	837	5,721	5,095	626	691	5,095	691	691		8,234												
ガラスくず等	5,725	197	197	197	197	5,528	5,528	5,121	407	5,443	3,289	2,154	2,352	3,658	2,352	2,352		3,658												
紙さい	19					19	19	19	19	19	19	19		19				19												
がれき類	83,739	93	93	93	93	83,646	83,646	83,300	346	82,361	80,451	1,911	2,003	85,791	2,004	1	2,003		85,791											
コンクリート片	43,062					43,062	43,062	42,754	308	43,062	42,690	372	372	46,876	372		372		46,876											
廃プラスチック	35,273					35,273	35,273	35,254	20	34,904	34,902	2	2	35,993	2		2		35,993											
その他	5,404	93	93	93	93	5,312	5,312	5,293	19	4,396	2,859	1,537	1,630	2,922	1,630	1	1,630		2,922											
ばいじん	2,705					2,705	2,705	2,705	2,705	2,705	2,705	2,705		2,705				2,705												
動物のふん尿																														
動物の死体																														
その他産業廃棄物	6,982	194	194	194	194	6,788	6,788	6,119	669	5,277	3,800	1,477	1,672	3,800	1,684	12	1,672		3,805											
感染性廃棄物	1,425	0	0	0	0	1,425	1,425	940	486	486	486	486		486	0		0		486											
混合物等	5,557	194	194	194	194	5,363	5,363	5,179	184	5,277	3,800	1,477	1,671	3,800	1,684	12	1,671		3,805											

(単位：t/年)

表5-2 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）中部地域 農業を除く【令和元年度】

区分	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理の処理内訳				再生利用量		自己最終処分量			(H) (I+K+J)	(1) (E2+E2)	（処理先地域の内訳）	
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	県内			県外	
				(D+E)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)		(1)	(E2+E2)		県内
燃え殻	62	2,234	74,688	12,941	10,988	28	1,877	21	28	41	62	62	57,688	880	14	1,437	61,959	1,465	1,465			
汚泥	9,427		9,427	5,151	4,684	16	868		28	868			4,273	3			5,160	16	16			
有機性汚泥	4,379		4,379	1,335	868		868						3,042	2			3,912					
無機性汚泥	5,048		5,048	3,816	3,800	16							1,231	1			1,248	16	16			
廃油	2,397		2,397	1,232	651		651						1,157	8			1,816					
一般廃油	2,151		2,151	1,232	651		651						911	8			1,570					
廃溶剤	33		33										33				33					
固形油	167		167										167				167					
油でい	47		47										47				47					
油汚着物	82		82										82				82					
廃酸	39		39										39				39					
廃アルカリ	4,870		4,553	82	29	4	49	4					4,306	55	110	110	4,524	110	110			
廃プラスチック類	4,850		4,533	82	29	4	49	4					4,286	55	110	110	4,504	110	110			
廃プラスチック	20		20										20				20					
廃タイヤ	156		156										156				156					
紙くず	9,659		9,659	1,064	315								8,581		14		8,581					
木くず	18		18										18				18					
繊維くず	632		354										354				354					
動物系固形不要物																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず	4,342		1,639	12	12	12							2,629	62			2,703	12	12			
金属くず	1,241		1,241	19	19		7	12					926		296		1,241	296	296			
ガラスくず等																						
紙くず	40,503		40,503	7,109	6,843	0	260	5					32,046	353	996		33,660	996	996			
がれき類	21,049		21,049	6,517	6,465		53						14,526	6			14,585					
コンクリート片	17,092		17,092	505	317		188						16,587				16,775					
廃プラスチック	2,362		2,362	86	61	0	20	5					934	347	996		2,301	996	996			
その他																						
ばいじん																						
動物のふん尿																						
動物の死体																						
その他産業廃棄物	3,494		3,494										3,060	400	35		3,494	35	35			
感染性廃棄物	606		606										606				606					
混合物等	2,888		2,888										2,454	400	35		2,888	35	35			

(単位：t/年)

表5-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）西部地域 農業を除く【令和元年度】

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有機物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量										自己未処理量				搬出量				自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後量			自己中間処理後量			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(如理先地域の内訳) 県内 県外			
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(D)	(E)	(F)	(G)										(H)	
													(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)		(J)
合計	308,200	4,867	303,387	101,446	45,818	30,818	0	14,600	400	201,941	5,032	195,442	1,467	0	0	211,909	0	0					
燃え殻	5,691		5,691	1,226	1,129	0	0	1,129	97	5,691		5,691			6,917	0	0						
汚泥	77,363		77,363	70,249	15,157	6,879		8,278		7,113	152	6,961			15,239								
有機性汚泥	66,738		66,738	61,902	8,515	259		8,256		4,836	152	4,684			12,940								
無機性汚泥	10,624		10,624	8,347	6,642	6,620		22		2,277		2,277			2,289								
廃油	2,010	839	1,171							1,171		1,171	0		1,171								
一般廃油	1,111	163	948							948		948	0		948								
廃溶剤	737	676	61							61		61	0		61								
固形油																							
油でい	106		106							106		106			106								
油汚着物	55		55							55		55			55								
廃酸	1,236		1,236							1,236		1,236			1,236								
廃アルカリ	2,496		2,496	16	6			6		2,480		2,480			2,486								
廃プラスチック類	11,906	62	11,844	587	587			547	40	11,257	28	10,928	301		11,816								
廃プラスチック	11,563	62	11,500	587	587			547	40	10,914		10,613	301		11,500								
廃タイヤ	343		343							343	28	315			315								
紙くず	358		358	1	1			1		357		357			358								
木くず	31,388	1,075	30,314	4,149	4,119	3,906		213		26,165		26,159	6		26,378								
繊維くず	13		13							13		13			13								
動物性残渣	2,114		2,114							2,114		2,114			2,114								
動物系固形不要物	540		540	540																			
ゴムくず																							
金属くず	6,956	2,889	4,067	284	284	276		8		3,782		3,761	21		3,791								
ガラスくず等	14,354		14,354	5,601	4,419			4,325	94	8,753		8,701	53		13,172								
紙さい	10,141		10,141							10,141	4,852	5,289			5,289								
がれき類	111,225		111,279	19,787	19,787	19,758		29		91,492		90,734	758		91,521								
コンクリート片	60,664		60,664	19,617	19,617	19,588		29		41,047		41,011	36		41,076								
廃プラスチック	43,959		43,959	170	170	170				43,789		43,789			43,789								
その他	6,602		6,656							6,656		6,656	722		6,656								
ばいじん	23,532		23,532							23,532		23,532			23,532								
動物のふん尿																							
動物の死体																							
その他産業廃棄物	6,877	2	6,875	232	232	169		63		6,643		6,315	328		6,875								
感染性廃棄物	2,638		2,638	2	2			2		2,636		2,636	1		2,638								
混合物等	4,239	2	4,237	230	230	169		61		4,007		3,679	328		4,237								

表5-3 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）西部地域 農業を除く【令和元年度】

区分 種類	委託処理量 (単位：t/年)														再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量						(R) (E1+G1+H1)	(O) (I+O+M2)	(J) (E5-G5)	(S) (B+R)					
	(K) (O+L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)										
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量	事業者	自治体	処理主体の内訳						
合計	211,909	1,867	970	897	210,042	210,011	31	182,140	27,902	192,153	184,631	7,522	945	9,389	0	9,389		225,348					
燃え殻	6,917	97		97	6,820	6,820		6,603	217	8,429	7,484	945		1,042	0	1,042		7,484					
汚泥	15,239				15,239	15,239		10,022	5,217	8,872	8,730	142		142		142		15,761					
有機性汚泥	12,940				12,940	12,940		7,859	5,082	6,884	6,747	137		137		137		7,158					
無機性汚泥	2,299				2,299	2,299		2,164	135	1,988	1,984	5		5		5		8,604					
廃油	1,171	0	0	0	1,171	1,171		625	546	313	313	0		0		0		1,152					
一般廃油	948	0	0	0	948	948		458	490	308	308	0		0		0		471					
廃溶剤	61	0	0	0	61	61		6	55	6	6			6		6		682					
固形油	106				106	106		106															
油付着物	55				55	55		55	1														
廃酸	1,236				1,236	1,236		107	1,129	0	0			0		0							
廃アルカリ	2,486				2,486	2,486		2,464	23	44	44							44					
廃プラスチック類	11,816	340	272	68	11,475	11,453	22	8,406	3,070	6,983	6,217	767		1,107		1,107		6,307					
廃プラスチック	11,500	340	272	68	11,160	11,138	22	8,218	2,942	6,668	5,908	760		1,100		1,100		5,970					
廃タイヤ	315				315	315		188	128	315	308	7		7		7		336					
紙くず	358				358	358		241	117	306	184	121		121		121		184					
木くず	26,378	6	6		26,372	26,372		20,489	5,883	26,037	25,745	292		298		298		30,726					
繊維くず	13				13	13		10	3	13	13							13					
動物性残渣	2,114				2,114	2,114		1,946	168	1,518	1,518							1,518					
動物系固形不燃物																							
ゴムくず																							
金属くず	3,791	21	21		3,770	3,770		2,558	1,212	3,673	3,274	399		420		420		6,439					
ガラスくず等	13,172	147	50	96	13,026	13,026		11,987	1,039	12,992	11,849	1,143		1,290		1,290		11,849					
紙さい	5,288				5,288	5,288		1,569	3,720	5,289	4,530	759		759		759		9,382					
がれき類	91,521	758	506	252	90,763	90,763		88,464	2,299	90,515	88,503	2,012		2,771		2,771		108,261					
コンクリート片	41,076	36	36		41,040	41,040		39,428	1,612	41,040	40,597	443		479		479		60,185					
廃プラスチック	43,789				43,789	43,789		43,747	42	43,789	43,780	9		9		9		43,950					
その他	6,656	722	470	252	5,934	5,934		5,289	644	5,686	4,126	1,560		2,283		2,283		4,126					
ばいじん	23,532				23,532	23,532		23,532		23,532	23,532							23,532					
動物のふん尿																							
動物の死体																							
その他産業廃棄物	6,875	497	114	383	6,378	6,369	8	3,118	3,260	3,636	2,695	941		1,438		1,438		2,697					
感染性廃棄物	2,638	1		1	2,638	2,638		573	2,065	3	3			1		1		3					
混合物等	4,237	497	114	382	3,740	3,732	8	2,545	1,196	3,633	2,692	941		1,437		1,437		2,694					

産業廃棄物管理票交付等状況報告書(年度)

鳥取 長 様

年 月 日

報告者
住所
氏名
(法人にあっては名称及び代表者の氏名)
電話番号

アンケート

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項の規定に基づき、年度の産業廃棄物管理票に関する報告書を提出します。

事業場番号	事業場の所在地		業種				電話番号			委託処理			最終処分方法※
	産業廃棄物の種類 石綿含有 水銀使用 水銀含有	名称	排出量(t)	管理票の 交付枚数	運搬受託者の 許可番号	運搬受託者の 氏名又は名称	運搬先の住所	処分受託者の 氏名又は名称	処分場所の住所	発生量(自社中 間処理前量) (t)※	委託前中間 処理方法※	中間処理 方法※	
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													

備考

- この報告書は、前年4月1日から3月31日までに交付した産業廃棄物管理票について6月30日までに提出すること。
- 同一の都道府県(政令市)の区域内に、設置が短期間であり、又は所在地が一定しない事業場が2以上ある場合には、これらの事業場を1事業場としてまとめた上で提出すること。
- 産業廃棄物の種類及び委託先ごとに記入すること。
- 業種には日本標準産業分類の「石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有水銀含有物」等が含まれる場合は、「産業廃棄物の種類」の欄にその旨を記載すること。
- 運搬又は処分を委託した産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有物に水銀含有物に係るものを明らかにすること。
- 処分場所の住所は、運搬先の住所と同じである場合には記入する必要はないこと。
- 区間を区切って運搬を委託した場合は受託者が再委託を行った場合には、区間ごとの運搬受託者又は再受託者についてすべて記入すること。(日本工業規格 A列4号)
- ※の項目及び以下の「事業の概要※」については、法により義務づけられたものではありませんが、県の産業廃棄物実態調査に利用するために必要な事項になりますので、記入していただきますようお願いいたします。

事業の概要※

共通事項	従業員数	人
建設業の場合	元請完成工事高	万円
	解体工事請負高	万円
製造業の場合	製造品出荷額	万円
	病床数	床

※鳥取県内工事の合計を記入してください。

※事業所(鳥取県内)における製造品の出荷額を記入してください。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>鳥取県知事 様</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	
事業場の所在地	
計画期間	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

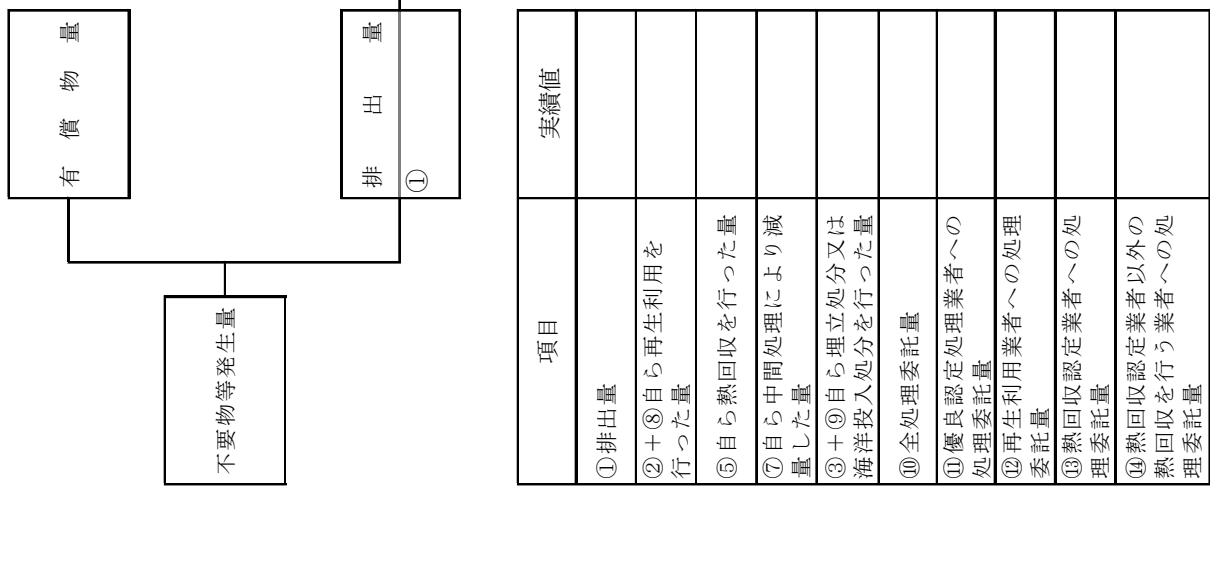
様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">年 月 日</div> 鳥取県知事 様 <div style="text-align: center;"> 提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 </div> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称			
事業場の所在地			
事業の種類			
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間			
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類)



項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
鳥取県知事 様	提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	
事業場の所在地	
計画期間	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

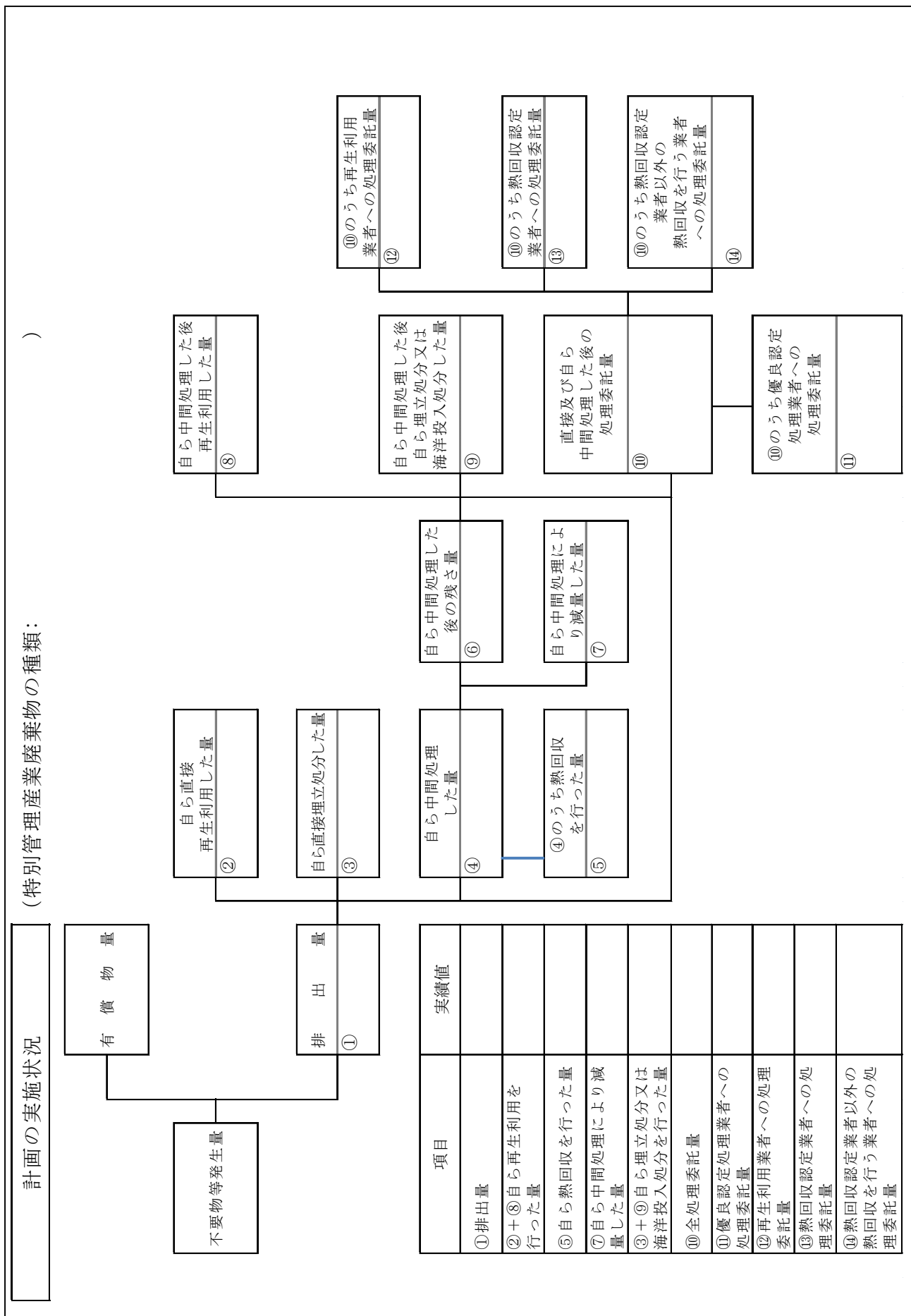
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
			年 月 日
鳥取県知事 様			
提出者 住 所 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 年度の特別管 理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称			
事業場の所在地			
事業の種類			
特別管理産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間			
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。